

令和 6 年産

主要農作物生産振興資料

基本方針編

令和 6 年 3 月

群馬県農政部

目 次

令和6年産米・麦・大豆生産振興方針	1
I 米「売れる米づくりと戦略作物による水田のフル活用の推進」	
1 基本方針	2
2 水稻の生産目標	2
3 重点推進目標	2
4 関連施策	3
5 令和5年産水稻生育基本調査結果	5
6 水田面積の推移	9
7 作付面積、10a当たり収量及び収穫量等の推移	10
8 令和5年産市町村別水稻作付面積及び収量・収穫量	12
9 令和5年産全国水稻作付面積及び収量・収穫量	13
10 群馬県における昭和60年以降の水稻地域別作柄概況の推移	14
11 田植の進捗状況等の推移	16
12 群馬県新規需要米等の取組計画認定状況	18
13 水稻うるち品種別作付面積の推移	20
14 稲作農家数等の推移（農林業センサス）	21
15 群馬県における米穀の年次別検査成績	22
16 米の生産費及び収益性（10a当たり）	25
II 麦「ニーズに応じた高品質麦の安定生産への取組」	
1 基本方針	27
2 麦の生産目標	27
3 重点推進目標	27
4 関連政策	29
5 麦の需要に関する動向 （農林水産省「麦の参考資料」（令和4年2月公表）より抜粋）	30
6 令和6年産民間流通麦入札結果	33
7 毎年の生産量・品質に基づく交付金ランク区分基準について	34
8 令和5年産群馬県産麦品質評価結果	36
9 令和5年産麦類生育基本調査結果	39
10 作付面積、10a当たり収量及び収穫量等の推移	44
11 令和3、4年産市町村別麦類10a当たり収量、収穫量	48
12 令和5年産4麦の作付面積及び収穫量	50
13 品種別作付面積の推移（群馬県）	55
14 検査数量上位品種の推移（全国）	56
15 令和5年産麦類検査等級比率（令和5年10月末現在）	57
16 累年の県産麦類検査等級	58
17 小麦の生産費（10a当たり）	59

Ⅲ 大豆「高品質大豆の安定生産の取組」

1 基本方針	61
2 大豆の生産目標	61
3 重点推進目標	61
4 関連施策	61
5 群馬県大豆生産の推移	62
6 全国大豆生産の推移	63
7 市町村別作付面積、10a当たり収量及び収穫量の推移（群馬）	64
8 団地化に取り組んだ大豆生産集団の概要及び令和3年産大豆の概要	65
9 品種別作付面積の推移	66
10 令和4、5年産大豆検査数量	66
11 種類別検査実績（群馬）	67
12 全国大豆作付面積及び収量・収穫量	68
13 大豆の生産費（10a当たり）	69

参考資料

資料1 そばに関する資料	70
資料2 ライスセンター、カントリエレベーター、育苗センターの設置状況	74
資料3 種子の生産状況及び品種情報について	81
資料4 主要農作物奨励品種特性表	83
資料5 農産物規格規定（国内産農産物）の品位―抜粋―	89

令和6年産米・麦・大豆生産振興方針

近年、世界的な人口増加等による食料需要の増大、気候変動、異常気象の頻発、国際紛争の勃発・長期化など、国内外の様々な要因が食料の安定供給に影響を及ぼす可能性があることから、食料安全保障の強化が求められている。

食料安全保障の確保については、過度な輸入依存から脱却し、国内生産を増大させることが基本となることから、輸入依存度の高い麦・大豆の国産化は、今後益々重要となる。

これを踏まえ、群馬県では、県民が必要とする食料を安定供給するため、本県水田農業の基幹となる米麦大豆について、担い手の確保・育成に努めて生産基盤の維持を図りつつ、需要を的確に捉えて生産振興を図る。

生産振興にあたっては、「水田活用の直接支払交付金」における「戦略作物助成」や「産地交付金」等を効果的に活用し、農業者（産地）の主体的判断による需要に応じた主食用米生産を促すとともに、麦・大豆・新規需要米等の計画的生産、高品質化や生産性向上、耕畜連携への取組を支援する。

また、「群馬県農業農村振興計画」に基づき、麦類と新規需要米との二毛作面積の拡大、高収益作物等の導入による「ぐんま型水田フル活用」を推進するとともに、ICT等、高度先端技術の普及による担い手の生産性向上を図る。

さらに、米麦大豆の生産に不可欠な優良種子を確保し、将来に渡って安定供給していくため、種子生産の担い手確保と生産体制の強化に努める。

上記を踏まえ、農業者・農業団体・実需者・行政・その他関係機関が一体となり、下記重点項目を推進する。

米：売れる米づくりと戦略作物による水田フル活用の推進

- (1) 地域の特色を活かした「売れる米づくり」の推進
- (2) 経営所得安定対策等の加入促進と高収益作物等の作付拡大
- (3) 本県二毛作体系に適した高温耐性・良食味品種の推進
- (4) 農地集積の促進、規模拡大等による担い手の経営体質の強化
- (5) 耕畜連携による水田の高度利用、堆肥利用による肥料コスト低減
- (6) 共同乾燥調製貯蔵施設等の効率的な運営と保管管理の体制強化
- (7) GAP（農業生産工程管理）の導入・実践
- (8) 農産物検査法、米トレーサビリティ法及び食糧法の遵守による適正流通の確保
- (9) 種子生産者の確保と生産体制の強化
- (10) スマート農業技術の普及

麦：ニーズに応じた高品質麦の安定生産への取組

- (1) ニーズに応じた品種選定や計画的かつ安定的な生産の推進
- (2) 基本技術の励行による高品質麦の生産
- (3) は種前契約の徹底や実需者との連携強化
- (4) 共同乾燥調製貯蔵施設等の効率的な運営と保管管理の体制強化
- (5) 経営所得安定対策等の活用による二毛作体系の推進
- (6) GAP（農業生産工程管理）の導入・実践
- (7) 地産地消の取組等、新たな需要づくり
- (8) 種子生産者の確保と生産体制の強化
- (9) スマート農業技術の普及

大豆：高品質大豆の安定生産の取組

- (1) 水田でのブロックローテーションや団地化の推進
- (2) 基本技術の励行による高品質な大豆生産の推進
- (3) 契約栽培による安定的な取引の拡大
- (4) 地産地消に対応した大豆生産の推進
- (5) 種子生産者の確保と生産体制の強化

I 米「売れる米づくり」と戦略作物による水田フル活用の推進

1 基本方針

- (1) 地域の特色を活かした「売れる米づくり」の推進
- (2) 経営所得安定対策等の加入促進と高収益作物等の作付拡大
- (3) 本県二毛作体系に適した高温耐性・良食味品種の推進
- (4) 農地集積の促進、規模拡大等による担い手の経営体質の強化
- (5) 気象の変化に対応した栽培技術による高品質安定生産
- (6) 共同乾燥調製貯蔵施設等の効率的な運営と保管管理の体制強化
- (7) G A P（農業生産工程管理）の導入・実践
- (8) 農産物検査法、米トレーサビリティ法及び食糧法の遵守による適正流通の確保
- (9) 種子生産者の確保と生産体制の強化
- (10) スマート農業技術の普及

2 水稻の生産目標

令和6年産水稻生産計画等を次のとおりとする。

表1 水稻生産計画等

区 分 \ 項 目	水 稻 主食用 生産量 (t)・A	水 稻 う る ち の 検 査			新規需要米等 作付面積 (ha)
		玄米総数量 (t)・B	検査比率 (%)・B/A	1等比率 (%)	
令和4年産実績(確定)	62,200	35,720	57.4	90.9	3,970
令和5年産実績	62,500	27,422	43.9	60.9	3,839
令和6年産計画	67,475 以下	35,000	50 以上	90 以上	—

- 注 1) 令和4、5年産水稻主食用生産量：農林水産省
 2) 令和6年産水稻主食用生産量：令和6年産米の都道府県別の生産目安
 3) 令和5年産実績の水稻うちの検査：令和5年12月末日現在（農林水産省）
 4) 新規需要米等：飼料用米・米粉用米・W C S用稲及び加工用米を含む

品質目標：整粒歩合「80%以上」及び出荷時の水分含量（玄米）「14.5～15%」

- ⇒ * 耕畜連携による堆肥等の施用及び深耕等の土づくり
 * 品質・食味の向上を基本とした肥培管理の徹底
 * 農薬の適期、適正使用による病虫害防除
 * 登熟期間の積算温度や帯緑色歩合等を活用した適期収穫の徹底
 * 異品種や異物混入の防止
 * 品質目標値を確保するための調製、保管管理の徹底

3 重点推進目標

(1) 生産・流通対策

ア 適地適品種の推進と基本技術の励行

高温耐性品種等の現地実証圃の設置を行いながら、産地の気象環境に適した品種の作付けと、高温登熟などの気象条件の変化に対応した基本技術の励行を推進する。

イ 特色ある米づくりの推進

特別栽培米や良食味米等、消費者の望む米づくりの振興を図る。

ウ 高度先端技術の導入

遠隔水管理システムや圃場管理システム、G P Sを活用したスマート農業機械等の導入により、生産性向上を図る。

エ 共同乾燥調製貯蔵施設等の管理体制強化と安全で高品質な米の流通

共同乾燥調製貯蔵施設等の環境・保管管理体制を強化し、品質低下防止に努める。また、生産物の安全性を確保するため、放射性物質の低減対策の徹底を図るとともに、消費者へ正確な情報を提供し、県内農産物の安心・安全について理解促進を図る。

オ 米トレーサビリティ法及び食糧法の遵守による適正流通の確保

米トレーサビリティ法に基づき、産地情報を消費者に伝達するため、栽培管理記帳や取

引記録の作成・保存の徹底を図るとともに、加工用米・飼料用米・米粉用米等の用途限定米穀の適正流通を推進する。

カ 適正な農産物検査の実施

信頼される産地として農産物検査が適確に行われるよう、検査技術の維持・向上を図る。

(2) 販売対策

ア 売れる米づくりの実践

地域における「売れる米づくり」への取組を積極的に支援し、J A直売所や生産者団体の販売により地域内需要を掘り起こしつつ、地域の実情に応じた販売方式を推進する。

イ 業務用途米への対応

用途別の需要を把握・分析し、需要に即した品種の作付及び生産量の確保を図るとともに、基本技術の遵守により高品質米の安定供給に努める。

ウ 県産米の県内消費の拡大

県内消費者へ向けて県産米の情報提供を積極的に行い、県産米の県内消費拡大への理解を促し、地産地消等を推進する。

(3) 担い手育成対策

ア 担い手の育成・支援

水田を中心とした土地利用型農業の担い手である認定農業者や集落営農組織による規模拡大や法人化等の経営体質強化へ向けた取組を積極的に支援する。

イ 集落営農組織の経営体質強化

各集落営農組織の進捗状況に応じて、全組織を対象に法人化の支援を行うとともに、既に法人化した組織に対しても、引き続き、法人運営等に関してフォローアップを行う。

ウ 農地集積の促進

農地中間管理機構を活用し、地域の中心となる経営体への農地集積や分散化した農地の連担化に向けた取組を支援する。

(4) 経営所得安定対策の加入促進と新規需要米等戦略作物の作付拡大の推進

ア 経営所得安定対策の加入促進

需要に即した生産の推進と食料自給率の向上を図るため、国、県、市町村、農業団体等の関係機関と連携し、経営所得安定対策の加入促進を図る。

イ 新規需要米等戦略作物の作付拡大の推進

制度を活用し、麦や新規需要米等の戦略作物の作付拡大により水田の有効活用を図る。

(ア) 飼料用米

J A組織で行う流通での取扱を基本とし、県内の稲作農家と畜産農家による地域流通の取組も併せて推進する。また、本県二毛作に適した飼料用米専用品種（多収・特認品種）の導入支援を図る。

(イ) 米粉用米

米粉製品の販促活動により、米粉の需要拡大を図る。

(ウ) 飼料イネ（WCS用稲）

稲作農家と畜産農家とのマッチングを進めながら作付を推進するとともに、収穫調製機械の整備やコントラクター（農作業受託組織）の育成を図る。

(5) 種子の安定供給と種子生産者の確保

安定した稲生産を推進するためには安定した種子供給が不可欠である。種子生産体制の強化・健全化に努めるとともに、新規種子生産者を確保し、種子の安定生産を図る。

4 関連施策

- ・農業経営力向上事業（県単）
- ・ぐんま型水田フル活用推進事業（県単）
- ・経営所得安定対策等（国庫）
- ・強い農業づくり総合支援交付金（国庫）
- ・産地生産基盤パワーアップ事業（国庫）

参考 群馬県稲作の現状及び課題

<現状>

- 経営規模は小さく、複合経営の一部門が多い
- 平坦地は米麦二毛作体系が主体
- 米麦生産の担い手不足
- 農地利用集積、作業受委託の遅れ
- 気象の影響等による米の品質低下
- 群馬県は米の消費県

- ・令和5年産水稻作付面積及び収穫量（子実用）
作付面積：13,900ha（全国比1.03%）
作況指数：102（全国101）
生産量：70,100t（全国比0.98%）

- ・米の食味ランキング（一般財団法人 日本穀物検定協会）

	R5産	R4産	R3産	R2産	R元産	H30産	H29産	H28産
北毛(コシヒカリ)：	A	A	A	特A	A	A	A	A
中毛(ゆめまつり)：	A	A	A'	A'	A'	A'	A'	A
東毛(あさひの夢)：	A	A	A'	A'	A'	A'	A	A'

- ・新規需要米等の生産状況

年度	27	28	29	30	R元	R2	R3	R4	R5
米粉用米	254	244	227	324	337	325	369	372	168
飼料用米	1,753	1,844	1,541	1,243	1,003	959	1321	1,575	1,661
WCS用稲	556	588	555	519	528	514	539	584	621
小計(a)	2,563	2,676	2,323	2,086	1,868	1,798	2,229	2,531	2,450
加工用米(b)	1,147	1,137	1,390	1,480	1,473	1,309	1,350	1,439	1,389
合計(a+b)	3,710	3,813	3,713	3,566	3,341	3,107	3,579	3,970	3,839

<課題>

- 食の安全・安心に対するニーズへの対応
- 環境と調和した農業の推進
- 求められる産地による米の均質化
- 認定農業者及び集落営農組織の育成・確保と経営体質強化
- 県産米の県内消費拡大

- ・地域の栽培基準を遵守した栽培
- ・栽培管理記帳、トレーサビリティシステム及びポジティブリスト等への対応
- ・県産米のブランド化、業務用途(ブレンド米等)への対応
- ・県産米の県内消費の拡大及び地産地消の取り組み強化
- ・GAP（農業生産工程管理）の導入・実践
- ・担い手の明確化と施策の重点化

5 令和5年産 水稻生育基本調査結果

稲麦研究センター

概 要

「ゆめまつり」の生育について、移植後20日調査（7月第3半旬）では茎数が平年より少なかったが、移植後40日調査（8月第1半旬）では、平年並に回復した。その後は幼穂形成始期が8月5日で平年並、出穂期が8月26日で平年より4日早まった。9月が高温で推移したため、成熟期は平年よりも8日早まり10月10日、登熟日数は平年より4日短く45日であった。稈長は81cm、穂長は21.4cmであった。収量構成要素の粒数や玄米千粒重は平年より多かったが、登熟歩合が低く、 m^2 当玄米重（収量）は平年比99%となった。倒伏及び病害虫の発生は認められず、外観品質は検査等級2等相当であった。

注）生育基本調査 過去10カ年平均値との比較で記載

1. 耕種方法

- (1) 試験場所：前橋市江木町 農業技術センター 稲麦研究センター内
- (2) 土壌条件：淡色多湿黒ボク土（江木統）
- (3) 供試品種：「ゆめまつり」
- (4) 耕種概要

①育苗	様式：箱育苗（ビニールプール）
	播種日：5月24日
	播種量：100g/箱（乾籾）
	施肥量：基肥(g/箱) N:0.6 P_2O_5 :1.2 K_2O :1.1（粒状培土D：2.5kg/箱）
	追肥(g/箱) N:1.0（硫安）
②本田	面積：19.44 m^2 (6.48 m^2 × 3 反復)
	栽植密度：18.5 株/ m^2 （条間30cm、株間18cm）
	現地慣行栽培に合わせ令和4年産より株間18cmに変更
	植付本数：1株4本
	移植期：6月23日
	施肥量：基肥(kg/a) N:0.60 (N-P-K:14-18-16)
	追肥(kg/a) N:0.20 (N-P-K 17-0-16)

2. 結果の概要

(1) 気象経過（6月～10月）（別紙 気象経過）

① 気温

育苗期間の平均気温は平年差+1.0℃、移植後～幼穂形成始期は平年差+2.8℃であった。幼穂形成期～出穂期は平年差+2.3℃、出穂期～成熟期は平年差+2.8℃であった。

月別の平均気温は、6月は平年差+1.8℃で23.3℃、7月は平年差+3.6℃で28.7℃、8月は平年差+3.0℃で29.4℃、9月は平年差+4.2℃で26.6℃、10月は平年差+1.2℃で17.7℃であった。生育期間全体の6月～10月の平均気温は、平年差+2.7℃で25.1℃であった。

② 降水量

本年の関東地方の梅雨入りは平年より1日遅く6月8日、梅雨明けは平年より3日遅く7月22日ごろとなった。育苗期間の降水量は平年比211%、移植後～幼穂形成始期は平年比38%、幼穂形成期～出穂期は平年比94%、出穂期～成熟期は平年比88%であった。

月別の降水量は、6月は平年比187%で272.0mm、7月は平年比42%で83.5mm、8月は平年比63%で128.0mm、9月は平年比90%で199.0mm、10月は平年比80%で92.0mmであった。台風による大雨等の被害はなく、生育期間全体の6月～10月は、平年比88%で775.0mmであった。

③ 日照時間

育苗期間の日照時間は平年比114%、移植後～幼穂形成始期は平年比153%、幼穂形成期～出穂期は平年比103%、出穂期～成熟期は、平年比122%であった。

月別の日照時間は、6月は平年比116%、7月は平年比167%、8月は平年比125%で、9月は平年比126%、10月は平年比139%で、生育期間全体の6月～10月は、平年比135%であった。

注）前橋地方気象台の気象データを使用。平年値は1991年～2020年。

(2) 生育及び収量（表1、2・図1、2）

移植苗の主稈葉数は3.7葉（-0.1葉）、草丈は16.4cm（-0.1cm）であった。移植後20日調査では、草丈は36.3cm（-0.7cm）、 m^2 当茎数は347本（96%）であった。移植後40日調査では、草丈は71.7cm（+0.5cm）、 m^2 当茎数は528本（99%）であった。幼穂形成始期は8月5日（-1日）、出穂期は8月26日（-4日）であった。稈長は81cm（+0.7cm）、穂長は21.4cm（+0.3cm）であった。成熟期は10月10日（-8日）、登熟に要した日数は45日（-4日）であった。

収量構成要素の m^2 当穂数は399本（99%）、1穂粒数は83.5粒（102%）であった。 m^2 当全粒数は33,315粒（102%）であった。粒厚分布(重量比)は、2.0mm以上粒は59.0%（平年値58.5%）、1.9mm以上粒は89.7%（平年値86.9%）、1.8mm以上粒は96.2%（平年値94.2%）であった。玄米千粒重は23.0g（101%）、登熟歩合は81.3%（平年値85.3%）、 m^2 当玄米重は623g（99%）であった。病害虫の発生はなかった。外観品質は白未熟粒の発生が多く検査等級2等相当であった。

注）（ ）内は生育基本調査の過去10カ年平均値または平年値との比較を示す。

表1 令和5年産 水稻生育基本調査（生育経過資料）

試 験 の 概 要				栽培密度 18.5 株/㎡、1 株 4 本植								
				5月 24 日播種 (施肥量)								
				6月 23 日移植 基肥N : 0.6kg/a (化成 486 号)								
				育苗日数 31 日(中苗) 追肥N : 0.2kg/a (化成 NK17)								
品 種 名				ゆめまつり			実測値			対差・対比		
項 目		比較年次		本年	前年	平均	前年		平均			
生育 状 況	移植時	主稈葉数	(葉)	3.7	3.9	3.8	▲ 0.2	葉	▲ 0.1	葉		
		草 丈	(cm)	16.4	15.1	16.5	1.3	cm	▲ 0.1	cm		
	移植後 20 日	草 丈	(cm)	36.3	37.8	37.0	▲ 1.6	cm	▲ 0.7	cm		
		茎 数	(本/㎡)	347	440	363	79	%	96	%		
	移植後 40 日	草 丈	(cm)	71.7	74.7	71.2	▲ 3.0	cm	0.5	cm		
		茎 数	(本/㎡)	528	482	534	109	%	99	%		
	幼穂形成始期		(月/日)	8/5	8/7	8/6	▲ 2	日	▲ 1	日		
	出 穂 期		(月/日)	8/26	8/30	8/30	▲ 4	日	▲ 4	日		
	成 熟 期		(月/日)	10/10	10/13	10/18	▲ 3	日	▲ 8	日		
	登 熟 日 数		(日)	45	44	49	1	日	▲ 4	日		
収 量 構 成 要 素	m当	全 穂 数	(本)	399	338	402	118	%	99	%		
		1 穂当全粒数	(粒)	83.5	83.6	81.6	100	%	102	%		
	粒 数	m当全粒数	(×100 粒)	333	282	327	118	%	102	%		
		玄米千粒重	(g)	23.0	23.7	22.7	97	%	101	%		
	登 熟	千粒当収量	(g)	18.7	21.3	19.4	88	%	96	%		
		登熟歩合	(%)	81.3	89.9	85.3	▲ 8.6		▲ 4.0			
収 量	m当玄米重	(g)	623	603	628	103	%	99	%			
		精玄米重歩合	(%)	94.0	94.8	94.8	▲0.8		▲0.8			
		検査等級	(等相当)	2	1	1.1	－		－			
	蛋白質含有率		(%)	7.5	8.3	8.0	▲0.8		▲0.5			
	倒伏程度			0.0	0.0	0.0	0.0		0.0			
	病害虫の発生状況			－	－	－	－		－			

※「ゆめまつり」生育基本調査は平成25年産から開始した。平均は過去10カ年の平均値。
 ※対差(比)の▲印は、月日に関しては早まったことを意味し、他の項目に関しては減少を意味する。
 ※m当玄米重(収量)、玄米千粒重は粒厚1.8mm以上、水分14.5%に補正。
 ※蛋白質含有率は静岡精機GS-2000で測定。
 ※令和4年より株間18cm(18.5株/㎡)。

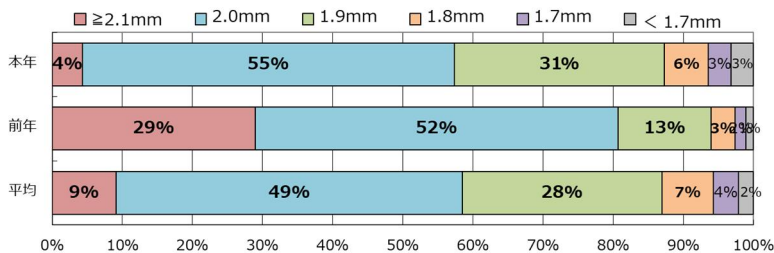


図1 粒厚分布

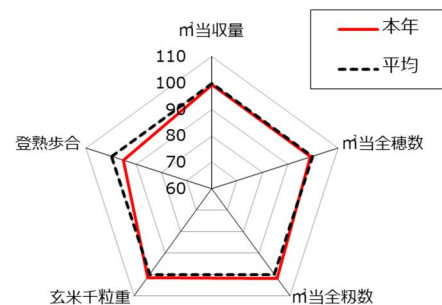


図2 収量構成要素(相対値比較)

表2 玄米品質

単位: %

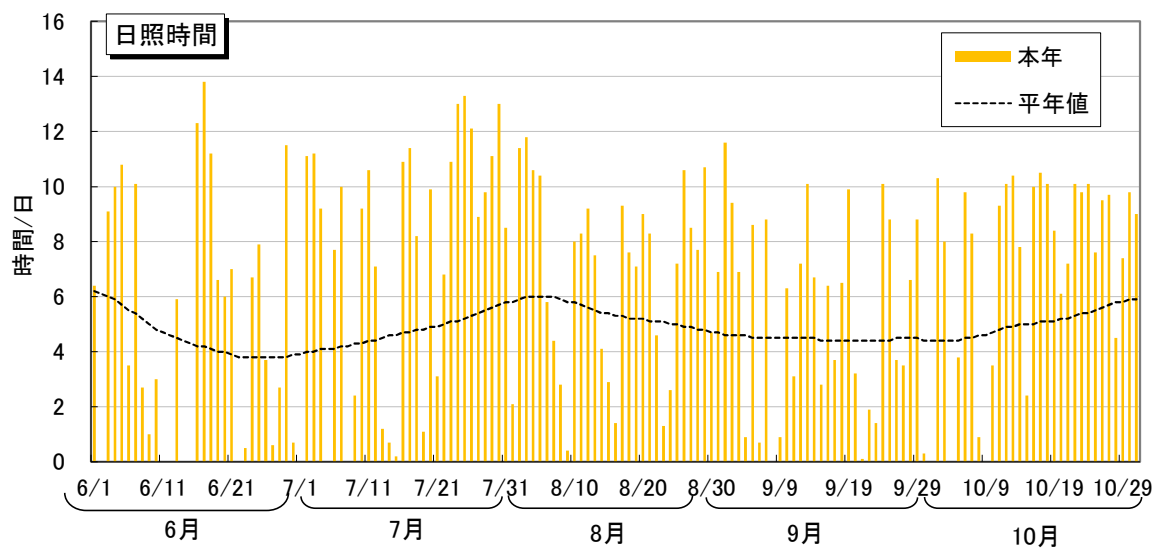
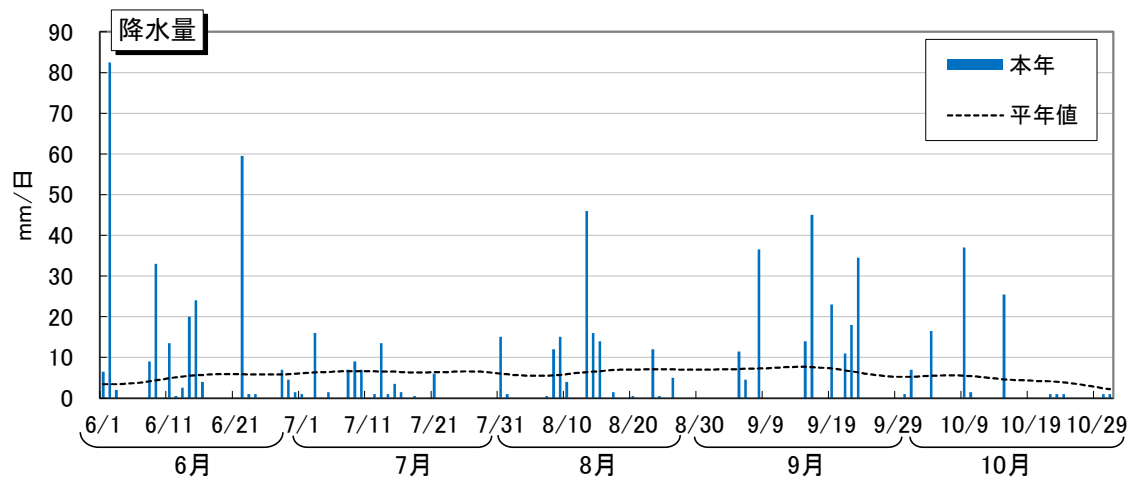
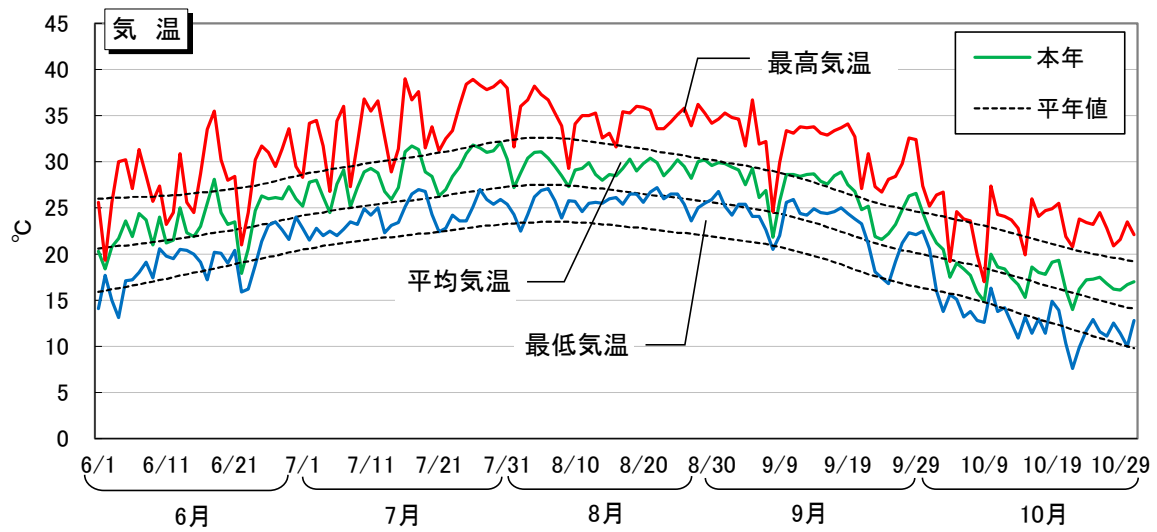
産年	整粒	未熟粒	死米	着色粒	胴割粒	砕粒	蛋白質含量	検査等級
本年	72.0	27.3	0.3	0.1	0.0	0.2	7.5	2等相当
前年	69.4	29.8	0.2	0.0	0.1	0.3	8.3	1等相当
平均(10カ年)	80.0	14.7	0.3	0.0	1.2	3.3	8.0	—

注1)玄米品質は、平成29年までRS2000X(静岡製機)、以降は、RGQ190A(サタケ)で測定(粒重比)。

注2)蛋白質含量は、GS2000(静岡製機)で測定(値はdry base)。

注3)検査等級はJA前橋市調べ。

気象経過(日別:2023年6月~10月)



気象経過(2023年6月～10月)

		平均気温					最高気温					最低気温					降水量					日照時間				
月	半旬	本年	前年	平年値	前年差	平年差	本年	前年	平年値	前年差	平年差	本年	前年	平年値	前年差	平年差	本年	前年	平年値	前年比	平年比	本年	前年	平年値	前年比	平年比
6	1	21.0	21.0	20.8	(0.0)	0.2	26.1	27.5	26.1	(1.4)	0.1	15.4	15.1	16.2	0.3	(0.8)	91.0	7.0	17.3	1300%	526%	36.3	41.7	29.9	87%	121%
		23.0	17.5	21.2	5.5	1.8	28.0	20.7	26.2	7.3	1.8	18.5	15.1	16.9	3.3	1.6	42.0	84.0	20.7	50%	203%	20.3	4.1	25.9	495%	78%
	3	22.4	19.3	21.7	3.1	0.7	25.7	23.5	26.4	2.2	(0.7)	20.0	15.9	17.7	4.1	2.4	60.5	9.0	26.4	672%	229%	5.9	18.1	22.5	33%	26%
		24.9	24.0	22.3	0.9	2.6	31.2	29.8	26.8	1.4	4.4	19.1	18.9	18.4	0.2	0.7	4.0	0.5	29.2	800%	14%	49.9	23.9	20.5	209%	243%
	5	22.6	26.5	22.9	(3.9)	(0.3)	27.2	31.9	27.3	(4.8)	(0.2)	18.5	22.6	19.2	(4.0)	(0.7)	61.5	2.0	29.2	3075%	211%	22.1	24.5	19.1	90%	116%
7		26.3	30.9	23.7	(4.6)	2.6	31.0	37.7	28.1	(6.7)	2.9	23.0	25.2	20.0	(2.3)	3.0	13.0	20.0	29.3	65%	44%	19.2	50.8	19.1	38%	101%
	1	26.3	29.0	24.4	(2.6)	1.9	31.1	34.4	28.9	(3.3)	2.2	22.3	24.6	20.7	(2.3)	1.6	18.5	25.0	31.4	74%	59%	31.5	28.5	20.1	111%	157%
		27.6	27.2	25.0	0.4	2.6	33.3	32.9	29.5	0.4	3.8	23.3	23.4	21.3	(0.1)	2.0	23.0	1.0	32.9	2300%	70%	29.3	29.3	21.1	100%	139%
	3	27.6	25.0	25.5	2.6	2.1	33.0	28.4	30.1	4.6	2.9	23.6	22.9	21.8	0.7	1.8	19.0	84.0	32.7	23%	58%	19.8	7.8	22.5	254%	88%
		30.3	26.0	25.9	4.2	4.4	35.7	30.3	30.6	5.5	5.1	25.9	23.0	22.2	2.9	3.8	2.0	18.0	31.6	11%	6%	41.5	15.6	23.9	266%	174%
8	5	28.4	28.1	26.5	0.3	1.9	34.3	33.3	31.2	1.0	3.1	23.3	24.0	22.6	(0.7)	0.7	6.0	25.0	32.2	24%	19%	47.1	34.1	25.3	138%	186%
		31.3	29.1	27.1	2.3	4.3	38.3	34.6	32.0	3.8	6.3	25.8	24.9	23.1	0.9	2.7	15.0	95.0	38.2	16%	39%	63.4	42.2	33.3	150%	190%
	1	29.7	28.3	27.5	1.4	2.2	36.0	33.3	32.5	2.7	3.4	24.8	24.3	23.4	0.6	1.4	1.0	33.5	28.2	3%	4%	46.3	29.8	29.7	155%	156%
		29.0	28.5	27.5	0.5	1.5	33.9	33.7	32.5	0.1	1.3	25.7	24.1	23.5	1.6	2.2	31.5	2.5	28.2	1260%	112%	21.4	35.2	29.5	61%	73%
	3	28.9	28.8	27.1	0.1	1.7	34.2	33.5	32.1	0.7	2.1	25.4	25.6	23.3	(0.2)	2.1	76.0	0.5	31.8	15200%	239%	32.0	15.6	27.6	205%	116%
9		29.4	27.0	26.7	2.4	2.7	34.8	32.2	31.6	2.7	3.2	26.0	23.2	22.9	2.8	3.1	2.0	18.0	34.7	11%	6%	34.4	23.0	26.2	150%	131%
	5	29.7	27.4	26.3	2.3	3.4	34.4	32.0	31.0	2.5	3.4	26.6	23.5	22.5	3.1	4.1	12.5	0.0	35.4	--	35%	24.0	17.0	25.3	141%	95%
		29.6	24.9	25.8	4.7	3.8	35.0	29.5	30.4	5.5	4.6	25.4	21.6	22.1	3.8	3.3	5.0	48.5	42.1	10%	12%	49.1	16.7	28.8	294%	170%
	1	29.0	24.7	25.2	4.3	3.9	34.6	28.7	29.7	5.9	4.9	24.9	22.3	21.5	2.5	3.4	11.5	25.5	35.4	45%	32%	37.4	7.5	22.9	499%	163%
		25.8	25.1	24.5	0.7	1.3	30.4	29.1	29.0	1.3	1.4	23.0	22.3	20.9	0.7	2.0	41.0	50.0	36.4	82%	113%	16.7	10.0	22.5	167%	74%
10	3	28.4	25.2	23.6	3.3	4.8	33.5	29.8	28.0	3.7	5.5	24.8	21.0	20.0	3.8	4.8	14.0	0.0	38.1	--	37%	29.9	36.4	22.4	82%	133%
		27.9	24.8	22.4	3.0	5.4	33.4	28.3	26.8	5.0	6.6	24.4	21.6	18.9	2.8	5.6	68.0	44.5	36.9	153%	184%	29.7	13.7	22.0	217%	135%
	5	23.1	20.9	21.2	2.2	1.9	28.0	25.2	25.6	2.8	2.4	19.3	18.0	17.6	1.4	1.7	63.5	78.0	31.5	81%	202%	22.3	11.6	22.0	192%	101%
		25.1	22.9	20.3	2.2	4.8	28.0	28.5	24.8	(0.5)	3.2	19.3	18.9	16.6	0.5	2.7	1.0	0.0	26.7	--	4%	22.9	40.7	22.4	56%	102%
	1	20.2	22.0	19.5	(1.8)	0.6	24.4	27.7	24.1	(3.2)	0.4	16.2	17.2	15.9	(1.0)	0.3	23.5	0.0	26.9	--	87%	22.1	29.5	22.0	75%	100%
6-10月		17.4	15.3	18.7	2.0	(1.3)	22.3	18.7	23.2	3.6	(0.9)	13.7	12.8	15.0	0.9	(1.3)	38.5	40.0	27.7	96%	139%	22.5	5.9	22.9	381%	98%
	3	17.3	18.6	17.7	(1.4)	(0.4)	23.0	23.0	22.3	(0.1)	0.7	12.9	15.3	13.9	(2.4)	(0.9)	25.5	10.0	24.7	255%	103%	40.0	17.2	24.6	233%	163%
		18.6	16.8	16.6	1.7	1.9	25.0	21.7	21.3	3.3	3.7	12.9	12.7	12.7	0.2	0.2	0.0	3.0	21.8	0%	0%	45.1	22.8	25.5	198%	177%
	5	16.2	14.5	15.6	1.7	0.6	22.6	19.5	20.3	3.1	2.3	10.5	10.5	11.6	(0.0)	(1.1)	3.0	6.5	19.9	46%	15%	44.8	19.4	26.8	231%	167%
		16.6	13.8	14.5	2.8	2.0	22.2	19.4	19.5	2.8	2.6	11.6	7.3	10.4	4.2	1.2	2.0	0.0	17.0	--	12%	49.9	54.2	34.7	92%	144%
6月		23.3	23.2	21.5	0.2	1.8	28.2	28.5	26.2	(0.3)	2.0	19.1	18.8	17.5	0.3	1.6	272.0	122.5	145.2	222%	187%	153.7	163.1	132.2	94%	116%
7月		28.7	27.5	25.1	1.2	3.6	34.4	32.4	29.7	2.0	4.7	24.1	23.8	21.4	0.3	2.7	83.5	248.0	197.3	34%	42%	232.6	157.5	139.0	148%	167%
8月		29.4	27.4	26.4	2.0	3.0	34.7	32.3	31.3	2.5	3.4	25.6	23.6	22.6	2.0	3.0	128.0	103.0	202.3	124%	63%	207.2	137.3	165.1	151%	125%
9月		26.6	24.0	22.4	2.6	4.2	31.7	28.3	26.7	3.4	5.0	23.0	20.7	18.9	2.3	4.1	199.0	198.0	220.6	101%	90%	158.9	119.9	126.2	133%	126%
10月		17.7	16.8	16.5	0.9	1.2	23.3	21.6	21.2	1.7	2.1	12.9	12.5	12.5	0.5	0.4	92.5	59.5	115.5	155%	80%	224.4	149.0	161.0	151%	139%
6-10月		25.1	23.8	22.4	1.4	2.7	30.5	28.6	27.0	1.9	3.5	20.9	19.9	18.6	1.1	2.4	775.0	731.0	880.9	106%	88%	976.8	726.8	723.5	134%	135%
(育苗期間)		22.8	21.7	21.8	1.1	1.0	27.6	26.7	26.6	1.0	1.1	18.3	17.5	17.7	0.8	0.6	259.0	102.5	122.8	253%	211%	134.5	112.3	117.9	120%	114%
(移植～幼穂形成始期)		28.5	28.0	25.7	0.5	2.8	34.2	33.1	30.4	1.1	3.8	24.0	24.0	21.9	0.0	2.1	97.5	301.5	256.5	32%	38%	298.1	238.1	195.0	125%	153%
(幼穂形成期～出穂期)		29.2	27.9	26.9	1.3	2.3	34.3	32.8	31.8	1.5	2.5	25.9	24.1	23.1	1.8	2.9	122.0	21.0	130.1	581%	94%	111.8	90.8	108.6	123%	103%
(出穂期～成熟期)		25.3	22.9	22.4	2.3	2.8	30.3	27.3	26.9	3.0	3.4	21.5	19.6	18.8	2.0	2.8	266.0	286.5	301.7	93%	88%	252.6	172.0	207.9	147%	122%
6/1旬-10/2旬		27.2	25.8	24.5	1.5	2.7	32.5	30.6	29.2	2.0	3.4	23.3	22.1	20.8	1.2	2.5	485.5	609.0	688.3	80%	71%	662.5	500.9	511.5	132%	130%

注) 前橋地方気象台の気象データを使用。平年値は1991年～2020年。

6 水田面積の推移

区分	群馬県					全国				
	耕地面積	水田			水田率	耕地面積	水田			水田率
	(a) ha	本 地 ha	畦 畔 ha	計 (b) ha	(b/a) %	(a) 千ha	本 地 千ha	畦 畔 千ha	計 (b) 千ha	(b/a) %
S 30	117,623			34,385	32.5					
35	121,495	39,357	2,963	42,320	34.8	6,017	3,146	236	3,381	55.7
40	120,400	39,700	2,990	42,700	35.5	6,004	3,154	236	3,391	56.5
45	114,100	39,700	2,900	42,600	37.3	5,796	3,180	234	3,415	58.9
50	106,500	36,500	2,670	39,200	36.8	5,572	2,959	212	3,171	56.9
55	103,100	35,800	2,600	38,400	37.2	5,461	1,858	197	3,055	55.9
60	99,500	34,000	2,470	36,500	36.7	5,379	2,766	186	2,952	54.9
61	98,100	33,600	2,280	35,900	36.6	5,358	2,748	183	2,931	54.7
62	97,300	33,400	2,270	35,700	36.7	5,340	2,729	181	2,910	54.5
63	96,500	33,100	2,260	35,400	36.7	5,317	2,710	179	2,889	54.3
H1	95,200	32,800	2,230	35,000	36.8	5,279	2,692	177	2,868	54.3
2	93,900	32,500	2,210	34,700	37.0	5,243	2,672	175	2,846	54.3
3	92,700	32,000	2,180	34,200	36.9	5,204	2,652	173	2,825	54.3
4	91,900	31,800	2,170	33,990	36.9	5,165	2,631	171	2,802	54.2
5	90,600	31,300	2,150	33,400	36.9	5,124	2,612	170	2,782	54.3
6	89,500	31,000	2,130	33,100	37.0	5,083	2,596	168	2,764	54.4
7	88,700	30,800	2,120	32,900	37.1	5,038	2,579	166	2,745	54.5
8	87,900	30,400	2,090	32,500	37.0	4,994	2,560	164	2,724	54.5
9	86,700	30,100	2,080	32,200	37.1	4,949	2,539	162	2,701	54.6
10	85,700	29,900	2,060	32,000	37.3	4,905	2,519	160	2,679	54.6
11	84,700	29,700	2,050	31,700	37.4	4,866	2,510	158	2,659	54.6
12	83,800	29,500	2,030	31,500	37.6	4,830	2,485	156	2,641	54.7
13	82,900	29,300	2,010	31,300	37.8	4,794	2,469	155	2,624	54.7
14	81,700	28,900	1,980	30,880	37.8	4,762	2,454	153	2,607	54.4
15	80,400	28,400	1,950	30,300	37.7	4,736	2,440	152	2,592	54.7
16	79,200	27,900	1,930	29,800	37.6	4,714	2,425	151	2,575	54.6
17	78,500	27,500	1,910	29,400	37.5	4,692	2,410	146	2,556	54.5
18	77,900	27,300	1,900	29,200	37.5	4,671	2,398	145	2,543	54.4
19	77,400	27,100	1,880	29,000	37.5	4,650	2,386	143	2,530	54.4
20	76,900	26,800	1,870	28,700	37.3	4,628	2,373	143	2,516	54.4
21	76,300	26,600	1,850	28,400	37.2	4,609	2,364	142	2,506	54.4
22	75,400	26,300	1,820	28,100	37.3	4,593	2,355	141	2,496	54.3
23	74,500	26,000	1,790	27,800	37.3	4,561	2,334	140	2,474	54.2
24	73,900	25,800	1,770	27,570	37.3	4,549	2,329	140	2,469	54.3
25	73,300	25,700	1,760	27,400	37.4	4,537	2,326	140	2,465	54.3
26	72,600	25,500	1,750	27,200	37.5	4,518	2,320	138	2,458	54.4
27	71,900	25,300	1,740	27,100	37.7	4,496	2,310	136	2,446	54.4
28	70,900	25,100	1,720	26,800	37.8	4,471	2,296	135	2,432	54.4
29	69,500	24,700	1,680	26,400	38.0	4,444	2,284	134	2,418	54.4
30	68,400	24,400	1,640	26,100	38.2	4,420	2,273	132	2,405	54.4
R1	67,600	24,100	1,630	25,800	38.2	4,397	2,261	132	2,393	54.4
R2	66,800	23,700	1,600	25,300	37.9	4,372	2,248	131	2,379	54.4
R3	65,900	23,100	1,580	24,700	37.5	4,349	2,236	130	2,366	54.4
R4	64,900	22,700	1,550	24,200	37.3	4,325	2,223	129	2,352	54.4
R5	63,800	22,200	1,520	23,800	37.3	4,297	2,207	128	2,335	54.3

注) 農林水産省「耕地面積」による。

7 作付面積、10a当たり収量及び収穫量等の推移

(1) 群馬県

項目 年次	水陸稲合計		水 稲					陸 稲				
	作付 面積	収穫量	作付 面積	10a当 り収量	収穫量	平年 収量	作況 指数	作付 面積	10a当 り収量	収穫量	平年 収量	作況 指数
	ha	t	ha	kg	t	kg		ha	kg	t	kg	
30	52,958	183,495	35,721	394	140,580	368	107	15,312	231	35,340	171	135
35	53,628	183,660	39,172	393	154,100	366	107	14,479	204	29,600	185	111
40	50,100	155,800	39,600	351	139,000	383	92	10,500	160	16,800	203	79
45	39,900	148,600	36,000	390	140,400	373	105	3,870	211	8,170	182	116
50	34,300	145,400	33,000	434	143,200	397	109	1,300	166	2,160	191	87
55	28,800	104,700	28,100	368	103,400	411	90	650	197	1,280	187	105
60	27,900	128,900	27,300	468	127,800	415	113	600	178	1,070	183	97
61	27,300	123,200	26,700	456	121,800	419	109	639	224	1,430	183	122
62	24,700	115,700	24,000	475	114,000	423	112	697	242	1,690	183	132
63	24,200	95,300	23,400	401	93,800	429	93	803	184	1,480	187	98
H 1	23,700	105,100	22,900	452	103,500	431	105	791	206	1,630	191	108
2	23,200	107,700	22,500	474	106,700	436	109	706	137	967	194	71
3	22,300	100,500	21,800	455	99,200	441	103	576	231	1,330	194	119
4	22,700	107,700	22,200	482	107,000	446	108	466	156	727	197	79
5	22,600	88,500	22,200	396	87,900	452	88	409	150	614	197	76
6	24,500	124,000	24,100	512	123,400	452	113	394	146	575	197	74
7	23,300	116,300	23,000	503	115,700	456	110	372	169	629	197	86
8	21,500	109,000	21,200	512	108,500	460	111	324	141	457	190	74
9	21,100	105,000	20,900	500	104,500	468	107	224	222	497	166	134
10	19,700	87,600	19,500	447	87,200	476	94	196	216	423	-	-
11	19,700	96,400	19,500	493	96,100	484	102	154	209	322	-	-
12	19,500	91,800	19,400	472	91,600	491	96	130	180	234	-	-
13	19,100	90,600	19,000	476	90,400	491	97	119	170	201	-	-
14	18,900	91,900	18,800	488	91,700	492	99	106	171	181	-	-
15	18,900	87,200	18,800	463	87,000	492	94	98	185	181	-	-
16	19,300	99,100	19,200	515	98,900	492	105	93	163	152	-	-
17	19,500	95,800	19,400	493	95,600	494	100	88	186	164	-	-
18	19,100	89,600	19,000	471	89,500	494	95	57	161	92	-	90
19	18,900	90,000	18,800	478	89,900	494	97	48	160	77	-	92
20	18,400	91,800	18,300	501	91,700	494	101	34	173	59	-	102
21	18,200	91,100	18,200	500	91,000	494	101	27	192	52	-	112
22	18,100	73,100	18,000	406	73,100	494	82	25	144	36	-	83
23	17,700	88,200	17,600	501	88,200	494	101	20	175	35	-	104
24	17,800	90,400	17,800	508	90,400	494	103	20	152	30	-	89
25	17,600	89,600	17,600	509	89,600	494	103	17	159	27	-	97
26	17,300	86,500	17,300	500	86,500	494	101	13	162	21	-	99
27	15,800	77,300	15,800	489	77,300	479	98	11	163	18	-	99
28	15,400	77,800	15,400	505	77,800	479	102	7	157	11	-	97
29	15,500	77,300	15,500	499	77,300	479	101	3	160	5	-	101
30	15,600	78,900	15,600	506	78,900	479	102	-	-	-	-	-
R 1	15,500	75,300	15,500	486	75,300	482	98	-	-	-	-	-
R 2	15,500	76,900	15,500	496	76,900	482	100	-	-	-	-	-
R 3	14,900	73,300	14,900	492	73,300	482	99	-	-	-	-	-
R 4	14,400	72,300	14,400	502	72,300	482	101	-	-	-	-	-
R 5	13,900	70,100	13,900	504	70,100	482	102	-	-	-	-	-

- 注) 1. 農林水産省「水陸稲の収穫量」による。
2. H18以降の陸稲作況指数は、参考値(10a当たり平均収量対比)。
3. 作付面積(子実用)とは、青刈り面積(飼料用米等を含む。)を除いた面積である。
4. 10a当たり収量及び収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米重量。
H27から平年収量及び作況指数は、実際に農家が使用しているふるい目幅で算出した数値。
群馬県は1.80mmのふるい目幅で算定。(26年産までは、1.70mmで算定。)
5. 群馬県陸稲の平成30年産からは統計資料無し

(2) 全国

項目	水陸稲合計		水 稲					陸 稲				
年次	作付 面積	収穫量	作付 面積	10a当 り収量	収穫量	平年 収量	作況 指数	作付 面積	10a当 り収量	収穫量	平年 収量	作況 指数
	千ha	千t	千ha	kg	千t	kg		千ha	kg	千t	kg	
30	3,222	12,385	3,045	396	12,073	335	118	177.2	175	311.6	—	—
35	3,308	12,858	3,124	401	12,539	380	108	184.0	173	319.9	—	—
※40	3,255	12,409	3,123	390	12,181	403	97	132.4	172	228.1	188	91
45	2,923	12,689	2,836	442	12,528	431	103	87.4	184	160.8	195	94
50	2,764	13,165	2,719	481	13,085	450	107	44.9	179	80.4	200	90
※55	2,377	9,751	2,350	412	9,692	471	87	27.7	215	58.6	202	106
60	2,342	11,662	2,318	501	11,613	481	104	23.6	206	48.5	205	100
61	2,303	11,647	2,303	508	11,592	484	105	22.5	244	54.8	206	118
62	2,146	10,627	2,123	498	10,571	487	102	23.0	243	56.0	209	116
63	2,110	9,935	2,087	474	9,888	490	97	22.8	205	46.8	211	97
H 1	2,097	10,347	2,076	496	10,297	492	101	21.6	229	49.5	214	107
2	2,074	10,499	2,055	509	10,463	494	103	18.9	189	35.7	216	88
※3	2,049	9,604	2,033	470	9,565	497	95	16.1	243	39.2	217	112
4	2,106	10,573	2,092	504	10,546	498	101	13.7	196	26.9	219	89
※5	2,139	7,834	2,139	369	7,811	499	74	12.4	183	22.7	221	83
6	2,212	11,981	2,212	544	11,691	499	109	12.3	160	19.7	223	72
7	2,118	10,748	2,106	509	10,724	501	102	11.6	209	24.3	219	95
8	1,977	10,344	1,967	525	10,328	502	105	9.4	166	15.7	220	75
9	1,953	10,025	1,944	515	10,004	504	102	8.6	243	20.9	208	117
10	1,801	8,960	1,793	499	8,939	507	98	8.0	256	20.6	209	122
11	1,788	9,175	1,780	515	9,159	512	101	7.4	214	16.0	209	102
12	1,770	9,490	1,763	537	9,472	518	104	7.0	256	18.1	211	121
13	1,706	9,057	1,700	532	9,048	518	103	6.4	144	9.2	211	68
14	1,688	8,889	1,683	527	8,876	522	101	5.6	225	12.5	211	106
※15	1,665	7,792	1,660	469	7,779	524	90	5.0	250	12.5	214	117
16	1,701	8,730	1,697	514	8,721	525	98	4.7	200	9.4	217	92
17	1,706	9,074	1,702	532	9,062	527	101	4.5	266	11.9	—	—
18	1,688	8,556	1,684	507	8,546	529	96	4.1	246	10.1	—	106
19	1,673	8,714	1,669	522	8,705	529	99	3.6	257	9.4	—	108
20	1,627	8,823	1,624	543	8,815	530	102	3.2	265	8.5	—	111
21	1,624	8,474	1,621	522	8,466	530	98	3.0	276	8.3	—	110
22	1,628	8,483	1,625	522	8,478	530	98	3.0	189	5.5	—	72
23	1,576	8,402	1,574	533	8,397	530	101	2.4	220	5.2	—	88
24	1,581	8,523	1,579	540	8,519	530	102	2.1	172	3.6	—	68
25	1,599	8,607	1,597	539	8,603	530	102	1.7	249	4.3	—	104
26	1,575	8,439	1,573	536	8,435	530	101	1.4	257	3.6	—	107
27	1,506	7,989	1,505	531	7,986	517	100	1.2	233	2.7	—	97
28	1,479	8,044	1,478	544	8,042	517	103	0.9	218	2.1	—	94
29	1,466	7,824	1,465	534	7,822	517	100	0.8	236	1.9	—	106
30	1,470	7,782	1,470	529	7,780	519	98	0.8	232	1.7	—	100
R 1	1,470	7,764	1,469	528	7,762	519	99	0.7	228	1.6	—	97
R 2	1,462	7,765	1,462	531	7,763	512	99	0.6	236	1.5	—	100
R 3	1,403	7,564	1,403	539	7,563	512	101	0.6	230	1.3	—	99
R 4	1,355	7,270	1,355	536	7,269	512	100	0.5	216	1.0	—	93
R 5	1,345	7,166	1,344	533	7,165	512	101	0.4	208	0.8	—	91

注) 年次欄の※印は冷害年を示す。

8 令和5年産市町村別水稻作付面積及び収量・収穫量

区 分	水 稻 (令和5年産) a			水 稻 (令和4年産) b			同左増減 a-b		
	作付 面積	10a 当り 収量	収穫量	作付 面積	10a 当り 収量	収穫量	作付 面積	10a 当り 収量	収穫量
	ha	kg	t	ha	kg	t	ha	kg	t
県計	平26	17,300	500	86,500					
	平27	15,800	489	77,300					
	平28	15,400	505	77,800					
	平29	15,500	499	77,300					
	平30	15,600	506	78,900					
	令元	15,500	486	75,300					
	令2	15,500	496	76,900					
	令3	14,900	492	73,300					
	令4	14,400	502	72,300					
	令5	13,900	504	70,100					
前橋市	1,730	508	8,810	1,780	506	8,980	-50	2	-170
伊勢崎市	806	501	4,040	912	500	4,560	-106	1	-520
玉村町	307	504	1,550	393	503	1,980	-86	1	-430
渋川市	396	496	1,960	396	496	1,960	0	0	0
榛東村	105	471	495	107	470	503	-2	1	-8
吉岡町	104	475	494	119	474	564	-15	1	-70
高崎市	1,310	482	6,300	1,350	480	6,460	-40	2	-160
安中市	455	481	2,190	464	481	2,230	-9	0	-40
藤岡市	408	480	1,960	413	480	1,980	-5	0	-20
上野村	-	-	-	-	-	-			
神流町	-	-	-	-	-	-			
富岡市	304	475	1,440	305	473	1,440	-1	2	0
下仁田町	10	461	46	10	459	46	0	2	0
南牧村	-	-	-	-	-	-			
甘楽町	78	476	371	78	475	371	0	1	0
中之条町	241	518	1,250	242	514	1,240	-1	4	10
長野原町	16	504	81	16	499	80	0	5	1
嬭恋村	41	490	201	42	489	205	-1	1	-4
草津町	-	-	-	-	-	-			
高山村	109	520	567	110	516	568	-1	4	-1
東吾妻町	240	521	1,250	241	513	1,240	-1	8	10
沼田市	492	552	2,720	496	548	2,720	-4	4	0
片品村	43	477	205	43	467	201	0	10	4
川場村	150	552	828	150	548	822	0	4	6
昭和村	29	520	151	29	516	150	0	4	1
みなかみ町	362	532	1,930	364	527	1,920	-2	5	10
桐生市	197	495	975	199	494	983	-2	1	-8
みどり市	80	496	397	82	495	406	-2	1	-9
太田市	1,240	499	6,160	1,270	497	6,310	-30	2	-150
館林市	1,560	510	7,980	1,560	509	7,960	0	1	20
板倉町	1,310	509	6,660	1,390	508	7,050	-80	1	-390
明和町	401	508	2,040	397	506	2,010	4	2	30
千代田町	518	515	2,670	510	513	2,620	8	2	50
大泉町	151	506	764	170	505	859	-19	1	-95
邑楽町	746	513	3,830	759	511	3,880	-13	2	-50

注) 1. 関東農政局群馬県拠点「水稻の市町村別作付面積及び収穫量」による。

2. ラウンドにより、県計値と市町村内訳の計が一致しないことがある。

3. 作付面積は、青刈り用（飼料用米等含む）の面積を除いた面積である。

9 令和5年産全国水稻作付面積及び収量・収穫量

全国・都道府県	水 稻					(参 考)				
	作付面積(子実用)		10 a 当り 収量	収穫量(子実用)		主食用 作付 面積	収穫量 (主食用)	10 a 当り 平年 収量	10 a 当り 収量	作況 指数
		前年対比			前年対比					
	ha	%	kg	t	%	ha	t	kg	kg	
全 国	1,344,000	99	533	7,165,000	99	1,242,000	6,610,000	512	515	101
北 海 道	93,300	100	579	540,200	98	82,200	475,900	535	555	104
青 森	40,500	102	614	248,700	106	33,800	207,500	574	587	102
岩 手	45,200	98	551	249,100	101	42,800	235,800	514	535	104
宮 城	60,900	100	566	344,700	106	57,200	323,800	511	537	105
秋 田	83,000	101	552	458,200	100	69,900	385,800	542	524	97
山 形	61,000	99	589	359,300	98	52,400	308,600	566	564	100
福 島	58,400	101	561	327,600	103	53,100	297,900	532	542	102
茨 城	59,700	100	530	316,400	99	57,800	306,300	506	513	101
栃 木	51,400	101	553	284,200	105	47,200	261,000	515	537	104
群 馬	13,900	97	504	70,100	97	12,400	62,500	482	494	102
埼 玉	28,400	99	484	137,500	97	27,500	133,100	479	472	99
千 葉	47,700	100	557	265,700	102	45,800	255,100	533	550	103
東 京	111	97	419	465	96	111	465	404	414	102
神 奈 川	2,850	99	499	14,200	99	2,850	14,200	475	486	102
新 潟	115,800	100	511	591,700	94	100,600	514,100	527	502	95
富 山	35,200	99	528	185,900	94	31,200	164,700	519	511	98
石 川	23,400	101	518	121,200	99	20,800	107,700	509	508	100
福 井	23,300	99	500	116,500	96	21,500	107,500	484	475	98
山 梨	4,750	99	542	25,700	101	4,660	25,300	532	533	100
長 野	30,600	99	614	187,900	100	29,300	179,900	599	601	100
岐 阜	20,700	100	484	100,200	99	19,700	95,300	475	476	100
静 岡	15,100	101	519	78,400	103	15,000	77,900	511	512	100
愛 知	25,800	100	480	123,800	95	24,700	118,600	489	468	96
三 重	25,200	98	501	126,300	97	24,900	124,700	478	483	101
滋 賀	28,300	98	504	142,600	94	27,000	136,100	483	470	97
京 都	13,800	99	502	69,300	96	13,200	66,300	492	489	99
大 阪	4,440	98	503	22,300	98	4,430	22,300	478	489	102
兵 庫	34,200	99	497	170,000	96	32,500	161,500	477	478	100
奈 良	8,250	98	517	42,700	97	8,200	42,400	500	507	101
和 歌 山	5,780	97	506	29,200	94	5,780	29,200	485	498	103
鳥 取	11,900	98	481	57,200	92	11,700	56,300	495	469	95
島 根	16,100	98	515	82,900	97	15,900	81,900	482	489	101
岡 山	27,800	99	514	142,900	97	26,900	138,300	500	497	99
広 島	21,100	98	535	112,900	99	20,500	109,700	508	522	103
山 口	17,100	97	510	87,200	94	16,000	81,600	480	493	103
徳 島	9,750	98	469	45,700	96	9,480	44,500	462	459	99
香 川	10,200	94	496	50,600	91	10,100	50,100	479	485	101
愛 媛	12,800	98	505	64,600	94	12,800	64,600	468	483	103
高 知	10,300	95	454	46,800	94	10,200	46,300	446	445	100
福 岡	32,800	98	480	157,400	96	32,300	155,000	456	458	100
佐 賀	22,200	97	521	115,700	99	21,700	113,100	487	500	103
長 崎	10,000	96	488	48,800	100	10,000	48,800	466	477	102
熊 本	30,000	96	518	155,400	99	28,900	149,700	479	496	104
大 分	18,300	97	491	89,900	96	18,100	88,900	475	479	101
宮 崎	14,700	95	486	71,400	95	12,700	61,700	482	477	99
鹿 児 島	17,200	96	485	83,400	97	15,800	76,600	470	476	101
沖 縄	576	90	321	1,850	93	544	1,750	302	314	104

注) 1. 農林水産省「水陸稲の収穫量」

2. 作付面積(子実用)とは、青刈り面積(飼料用米等含む)の面積を除いた面積。

3. 主食用作付面積とは、水稻作付面積(青刈り面積を含む)から加工用米、新規需要米等の面積を除いた面積。

4. (参考) 10a当り平年収量及び収量は、農家等が使用している節目幅で選別したもの。

10 群馬県における昭和60年以降の水稻地域別作柄概況の推移

年次	作 付 面 積 (h a)				10a当たり収量 (kg)				収 穫 量 (t)			
	県計	中毛	北毛	東毛	県計	中毛	北毛	東毛	県計	中毛	北毛	東毛
51	33,100	13,600	3,160	16,300	374	378	278	390	123,800	51,400	8,800	63,600
55	28,100	11,200	2,600	14,300	368	366	338	375	103,400	41,000	8,790	53,600
60	27,300	11,100	2,540	13,700	468	449	472	482	127,800	49,800	12,000	66,000
元	22,900	9,170	2,150	11,600	452	446	441	458	103,500	40,900	9,480	53,100
2	22,500	9,020	2,150	11,300	474	468	489	477	106,700	42,200	10,500	53,900
3	21,800	8,770	2,120	10,900	455	450	472	456	99,200	39,500	10,000	49,700
4	22,200	8,990	2,150	11,100	482	481	464	485	107,000	43,200	9,990	53,100
5	22,200	8,990	2,160	11,100	396	400	249	422	87,900	36,000	5,380	46,800
6	24,100	10,000	2,260	11,800	512	508	525	513	123,400	50,800	11,900	60,700
7	23,000	9,430	2,200	11,300	503	516	473	500	115,700	48,600	10,400	56,700
8	21,200	8,500	2,130	10,500	512	504	515	519	108,500	42,800	11,000	54,700
9	20,900	8,380	2,120	10,400	500	495	525	499	104,500	41,500	11,100	51,900
10	19,500	7,740	2,000	9,770	447	441	469	447	87,180	34,200	9,380	43,600
11	19,500	7,720	1,980	9,800	493	486	501	498	96,100	37,500	9,920	48,800
12	19,400	7,590	1,970	9,810	472	456	518	476	91,600	34,600	10,200	46,700
13	19,000	7,470	1,940	9,620	476	467	520	475	90,400	34,900	10,100	46,700
14	18,800	8,960	1,920	7,930	488	486	514	484	91,700	43,500	9,840	38,400
15	18,800	8,970	1,920	7,900	463	459	473	466	87,000	41,100	9,070	36,800
16	19,200	9,260	1,930	7,980	515	506	538	521	98,900	46,900	10,400	41,600
17	19,400	9,100	1,980	8,360	493	501	528	479	95,600	45,600	10,500	40,000
18	19,000	8,980	1,970	8,050	471	466	503	470	89,500	41,800	9,920	37,800
19	18,800	9,010	1,970	7,830	478	468	522	479	89,900	42,200	10,300	37,500
20	18,300	8,630	1,940	7,760	501	493	522	504	91,700	42,500	10,100	39,100
21	18,200	8,540	1,950	7,730	500	491	516	503	91,000	42,000	10,100	38,900
22	18,000	8,460	1,950	7,640	406	342	524	446	73,100	28,900	10,200	34,100
23	17,600	8,340	1,930	7,370	501	492	532	504	88,200	40,900	10,300	37,100
24	17,800	8,290	1,930	7,610	508	487	542	523	90,400	40,300	10,400	39,700
25	17,600	8,070	1,920	7,640	509	488	548	521	89,600	39,400	10,500	39,800
26	17,300	7,820	1,900	7,600	500	490	489	514	86,500	38,300	9,310	39,100
27	15,800	6,910	1,880	6,980	489	484	510	490	77,300	33,500	9,590	34,200
28	15,400	6,820	1,850	6,740	505	497	518	508	77,800	33,900	9,600	34,300
29	15,500	6,730	1,820	6,910	499	493	505	503	77,300	33,200	9,210	34,800
30	15,600	6,830	1,790	6,950	506	501	523	507	78,900	34,200	9,340	35,300
元	15,500	6,800	1,770	6,970	486	481	509	485	75,300	32,700	9,010	33,800
2	15,500	6,830	1,770	6,930	496	490	530	493	76,900	33,500	9,380	34,200
3	14,900	6,620	1,750	6,520	492	484	509	495	73,300	32,000	8,910	32,300
4	14,400	6,320	1,730	6,340	502	492	528	506	72,300	31,100	9,130	32,100
5	13,900	6,010	1,720	6,200	504	495	533	508	70,100	29,700	9,170	31,500

注) 1. 農林水産省「作物調査」による。

2. 平成21年以降は関東農政局群馬県拠点「水稻の市町村別作付面積と収穫量」による。

3. 10a当たり収量及び収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米重量。
H27から平年収量及び作況指数は、実際に農家が使用しているふるい目幅で算出した数値。
群馬県は1.80mmのふるい目幅で算定。(26年産までは、1.70mmで算定。)

年次	10a当たり平年収量 (kg)				作 況 指 数				摘 要
	県計	中毛	北毛	東毛	県計	中毛	北毛	東毛	
51	405	404	400	407	92	94	70	96	冷害と穂いもち病による稔実不足
55	411	413	401	413	90	89	84	91	冷害、いもち病、日照不足。
60	415	418	403	414	113	107	117	116	梅雨明け後～9月中旬までの好天気。
元	431	428	420	435	105	104	105	105	8月以降の好気象、気象・病気等の被害少。
2	436	432	430	440	109	108	114	108	登熟期の高温・低湿・乳白粒の発生。
3	441	436	436	447	103	103	108	102	9月上旬の高温と中旬以降の曇雨天による粒の充実阻害、乳白粒の発生。
4	446	440	444	451	108	109	105	108	8月中旬以降の高温多照の好天候。
5	452	445	449	456	88	90	55	93	低温・寡照・多雨の影響で生育遅延・出穂遅れ、稔実歩合や粒の肥大・充実も不良、いもち病の発生。
6	452	446	449	458	113	114	117	112	7・8月の平均気温は観測史上1位。
7	456	452	454	463	110	114	104	108	
8	460	456	457	467	111	111	113	111	登熟期の日較差が大きく、稔実・肥大が良好。
9	468	465	468	470	107	106	112	106	
10	476	474	477	478	94	93	98	94	8月下旬以降の天候不順と、台風5号等による倒伏から品質不良。
11	484	481	489	486	102	101	102	102	
12	491	482	503	495	96	95	103	96	9月2・3日の高温と乾燥風により乳白粒の多発。
13	491	482	503	495	97	97	103	96	8月天候不順、台風11・15号による褐変粒の発生や台風通過後の高温・低湿による乳白米等の発生。
14	492	484	507	498	99	100	101	97	
15	492	484	507	498	94	95	93	94	低温・寡照の影響により出穂・成熟遅れ、粒の肥大・充実やや不良、いもち病の発生、品質は概ね良好。
16	492	485	511	496	105	104	105	105	6月下旬～8月中旬高温・多照により分けつ旺盛、有効穂数・全もみ数やや多い。登熟やや良。
17	494	487	520	496	100	103	102	97	高温や高夜温の影響により乳白粒・心白粒等が発生、東毛でイナズマヨコバイ大発生。
18	494	487	520	496	95	96	97	95	梅雨明けが10日程度遅れ、分けつが抑制された。登熟期の天候には恵まれたが作柄はやや不良。
19	494	487	520	496	97	96	100	97	くず米が多くやや減収した。高温の影響かゴロピカリの1等比率が低下した。
20	494	487	520	496	101	101	100	102	登熟良好。
21	494	487	520	496	101	101	99	101	
22	494	487	520	496	82	70	101	90	高温の影響により、白未熟粒等が発生し、規格外米が大量発生した。
23	494	487	520	496	101	101	102	102	台風による倒伏や9月下旬～10月上旬の低温により粒の肥大・充実が緩慢だったが、もみ数が多かった。
24	494	487	520	496	103	100	104	105	早期栽培は、全般に白未熟粒がみられた。普通期栽培では早期栽培より程度は軽かった。
25	494	487	520	496	103	100	105	105	
26	494	487	520	496	101	101	94	104	早植栽培地帯で、出穂後の低温・日照不足により死米、青未熟粒が発生した。
27	479	470	509	481	98	98	98	97	登熟期間の低温・日照不足により、死米や青未熟粒が発生し、収量・品質が低下した。
28	479	469	510	480	102	102	101	102	8月～9月の日照不足により白未熟粒の発生が見られたが、品質は平年より優れる。
29	499	469	511	480	101	101	97	101	7月～8月は日照不足。10月は長雨・台風により大幅な刈り遅れや倒伏が発生したが、品質は優れる。
30	479	470	510	480	102	103	101	102	7月の高温の影響で白未熟粒、胴割粒が多く、1等米比率が低い。
元	482	473	510	484	98	98	98	97	7月の低温、日照不足で生育が遅れたが、梅雨明け以降回復した。品質は一部で白未熟粒の発生が見られた。
2	482	473	510	484	100	100	102	99	7月の日照不足の影響で穂数が少なかった。8月の高温の影響により早期・早植栽培の一部で白未熟粒等が多く発生した。
3	482	472	511	484	99	99	98	99	8月中旬・9月上旬の低温・降雨の影響により、全域で穂いもちが多く発生した。
4	482	472	510	484	101	100	101	101	高温の影響により白未熟粒が平年より多く、全域で紋枯病、内穎褐変病が多かった。
5	482	472	510	484	102	102	103	103	高温の影響により白未熟粒(乳・心白粒、背白粒、基白粒)、胴割粒の発生が多く、1等米比率が低下した。

4. 作柄表示地帯区分

中毛：前橋市、高崎市、伊勢崎市、渋川市、藤岡市、富岡市、安中市、榛東村、吉岡町、上野村、神流町、下仁田町、南牧村、甘楽町、玉村町

北毛：沼田市、中之条町、長野原町、嬭恋村、草津町、高山村、東吾妻町、片品村、川場村、昭和村、みなかみ町

東毛：桐生市、太田市、館林市、みどり市、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町

1 1 田植の進捗状況等の推移

(1) 年度別状況

年度	項目 水田面積 (本地面積)	水稲作付 面積	左のうち		時 期 別					
			直播 面積	移植面積 (A)	5月15日		6月1日		6月15日	
					面 積 (B)	B/A	面 積 (B)	B/A	面 積 (B)	B/A
	ha	ha	ha	ha	ha	%	ha	%	ha	%
昭和45	39,700	36,000	438	35,496	-	-	3,448	9.7	-	-
50	36,500	34,300	2,748	30,399	-	-	3,033	10.0	-	-
55	35,800	28,100	368	27,824	306	1.1	2,368	8.5	-	-
60	34,000	27,300	141	27,459	197	0.7	2,968	10.8	7,249	26.4
平成元年	32,800	22,900	148	22,452	176	0.8	2,970	13.2	7,667	34.1
2	32,500	22,500	165	22,035	262	1.2	3,358	15.2	6,824	31.0
3	32,000	21,800	154	21,646	265	1.2	2,951	13.6	8,090	37.4
4	31,800	22,200	128	22,572	229	1.0	3,179	14.1	9,333	41.3
5	31,300	22,200	100	22,100	309	1.4	2,149	9.7	9,221	41.7
6	31,000	24,100	100	24,100	539	2.2	3,525	14.6	11,127	46.2
7	30,800	23,000	133	23,000	815	3.5	3,562	15.5	10,694	46.5
8	30,400	21,200	128	21,072	927	4.4	3,372	16.0	8,914	42.3
9	30,100	20,900	89	20,811	868	4.2	4,235	20.3	10,665	51.2
10	29,900	19,500	83	19,417	874	4.5	4,235	21.8	10,194	52.5
11	29,700	19,500	83	19,431	791	4.1	4,349	22.4	9,684	49.8
12	29,500	19,400	75	19,308	850	4.4	4,463	23.1	10,993	56.9
13	29,300	19,000	73	18,925	806	4.3	4,613	24.4	10,560	55.8
14	28,900	18,800	71	18,729	900	4.8	4,034	21.5	9,479	50.4
15	28,400	18,800	66	18,734	921	4.9	4,474	23.9	9,701	51.6
16	27,900	19,200	60	19,140	1,138	5.9	5,145	26.8	10,522	54.8
17	27,500	19,400	54	19,346	1,125	5.8	4,889	25.9	9,933	50.1
18	27,300	19,000	48	18,952	1,042	5.5	4,909	25.9	9,495	50.1
19	27,100	18,800	47	18,753	842	4.5	4,733	25.2	9,748	52.0
20	26,800	18,300	47	18,253	922	5.1	4,723	25.9	9,770	53.5
21	26,600	18,200	44	18,156	871	4.8	4,829	26.6	9,718	53.5
22	26,300	18,000	41	17,959	844	4.7	4,472	24.9	9,482	52.8
23	26,000	17,600	44	17,556	876	5.0	4,695	26.7	9,354	53.3
24	25,800	17,800	43	17,757	1,015	5.7	4,640	26.1	9,321	52.5
25	25,700	17,600	38	17,562	1,583	9.0	4,288	24.4	9,206	52.4
26	25,500	17,300	50	17,250	1,518	8.8	3,761	21.8	9,281	53.8
27	25,300	15,800	34	15,766	1,283	8.1	3,681	23.4	8,985	57.0
28	25,100	15,400	40	15,360	1,186	7.7	3,715	24.2	8,720	56.8
29	24,700	15,500	38	15,462	1,128	7.3	3,768	24.4	8,624	55.8
30	24,400	15,600	33	15,567	1,117	7.2	3,883	24.9	8,773	56.4
令和元年	24,100	15,500	33	15,467	1,024	6.6	3,759	24.3	8,640	55.9
2	23,700	15,500	36	15,464	1,036	6.7	3,773	24.4	8,768	56.7
3	23,100	14,900	42	14,858	1,025	6.9	3,789	25.5	8,573	57.7
4	22,700	14,400	45	14,400	984	6.8	3,612	25.1	7,976	55.4
5	22,200	13,900	71	13,524	895	6.6	3,394	25.1	7,493	55.4

(2) 地域別の状況(令和5年産)

3,437.0

農業 事務 所別	農業指導 センター別	令和5年 水稲作付 面積推計	左のうち		時期別進捗状況					
			直播 面積	移植面積 (A)	5月15日		6月1日		6月15日	
					面 積 (B)	B/A	面 積 (B)	B/A	面 積 (B)	B/A
		ha	ha	ha	ha	%	ha	%	ha	%
中 部	中部	2,131	20	2,111	4	0.2%	220	10.4%	580	27.5%
	渋川地区	595		595	2	0.3%	200	33.6%	480	80.7%
	伊勢崎地区	1,278	11	1,267	0	0.0%	7	0.6%	30	2.4%
	計	4,004	31	3,973	6	0.2%	427	10.7%	1,090	27.4%
西 部	西部	1,824	1	1,823	3	0.2%	213	11.7%	750	41.1%
	藤岡地区	642		642	0	0.0%	15	2.3%	280	43.6%
	富岡地区	385		385	9	2.3%	41	10.6%	300	77.9%
	計	2,851	1	2,850	12	0.4%	269	9.4%	1,330	46.7%
吾妻		593	1	592	59	10.0%	563	95.1%	629	106.3%
利根沼田		852	1	851	200	23.5%	800	94.0%	1,029	120.9%
東 部	東部	1,487	19	1,468	3	0.2%	95	6.5%	738	50.3%
	桐生地区	371		371	10	2.7%	150	40.4%	234	63.1%
	館林地区	3,437	18	3,419	605	17.7%	1,090	31.9%	2,939	86.0%
	計	5,295	37	5,258	618	11.8%	1,335	25.4%	3,911	74.4%
合 計		13,595	71	13,524	895	6.6%	3,394	25.1%	7,989	59.1%

注) 1. 蚕糸園芸課資料による。地域別作付面積推計は、地域別作付予定面積及び農林水産統計「令和4年産水稲の作付面積及び収穫量」より算定。数値はラウンドしており、合計と一致しない。

2. 平成5年以前の6月1日及び7月1日現在については、それぞれ5月31日、6月30日現在の調査数値である。

3. 平成22年以前の7月15日現在については、7月10日現在の調査数値である。

4. 平成25年度の5月15日現在については、5月20日現在の調査数値である。

進 捗				状 況				植付完了	項 目
6月25日		7月1日		7月5日		7月15日			
面 積 (B)	B／A	面 積 (B)	B／A	面 積 (B)	B／A	面 積 (B)	B／A		年 度
ha	%	ha	%	ha	%	ha	%		
13,098	36.9	26,433	74.5	34,373	96.8	35,484	99.9	7月14日	45
20,820	68.5	28,758	94.6	30,236	99.5	30,399	100.0	7月6日	50
20,105	72.3	25,998	93.4	27,443	98.6	27,824	100.0	7月10日	55
21,046	76.6	26,807	97.6	27,408	99.8	27,459	100.0	7月10日	60
14,334	63.8	21,758	96.9	22,431	99.9	22,452	100.0	7月10日	平成元年
17,946	81.4	21,582	97.9	22,026	99.9	22,035	100.0	7月10日	2
20,290	93.7	21,591	99.7	21,646	100.0	21,646	100.0	7月4日	3
17,722	78.5	22,184	98.3	22,548	99.9	22,572	100.0	7月10日	4
17,315	78.3	21,578	97.6	21,992	99.5	22,100	100.0	7月10日	5
21,745	90.2	23,883	99.1	24,100	100.0	24,100	100.0	7月5日	6
18,817	81.8	22,397	97.4	22,976	99.9	23,000	100.0	7月10日	7
14,877	70.6	20,229	96.0	21,051	99.9	21,072	100.0	7月10日	8
19,220	92.4	20,705	99.5	20,811	100.0	20,811	100.0	7月5日	9
18,563	95.6	19,320	99.5	19,398	99.9	19,417	100.0	7月10日	10
18,600	95.7	19,362	99.6	19,431	100.0	19,431	100.0	7月5日	11
17,935	92.9	19,223	99.6	19,308	100.0	19,308	100.0	7月5日	12
17,768	93.9	18,871	99.7	18,925	100.0	18,925	100.0	7月5日	13
17,579	93.5	18,612	99.0	18,800	100.0	18,800	100.0	7月5日	14
16,506	87.8	18,574	98.8	18,706	99.5	18,800	100.0	7月10日	15
17,939	93.4	19,063	99.3	19,190	99.9	19,200	100.0	7月10日	16
18,126	76.5	18,643	96.1	19,361	99.8	19,400	100.0	7月10日	17
14,498	76.5	18,099	95.5	18,914	99.8	18,952	100.0	7月10日	18
17,314	92.3	18,658	99.5	18,714	99.8	18,753	100.0	7月9日	19
16,344	89.5	18,161	99.5	18,253	100.0	18,253	100.0	7月5日	20
17,194	94.7	18,120	99.8	18,156	100.0	18,156	100.0	7月5日	21
15,552	86.6	17,779	99.0	17,941	99.9	17,959	100.0	7月8日	22
13,629	77.6	17,004	96.9	17,537	99.9	17,556	100.0	7月13日	23
13,633	76.8	16,961	95.6	17,742	99.9	17,757	100.0	7月12日	24
14,759	84.0	17,321	98.6	17,541	99.9	17,558	100.0	7月12日	25
14,813	85.9	17,026	98.7	17,233	99.9	17,250	100.0	7月8日	26
14,305	90.7	15,651	99.3	15,757	99.9	15,766	100.0	7月13日	27
13,922	90.6	15,125	98.5	15,265	99.4	15,360	100.0	7月13日	28
13,705	88.6	15,192	98.3	15,407	99.6	15,462	100.0	7月18日	29
13,710	88.1	15,371	98.7	15,484	99.5	15,567	100.0	7月14日	30
13,351	86.3	15,044	97.3	15,362	99.3	15,467	100.0	7月12日	令和元年
13,485	87.2	15,124	97.8	15,371	99.4	15,461	100.0	7月15日	2
		14,353	96.6			14,858	100.0	7月15日	3
		13,754	95.5			14,398	100.0	7月15日	4
		13,109	96.9			13,518	100.0	7月23日	5

時期別進捗状況								植付完了	農業指導 センター別
6月25日		7月1日		7月5日		7月15日			
面 積 (B)	B/A	面 積 (B)	B/A	面 積 (B)	B/A	面 積 (B)	B/A		
ha	%	ha	%	ha	%	ha	%	7月14日	中部
		1,560	73.9%			2,111	100.0%	7月14日	渋川地区
		575	96.6%			595	100.0%	7月11日	伊勢崎地区
		1,201	94.8%			1,267	100.0%		計
		3,336	84.0%			3,973	100.0%	7月23日	西部
		1,440	79.0%			1,817	99.7%	7月9日	藤岡地区
		582	90.7%			642	100.0%	7月10日	富岡地区
		377	97.9%			385	100.0%		計
		2,399	84.2%			2,844	99.8%	6月10日	吾妻
		592	100.0%			592	100.0%	6月12日	利根沼田
		851	100.0%			851	100.0%	7月10日	東部
		1,458	99.3%			1,468	100.0%	7月2日	桐生地区
		365	98.4%			371	100.0%	7月11日	館林地区
		3,388	99.1%			3,419	100.0%		計
		5,211	99.1%			5,258	100.0%		合 計
		12,389	91.6%			13,518	100.0%		

1 2 群馬県新規需要米等の取組計画認定状況

区分		新規需要米						
		飼料用	米粉用	輸出用	バイオエタノール用	酒造用	稲発酵粗飼料用(WCS)	青刈り稲及びわら専用稲
23	数量(t)	3,231	772	2	-	-		
	面積(ha)	644	157	0	-	-	393	4
24	数量(t)	2,162	897	2	-	-		
	面積(ha)	440	183	0	-	-	407	0
25	数量(t)	2,132	857	2	-	-		
	面積(ha)	428	175	0	-	-	421	0
26	数量(t)	3,229	939	1	-	-		
	面積(ha)	654	191	0	-	-	462	3
27	数量(t)	8,659	1,248	2	-	-		
	面積(ha)	1,753	254	0	-	-	556	3
28	数量(t)	9,096	1,202	1	-	-		
	面積(ha)	1,844	244	0	-	-	590	3
29	数量(t)	7,580	1,120	1	-	-		
	面積(ha)	1,541	228	0	-	-	556	2
30	数量(t)	6,112	1,602	14				
	面積(ha)	1,243	324	3			519	-
元	数量(t)	4,936	1,661	68				
	面積(ha)	1,003	337	14			528	-
2	数量(t)	4,752	1,610	67				
	面積(ha)	959	325	14			514	-
3	数量(t)	6,543	1,828	21				
	面積(ha)	1,321	369	4			539	-
4	数量(t)	7,805	1,842	1				
	面積(ha)	1,575	372	0			584	-
5	数量(t)	8,229	824	1				
	面積(ha)	1,661	168	0			621	-

注) 農林水産省「新規需要米の取組計画認定状況」「加工用米の取組計画認定状況」による。

種子	その他その用途 が主食用米の 需給に影響を 及ぼさないもの	合計 (A)	加工用米		合計 (B)	新規需要米等 総計 (A+B)
			うるち米	もち米		
9	-	4,013	3,599	-	3,599	7,612
1	-	1,200	720	-	720	1,920
6	-	3,067	4,524	-	4,524	7,591
1	-	1,031	905	-	905	1,936
8	-	2,998	4,849	-	4,849	7,847
2	-	1,026	970	-	970	1,996
10	-	4,180	6,153	-	6,153	10,333
2	-	1,311	1,216	-	1,216	2,527
-	-	9,909	5,709	24	5,733	15,642
-	-	2,566	1,142	5	1,147	3,713
-	-	10,300	5,680	-	5,680	15,980
-	-	2,681	1,137	-	1,137	3,818
-	-	8,701	6,946	-	6,946	15,647
-	-	2,327	1,390	-	1,390	3,717
-	-	7,728	7,395	-	7,395	15,123
-	-	2,089	1,480	-	1,480	3,569
-	-	6,665	7,367	-	7,367	14,032
-	-	1,882	1,473	-	1,473	3,355
-	-	6,429	6,598	-	6,598	13,027
-	-	1,812	1,309	-	1,309	3,121
-	-	8,392	6,801	-	6,801	15,193
-	-	2,233	1,350	-	1,350	3,583
-	-	9,648	7,249	-	7,249	16,897
-	-	2,531	1,439	-	1,439	3,970
-	-	9,054	6,993	-	6,993	16,047
-	-	2,450	1,389	-	1,389	3,839

1 3 水稻うるち品種別作付面積の推移

(1) 群馬県

年次	26				27				28				29				30			
順位	品種名	作付面積 h a	比率 %		品種名	作付面積 h a	比率 %		品種名	作付面積 h a	比率 %		品種名	作付面積 h a	比率 %		品種名	作付面積 h a	比率 %	
1	あさひの夢	7,040	40.7		あさひの夢	6,050	38.3		あさひの夢	5,910	38.4		あさひの夢	6,220	40.1		あさひの夢	6,040	38.7	
2	コシヒカリ	3,900	22.6		コシヒカリ	3,840	24.3		コシヒカリ	3,750	24.3		コシヒカリ	3,660	23.6		コシヒカリ	3,600	23.1	
3	ひとめぼれ	2,090	12.1		ひとめぼれ	2,070	13.1		ひとめぼれ	2,020	13.1		ひとめぼれ	1,990	12.9		ひとめぼれ	1,950	12.5	
4	ゴロビカリ	1,740	10.1		ゆめまつり	1,410	8.9		ゆめまつり	1,580	10.2		ゆめまつり	1,770	11.4		ゆめまつり	1,670	10.6	
5	ゆめまつり	790	4.6		ゴロビカリ	880	5.6		ゴロビカリ	670	4.4		ゴロビカリ	460	3.0		ゴロビカリ	380	2.5	
6	キヌヒカリ	270	1.6		キヌヒカリ	260	1.7		キヌヒカリ	260	1.7		キヌヒカリ	270	1.7		キヌヒカリ	260	1.7	
7	朝の光	240	1.406		朝の光	160	1.021		朝の光	150	1.0		朝の光	140	0.9		朝の光	140	0.9	
8																				
9																				
	その他	1,230	7.1		その他	1,130	7.1		その他	1,060	6.8		その他	990	6.4		その他	1,560	10.0	
計		17,300	100			15,800	100			15,400	100			15,500	100			15,600	100	

年次	元				2				3				4				5			
順位	品種名	作付面積 h a	比率 %		品種名	作付面積 h a	比率 %		品種名	作付面積 h a	比率 %		品種名	作付面積 h a	比率 %		品種名	作付面積 h a	比率 %	
1	あさひの夢	6,220	40.1		あさひの夢	6,500	41.9		あさひの夢	6,710	45.0		あさひの夢	6,340	44.1		あさひの夢	5,740	41.3	
2	コシヒカリ	3,610	23.3		コシヒカリ	3,660	23.6		コシヒカリ	3,460	23.2		コシヒカリ	3,390	23.6		コシヒカリ	3,260	23.4	
3	ひとめぼれ	2,010	13.0		ひとめぼれ	1,880	12.1		ひとめぼれ	1,860	12.5		ひとめぼれ	1,820	12.6		ひとめぼれ	1,730	12.4	
4	ゆめまつり	1,530	9.9		ゆめまつり	1,610	10.4		ゆめまつり	1,515	10.2		ゆめまつり	1,410	9.8		ゆめまつり	1,230	8.9	
5	ゴロビカリ	280	1.8		キヌヒカリ	250	1.6		キヌヒカリ	220	1.5		にじのきらめき	220	1.5		にじのきらめき	550	4.0	
6	キヌヒカリ	170	1.1		ゴロビカリ	200	1.3		ゴロビカリ	150	1.0		キヌヒカリ	200	1.4		キヌヒカリ	180	1.3	
7	朝の光	20	0.1		朝の光	60	0.4		にじのきらめき	95	0.6		ゴロビカリ	130	0.9		ゴロビカリ	110	0.8	
8																				
9																				
	その他	1,570	10.1		その他	1,340	8.6		その他	890	6.0		その他	880	6.1		その他	1,090	7.9	
計		15,500	100			15,500	100			14,900	100			14,400	100			13,900	100	

(注) 1. 作付面積は、農林水産統計「水稻の作付面積（子実用）」の数値を基に作付比率から算出し、ラウンドした数値。（子実用：青刈（飼料用米含む）面積除く）
 （※飼料用米への用途変更等で差付け面積比率の年次間変動が大きい場合がある。） 下線の実践は奨励品種、点線は認定品種。その他には糯品種含む。
 2. 平成25～30、令和2～4年産の作付比率は水稻共済・水田一体化データに基づく推計値。令和元年産は技術支援課調べ。

(2) 全国（品種別作付比率）

年次	30		元		2		3		4	
順位	品種名	比率 %	品種名	比率 %	品種名	比率 %	品種名	比率 %	品種名	比率 %
1	コシヒカリ	35.0	コシヒカリ	33.9	コシヒカリ	33.7	コシヒカリ	33.5	コシヒカリ	33.4
2	ひとめぼれ	9.2	ひとめぼれ	9.4	ひとめぼれ	9.1	ひとめぼれ	8.8	ひとめぼれ	8.5
3	ヒノヒカリ	8.6	ヒノヒカリ	8.4	ヒノヒカリ	8.3	ヒノヒカリ	8.3	ヒノヒカリ	8.1
4	あきたこまち	6.8	あきたこまち	6.7	あきたこまち	6.8	あきたこまち	6.9	あきたこまち	6.7
5	ななつぼし	3.4	ななつぼし	3.4	ななつぼし	3.4	ななつぼし	3.0	ななつぼし	3.2
6	はえぬき	2.8	はえぬき	2.8	はえぬき	2.8	はえぬき	2.8	はえぬき	2.9
7	キヌヒカリ	2.2	まっしぐら	2.2	まっしぐら	2.5	まっしぐら	2.5	まっしぐら	2.4
8	まっしぐら	2.0	キヌヒカリ	2.1	キヌヒカリ	1.9	キヌヒカリ	1.9	キヌヒカリ	1.9
9	あさひの夢	1.6	あさひの夢	1.7	きぬむすめ	1.6	きぬむすめ	1.7	ゆめびりか	1.8
10	ゆめびりか	1.5	ゆめびりか	1.6	ゆめびりか	1.6	こしいぶき	1.5	きぬむすめ	1.8
11	こしいぶき	1.4	きぬむすめ	1.5	あさひの夢	1.5	ゆめびりか	1.5	こしいぶき	1.5
12	きぬむすめ	1.4	こしいぶき	1.4	こしいぶき	1.4	つや姫	1.3	つや姫	1.4
13	つや姫	1.1	つや姫	1.2	つや姫	1.2	あさひの夢	1.2	あさひの夢	1.3
14	夢つくし	1.0	夢つくし	1.0	夢つくし	1.0	夢つくし	1.0	夢つくし	1.1
15	つがるロマン	0.9	ふさこがね	0.9	ふさこがね	0.9	ふさこがね	0.9	天のつぶ	1.0
16	あいちのかおり	0.9	つがるロマン	0.8	あいちのかおり	0.9	天のつぶ	0.9	ふさこがね	0.9
17	彩のかがやき	0.8	あいちのかおり	0.8	天のつぶ	0.8	あいちのかおり	0.8	あいちのかおり	0.8
18	きらら397	0.7	彩のかがやき	0.7	あきさかり	0.7	あきさかり	0.8	あきさかり	0.8
19	ふさこがね	0.7	天のつぶ	0.7	彩のかがやき	0.7	きらら397	0.7	彩のかがやき	0.7
20	ハツシモ	0.6	きらら397	0.7	きらら397	0.7	彩のかがやき	0.7	ハツシモ	0.6
計		82.6		81.9		81.5		80.7		80.8

(注) 1. 米穀機構「水稻の品種別作付動向について」
 2. 令和5年産は、令和6年2月末現在で調査されていない。

1 4 稲作農家数等の推移（農林業センサス）

区 分 年	総 農 家 数 戸	経営耕 地面積 ha	田の ある 農家 数 戸	水 田 面 積 ha	稲収穫 農家数 戸	稲収穫 面 積 ha	水 稲		
							収 穫 農家数 戸	収 穫 面 積 ha	販 売 農家数 戸
1950 (S25)	130,066	106,165		33,157			94,851	31,575	
1955 (S30)	129,180	108,233		33,027	-	-	-	-	-
1960 (S35)	130,015	112,506	101,803	36,661		49,431	101,723	35,987	91,397
1970 (S45)	118,764	101,775	96,724	38,174		42,281	95,608	37,348	70,382
1975 (S50)	109,456	91,201	88,826	34,105		33,381	84,935	31,625	56,552
1980 (S55)	101,953	85,006	82,712	32,991		28,211	77,269	27,476	52,751
1985 (S60)	93,364	78,230	74,855	30,500		25,539	68,806	25,018	45,011
1990 (H 2)	82,601	71,999	66,682	29,126	50,948	20,609	50,444	20,056	36,660
1995 (H 7)	72,979	65,115	58,950	26,465	44,738	21,266	41,514	20,907	33,114
2000 (H12)	65,565	58,346	40,388	24,554	37,523	17,317	37,523	17,317	27,532
2005 (H17)	62,527	52,263	32,048	20,518	29,514	15,759	29,514	15,759	21,768
2010 (H22)	57,252	49,080	26,231	20,560	23,825	15,564	23,825	15,564	17,613
2015 (H27)	50,084	44,001	20,145	19,501	18,394	16,198	18,394	16,198	13,483
2020 (R 2)	42,275	40,374	13,788	17,631	-	-	-	-	9,795

注) S30、S35の面積は次により換算した。1 反=0.0991735ha。

注) 水稻販売農家数は飼料用除く

15 群馬県における米穀の年次別検査成績

(1) 水稻うるち玄米

(単位：トン)

年 産 構 成 比	種 別 検 査 数	水 稻 う る ち 玄 米				
		等 級 内 訳				
		1 等	2 等	3 等	等 外	規 格 外
60	74,371 (100.0)	50,040 (67.3)	18,201 (24.5)	2,570 (3.5)	3,545 (4.8)	15 (0.0)
5	30,152 (100.0)	26,771 (88.8)	1,095 (3.6)	139 (0.5)	2,131 (7.1)	15 (0.1)
10	23,648 (100.0)	2,492 (10.5)	6,771 (28.6)	10,868 (46.0)	546 (2.3)	2,971 (12.6)
11	22,514 (100.0)	15,077 (67.0)	6,832 (30.3)	599 (2.7)		6 (0.0)
12	20,065 (100.0)	3,879 (19.3)	12,040 (60.0)	3,940 (19.6)		207 (1.0)
13	18,692 (100.0)	10,667 (57.1)	5,281 (28.3)	2,607 (13.9)		137 (0.7)
14	23,242 (100.0)	8,039 (34.6)	12,317 (53.0)	2,671 (11.5)		215 (0.9)
15	25,137 (100.0)	20,005 (79.6)	4,939 (19.6)	184 (0.7)		10 (0.0)
16	32,584 (100.0)	26,602 (81.6)	5,642 (17.3)	306 (0.9)		35 (0.1)
17	28,910 (100.0)	7,304 (25.3)	19,155 (66.3)	2,215 (7.7)		232 (0.8)
18	26,179 (100.0)	18,730 (71.5)	7,145 (27.3)	272 (1.0)		32 (0.1)
19	27,153 (100.0)	15,858 (58.4)	10,710 (39.4)	564 (2.1)		21 (0.1)
20	29,715 (100.0)	20,599 (69.3)	8,701 (29.3)	376 (1.3)		39 (0.1)
21	30,605 (100.0)	22,867 (74.7)	7,517 (24.6)	203 (0.7)		18 (0.1)
22	31,481 (100.0)	904 (2.9)	5,780 (18.4)	13,126 (41.7)		11,670 (37.1)
23	26,208 (100.0)	12,301 (46.9)	10,495 (40.1)	3,310 (12.6)		102 (0.4)
24	29,002 (100.0)	15,890 (54.8)	10,005 (34.5)	2,999 (10.3)		108 (0.4)
25	38,042 (100.0)	15,633 (41.1)	17,864 (47.0)	4,383 (11.5)		132.0 (0.3)
26	40,253 (100.0)	35,541 (88.3)	4,068 (10.1)	609 (1.5)		35 (0.1)
27	30,950 (100.0)	24,884 (80.4)	5,564 (18.0)	468 (1.5)		34 (0.1)
28	32,467 (100.0)	28,750 (88.6)	3,546 (10.9)	143 (0.4)		28 (0.1)
29	38,432 (100.0)	35,420 (92.2)	2,747 (7.1)	258 (0.7)		8 (0.0)
30	37,131 (100.0)	33,060 (89.0)	3,581 (9.6)	467 (1.3)		23 (0.1)
元	35,675 (100.0)	32,165 (90.2)	3,239 (9.1)	264 (0.7)		7 (0.0)
2	35,708 (100.0)	29,701 (83.2)	5,575 (15.6)	430 (1.2)		2 (0.0)
3	34,925 (100.0)	32,134 (92.0)	2,650 (7.6)	133 (0.4)		8 (0.0)
4	35,720 (100.0)	32,470 (90.9)	2,940 (8.2)	301 (0.8)		10 (0.0)
5	27,422 (100.0)	16,691 (60.9)	9,241 (33.7)	1,435 (5.2)		54 (0.2)

注) 1. 農林水産省資料による。

2. 令和5年産の数値は、令和5年12月末時点のものである。

3. () は等級割合。

(2) 水稻もち玄米

(単位：トン)

年 産 構 成 比	種 別 検 査 数	水 稻 も ち 玄 米				
		等 級 内 訳				
		1 等	2 等	3 等	等 外	規 格 外
60	297 (100.0)	56 (18.7)	174 (58.5)	61 (20.6)	2 (0.6)	5 (1.5)
5	122 (100.0)	50 (41.4)	55 (44.8)	11 (9.3)	5 (4.3)	0 (0.2)
10	99 (100.0)	5 (4.7)	62 (62.4)	29 (29.0)		4 (3.9)
11	82 (100.0)	21 (25.7)	48 (58.2)	13 (15.6)		0 (0.6)
12	77 (100.0)	6 (8.0)	38 (49.9)	32 (41.4)		1 (0.7)
13	72 (100.0)	16 (22.5)	39 (54.6)	16 (22.8)		0 (0.2)
14	48 (100.0)	8 (17.5)	29 (61.7)	10 (20.2)		0 (0.6)
15	36 (100.0)	5 (14.9)	20 (54.4)	10 (26.6)		1 (4.1)
16	78 (100.0)	20 (25.7)	43 (54.3)	14 (17.4)		2 (2.6)
17	81 (100.0)	9 (10.6)	57 (70.2)	13 (15.6)		3 (3.6)
18	93 (100.0)	17 (18.5)	50 (53.2)	25 (26.7)		1 (1.5)
19	45 (100.0)	4 (9.8)	29 (64.6)	11 (23.6)		1 (2.0)
20	67 (100.0)	11 (16.4)	38 (57.1)	18 (26.3)		0 (0.2)
21	79 (100.0)	41 (51.2)	31 (38.9)	7 (8.9)		1 (0.9)
22	96 (100.0)	5 (5.0)	55 (57.4)	30 (31.3)		6 (6.3)
23	166 (100.0)	14 (8.6)	130 (78.4)	21 (12.7)		0 (0.3)
24	169 (100.0)	28 (16.7)	98 (57.8)	40 (23.9)		3 (1.7)
25	106 (100.0)	19 (17.6)	55 (52.3)	29 (27.4)		3 (2.7)
26	75 (100.0)	22 (28.9)	38 (50.7)	15 (19.6)		1 (0.8)
27	120 (100.0)	27 (22.8)	67 (55.9)	25 (20.9)		1 (0.4)
28	118 (100.0)	26 (22.4)	66 (55.9)	21 (18.1)		4 (3.5)
29	103 (100.0)	35 (33.7)	51 (49.5)	16 (15.3)		2 (1.5)
30	77 (100.0)	22 (29.0)	40 (52.2)	14 (17.8)		1 (1.0)
元	67 (100.0)	18 (26.6)	29 (43.4)	19 (28.6)		1 (1.5)
2	67 (100.0)	10 (14.9)	24 (35.8)	32 (47.8)		1 (1.5)
3	54 (100.0)	16 (30.4)	22 (40.7)	15 (28.0)		0 (0.9)
4	55 (100.0)	16 (28.8)	18 (32.6)	20 (37.4)		1 (1.2)
5	63 (100.0)	21 (33.8)	18 (28.9)	23 (37.0)		0 (3.0)

注) 1. 農林水産省資料による。

2. 令和5年産の数値は、令和5年12月末現在のものである。

3. () は等級割合。

(3) 醸造用玄米

(単位：トン)

年 産 構 成 比	種 別	醸 造 用 玄 米					
	検 査 量 トン	等 級 内 訳					
		特 上	特 等	1 等	2 等	3 等	規 格 外
5	255 (100.0)			196 (76.9)	39 (15.3)	20 (7.8)	
10	210 (100.0)			110 (52.2)	72 (34.3)	28 (13.4)	
11	159 (100.0)			86 (54.4)	63 (39.6)	9 (5.9)	
12	138 (100.0)		3 (2.3)	59 (42.6)	48 (34.9)	28 (20.3)	
13	120 (100.0)	2 (1.2)	15 (12.6)	36 (30.2)	61 (51.0)	6 (5.0)	
14	122 (100.0)		3 (2.4)	52 (42.5)	56 (46.1)	11 (8.9)	
15	111 (100.0)			38 (34.2)	53 (47.3)	21 (18.5)	
16	123 (100.0)			73 (59.3)	46 (37.4)	4 (3.3)	
17	159 (100.0)			6 (3.7)	134 (84.6)	19 (11.7)	
18	119 (100.0)			84 (70.6)	26 (21.7)	9 (7.7)	
19	95 (100.0)			57 (59.7)	30 (31.9)	8 (8.4)	
20	111 (100.0)			17 (15.7)	90 (81.2)	3 (3.1)	
21	115 (100.0)			5 (4.6)	93 (81.0)	17 (14.4)	
22	98 (100.0)		6 (5.9)	3 (3.5)	10 (10.7)	78 (79.9)	
23	105 (100.0)			90 (85.8)	8 (7.4)	7 (6.4)	0 (0.4)
24	105 (100.0)		6 (5.9)	8 (7.4)	91 (86.5)	0 (0.1)	
25	124.0 (100.0)			85 (68.1)	26 (21.1)	13 (10.7)	0 (0.0)
26	139 (100.0)		2 (1.1)	6 (4.4)	108 (77.3)	24 (17.2)	
27	121 (100.0)			12 (9.9)	94 (77.8)	14 (12.0)	0 (0.3)
28	120 (100.0)			17 (13.8)	78 (65.0)	26 (21.3)	
29	132 (100.0)		1 (1.1)	62 (47.2)	56 (42.0)	13 (9.7)	
30	130 (100.0)			90 (69.0)	32 (24.7)	8 (6.4)	
元	139 (100.0)		4 (2.7)	91 (65.6)	30 (21.6)	14 (9.8)	0 (0.3)
2	88 (100.0)			45 (51.5)	31 (35.8)	11 (12.7)	
3	126 (100.0)			85 (67.3)	30 (24.1)	11 (8.6)	
4	142 (100.0)		2 (1.7)	74 (52.5)	44 (31.1)	21 (14.7)	
5	152 (100.0)			100 (65.7)	38 (25.4)	14 (8.9)	

注) 1. 農林水産省資料による。

2. 令和5年産の数値は、令和5年12月末現在のものである。

3. () は等級割合。

16 米の生産費及び収益性（10a当たり）

(1) 群馬県		関東・東山地域平均								
項 目	年 次	25	26	27	28	29	30	元	2	3
生 産 費 (円)	種 苗 費	2,542	2,955	3,284	3,387	3,263	3,131	3,587	3,089	2,950
	肥 料 費	9,285	8,854	7,757	8,115	7,267	7,590	7,797	7,820	7,849
	農 薬 費	6,291	6,282	5,881	6,125	6,242	6,646	6,596	6,690	6,606
	光 熱 動 力 費	5,274	5,867	4,613	4,086	4,465	4,917	4,948	4,795	5,492
	そ の 他 諸 材 料 費	2,693	2,154	1,925	1,848	2,084	2,122	2,192	2,196	2,217
	土地改良及び水利費	2,727	3,381	3,815	3,759	4,295	3,954	4,000	4,529	4,391
	貸 借 料 及 び 料 金	7,437	9,610	10,241	9,851	9,701	10,154	9,507	10,053	10,854
	物件税及び公課諸負担	3,157	1,682	2,215	2,233	2,357	2,005	2,233	1,740	1,977
	建 物 費	1,498	2,207	3,974	3,850	5,019	4,312	4,705	4,591	4,091
	自 動 車 及 び 農 機 具 費	21,988	24,016	33,376	30,632	31,894	28,161	33,890	30,201	29,225
	生 産 管 理 費	450	973	328	333	318	322	294	541	481
	労 働 費	43,460	43,976	37,233	37,256	38,260	39,968	39,300	39,122	39,383
	費 用 合 計	106,802	111,957	114,642	111,475	115,165	113,282	119,049	115,367	115,516
	副 産 物 価 額	1,160	314	855	1,959	3,786	2,289	1,873	1,575	1,568
	生 産 費	105,642	111,643	113,787	109,516	111,379	110,993	117,176	113,792	113,948
	支 払 利 子	—	—	62	53	72	85	91	85	62
	支 払 地 代	3,407	4,212	5,181	5,510	5,871	5,472	5,041	4,943	4,446
	支払利子・地代算入生産費	109,049	115,855	119,030	115,079	117,322	116,550	122,308	118,820	118,456
	自 己 資 本 利 子	5,193	4,296	5,935	5,664	5,810	5,280	6,130	5,744	5,348
	自 作 地 地 代	5,326	4,871	10,946	9,872	9,557	9,712	10,019	9,841	9,360
	全 算 入 生 産 費	119,568	125,022	135,911	130,615	132,689	131,542	138,457	134,405	133,164
	60kg当たり 全 算 入 生 産 費	14,802	15,739	13,288	15,270	13,431	15,442	16,990	16,266	15,546
収 益 性	主 産 物 数 量 (kg)	484	476	510	516	498	511	488	495	514
	主 産 物 価 額 (円)	90,651	77,254	94,078	105,468	111,642	114,893	108,742	103,972	86,317
	副 産 物 価 額 (円)	1,160	314	855	1,959	3,786	2,289	1,873	1,575	1,568
	経営所得安定対 策等受取金(円)								532	
	粗 収 益 (円)	91,811	77,568	94,933	107,427	115,428	117,182	110,615	106,079	87,885
	生 産 費 総 額 (円)	120,728	125,336	136,766	132,574	136,475	133,831	140,330	135,980	134,732
	利 潤 (円)	△ 28,917	△ 47,768	△ 41,833	△ 25,147	△ 21,047	△ 16,649	△ 29,715	△ 29,901	△ 46,847
	所 得 (円)	22,293	3,163	9,845	25,166	29,516	35,052	21,897	20,000	3,474
	家族労働報酬(円)	28,445	△ 3,004	△ 7,036	9,630	14,149	20,060	5,748	4,947	1,398
	家族労働時間(時間)	29.39	29.35	22.81	21.70	22.28	23.02	21.81	21.39	24.89
	1日当たり 家族労働報酬(円)	7,743	—	—	—	—	6,971	2,108	1,654	0

注) 1. 農林水産統計年報「米生産費調査」による。令和3年度の全国数値は速報値
2. 米生産費統計は、主産地における「販売農家」の結果である。
「販売農家」とは、「玄米を600kg以上販売し、かつ平年作に対する増減収率が±20%未満の農家」である。
3. 収益性は次のとおり算出している。①粗収益＝主産物価額＋副産物価額、②生産費総額＝費用合計＋支払利子＋支払地代＋自己資本利子＋自作地地代、③所得＝粗収益－〔生産費総額－（家族労働費＋自己資本利子＋自作地地代）〕、④家族労働報酬＝粗収益－（生産費総額－家族労働費）、⑤1日当たり家族労働報酬＝家族労働報酬÷家族労働時間×8時間（1日換算）
4. 27年産からは、関東・東山平均の数値。

(2) 全国

年 次 項 目		25	26	27	28	29	30	元	2	3	4
生 産 費 (円)	種 苗 費	3,704	3,693	3,691	3,695	3,697	3,756	3,707	3,542	3,788	4,000
	肥 料 費	9,500	9,520	9,318	9,313	8,872	8,942	9,065	9,030	9,091	9,810
	農 薬 費	7,555	7,630	7,640	7,464	7,639	7,570	7,670	7,774	7,864	7,664
	光 熱 動 力 費	4,782	5,095	4,362	3,844	4,227	4,693	4,745	4,517	5,101	5,567
	そ の 他 諸 材 料 費	1,820	1,819	1,939	1,942	1,904	1,927	1,987	1,972	1,924	1,944
	土地改良及び水利費	4,442	4,444	4,468	4,313	4,213	4,191	4,333	4,545	4,335	3,932
	貸 借 料 及 び 料 金	12,078	12,576	12,200	11,953	11,989	11,569	11,495	11,147	11,407	12,359
	物件税及び公課諸負担	2,424	2,316	2,297	2,297	2,363	2,157	2,241	2,044	2,093	1,928
	建 物 費	4,802	4,502	4,170	4,146	4,292	3,973	3,640	3,834	4,009	4,019
	自 動 車 及 び 農 機 具 費	27,530	27,947	28,812	27,734	28,544	28,011	29,172	28,912	27,909	27,662
	生 産 管 理 費	424	392	414	426	455	396	394	460	433	439
	労 働 費	35,884	35,396	34,731	34,525	35,028	34,854	34,247	34,729	33,506	33,478
	費 用 合 計	114,945	115,330	114,042	111,652	113,223	112,039	112,696	112,506	111,460	112,802
	副 産 物 価 額	2,373	1,062	1,323	2,181	3,494	2,593	2,701	2,517	2,050	2,228
	生 産 費	112,572	114,268	112,719	109,471	109,729	109,446	109,995	109,989	109,410	110,574
	支 払 利 子	294	307	306	288	281	229	164	146	176	211
	支 払 地 代	4,832	4,710	5,034	5,128	4,779	4,999	5,289	5,309	5,206	4,725
	支払利子・地代算入生産費	117,698	119,285	118,059	114,887	114,789	114,674	115,448	115,444	114,792	115,510
	自 己 資 本 利 子	5,369	5,319	5,166	4,992	5,104	4,834	5,141	5,161	5,144	5,052
	自 作 地 地 代	10,974	10,581	10,069	9,706	9,444	9,216	8,916	8,581	8,209	8,370
	全 算 入 生 産 費	134,041	135,185	133,294	129,585	129,337	128,724	129,505	129,186	128,145	128,932
	60kg 当たり 全 算 入 生 産 費	15,229	15,416	15,390	14,584	15,147	15,352	15,155	15,046	14,758	15,273
収 益 性	主 産 物 数 量 (kg)	528	526	519	533	512	504	512	516	520	506
	主 産 物 価 額 (円)	—	—	—	—	—	—	116,331	111,495		
	副 産 物 価 額 (円)	2,373	1,062	1,323	2,181	3,494	2,593	2,701	2,517	2,050	2,228
	経営所得安定対 策等受取金								1,395		
	粗 収 益 (円)	—	—	—	—	—	—	119,032	115,407		
	生 産 費 総 額 (円)	136,414	136,247	134,617	131,766	132,831	131,317	132,206	131,703	130,195	131,160
	利 潤 (円)	—	—	—	—	—	—	△ 13,174	△ 16,296		
	所 得 (円)	—	—	—	—	—	—	32,568	27,751		
	家族労働報酬(円)	—	—	—	—	—	—	18,511	15,404		
	家族労働時間(時間)	23.77	23.09	22.36	21.97	21.61	21.49	20.78	20.66	20.15	20.70
	1 日 当 たり 家族労働報酬(円)	—	—	—	—	—	—	7,126	5,965		

Ⅱ 麦「ニーズに応じた高品質麦の安定生産への取組」

1 基本方針

- (1) ニーズに応じた品種選定や計画的かつ安定的な生産の推進
- (2) 基本技術の励行による高品質麦の生産
- (3) は種前契約の徹底や実需者との連携強化
- (4) 共同乾燥調製貯蔵施設等の効率的な運営と保管管理の体制強化
- (5) 経営所得安定対策等の活用による二毛作体系の推進
- (6) G A P（農業生産工程管理）の導入・実践
- (7) 地産地消の取組等、新たな需要づくり
- (8) 種子生産者の確保と生産体制の強化
- (9) スマート農業技術の普及

2 麦の生産目標

令和6年産作付計画等を次のとおりとする。

表1 麦種別作付計画 (h a , t)

区 分 \ 麦 種	小 麦	二条大麦	六条大麦	計
令和5年産作付面積	5,330	1,720	509	7,560
令和5年産収穫量	22,400	6,110	1,680	30,200
令和6年産作付計画面積	5,352	1,561	458	7,370
令和6年産目標収穫量	22,302	5,465	1,633	29,400

注) 令和6年産作付計画面積および目標収穫量は県集荷団体の契約予定数量を基にした数字。

表2 小麦品質ランク区分評価 (単位：%)

項 目 \ ランク区分等	検査等級 1等比率	A	B	C	D
令和4年産実績(確定)	85.4	67	33	1	0
令和5年産実績	80.5	60	38	1	0
令和6年産目標	90以上	80	20	0	0

注) 令和5年産実績は令和5年10月末現在。

ランクは日本めん用小麦の結果(数量比率)。令和5年産見込は令和6年1月末現在。

3 重点推進目標

(1) 需要に即した麦づくり

ア 小 麦

- (ア) 実需者のニーズに対応した品種作付を行う。
- (イ) 実需者の求める品質および生産量を確保し、安定的な供給を目指す。

イ 六条大麦

- (ア) 大麦については、実需者からの需要に応じた作付を推進する。
- (イ) 主食用大麦「シュンライ」は、品質向上と需要に応じた作付を図る。

ウ 二条大麦(ビール大麦)

- (ア) 実需者の求める醸造適性および産地における生産性を考慮した品種作付けを行う。
- (イ) オオムギ縞萎縮病の常発地域では、「サチホゴールド」「アスカゴールド」等の抵抗性品種の作付を行う。

エ 需要拡大等への取組

多様な加工用途への積極的な対応を図るため、県産麦に対する実需者の意見・要望の聞き取りを行い、需要拡大に向けた取組を促進する。また、新たな需要作りとして、地産地消や6次産業化等への取組を推進する。

(2) 安全で高品質な麦づくり

ア 小麦では、日本麺用「きぬの波」「つるぴかり」「さとのそら」等は、ランク区分基準のタンパク質含量9.7～11.3%、パン・中華麺用「ゆめかおり」は、ランク区分基準のタンパク質含量11.5%以上を基本とし、実需者が求めるタンパク質含量を目標に栽培管理を徹底する。

イ 六条大麦「シュンライ」は、主食用の用途に適した硝子率や白度を目指し、平坦二毛作地帯の水田作を基本として作付する。麦茶用では、タンパク質含量10.5%以上を目標とし、実需者の要望に応えた生産を行う。

ウ 二条大麦（ビール用）については、発芽勢（98%以上）の確保、適正タンパク質含量（10.0～11.0%の範囲内）及び整粒歩合（2.5mm以上95%以上）を確保する。

エ 生産物の安全性を確保するため、放射性物質の低減対策の徹底を図るとともに、消費者へ正確な情報を提供し、県内農産物の安心・安全について理解促進を図る。また、赤かび病（DON）や残留農薬等に対する安全性を生産者・生産者団体が主体的に確認する。

オ 異種穀粒や異物混入を防止する。特にカラスノエンドウやソバの混入防止を徹底する。

カ 貯蔵保管時の水分含量は12.5%以下とし、虫の発生等による品質低下防止に努める。

(3) 生産・流通対策

ア 種子更新率の向上と地域に適した麦種・品種の作付けを基本に、追肥や麦踏み等の基本技術の励行、適期収穫、適切な乾燥調製等を実施する。また、湿害対策を実施する。

イ 縞萎縮病については、抵抗性品種の導入や麦種を転換する等の耕種的防除対策を実施し、被害の発生を防止する。

ウ 赤かび病については、発生防止のための適期防除に努める。万一発生した場合には、被害粒の混入を極力防止するなどの適切な措置をとり、被害を最小限に留める。

エ 共同乾燥調製貯蔵施設等の環境・保管管理体制を強化し、品質低下防止に努める。また、担い手の利用を踏まえた効率的な運営を図る。

オ 圃場管理システムやGPSを活用したスマート農業機械の導入等を推進するとともに、新規需要米等と組み合わせた二毛作体系により、生産性向上と作付拡大を図る。

(4) 担い手育成対策

ア 担い手の育成・支援

水田を中心とした土地利用型農業の担い手である認定農業者や集落営農組織による規模拡大や法人化等の経営体質強化へ向けた取組を積極的に支援する。

イ 集落営農組織の経営体質強化

各集落営農組織の進捗状況に応じて、全組織を対象に法人化の支援を行うとともに、既に法人化した組織に対しても、引き続き、法人運営等に関してフォローアップを行う。

ウ 農地集積の促進

農地中間管理機構を活用し、地域の中心となる経営体への農地集積や分散化した農地の連担化に向けた取組を支援する。

(5) GAP（農業生産工程管理）の導入と実践

麦の適正な生産管理を図るため、GAPの導入・実践を推進する。

ア GAP（農業生産工程管理：Good Agricultural Practice）とは、農業生産活動を行う上で必要な関係法令等の内容に則して定められる点検項目に沿って、農業生産活動の各工程の正確な実施、記録、点検及び評価を行うことによる持続的な改善活動のことである。

GAPを取り入れることにより、結果として食品の安全性向上、環境の保全、労働安全の確保、競争力の強化、品質の向上、農業経営の改善や効率化に資するとともに、消費者や実需者の信頼の確保を図る。

- イ ほ場条件の確認、農薬の適正使用、施肥管理等の記帳管理等を行う。
- ウ 乾燥調製貯蔵施設や管理貯蔵施設等の作業の記録や保管管理体制を強化する。
- エ 整理、整頓、清掃、清潔、習慣づけの5 Sを実践する。

(6) 種子の安定供給と種子生産者の確保

安定した麦生産を推進するためには安定した種子供給が不可欠である。種子生産体制の強化・健全化に努めるとともに、新規種子生産者を確保し、種子の安定生産を図る。

4 関連施策

- ・農業経営力向上事業（県単）
- ・ぐんま型水田フル活用推進事業（県単）
- ・経営所得安定対策（国庫）
- ・強い農業づくり総合支援交付金（国庫）
- ・産地生産基盤パワーアップ事業（国庫）
- ・麦・大豆生産技術向上事業（国庫）

5 麦の需要に関する動向

（農林水産省「麦の参考資料」（令和5年3月公表）より抜粋）

（1）麦の流通の概要

麦は需要量の約8割を外国産麦の輸入で賄っています。国内産食糧用麦は民間流通により取引されており、外国産食糧用麦は政府が国家貿易により計画的に輸入し、需要者に売り渡しています。

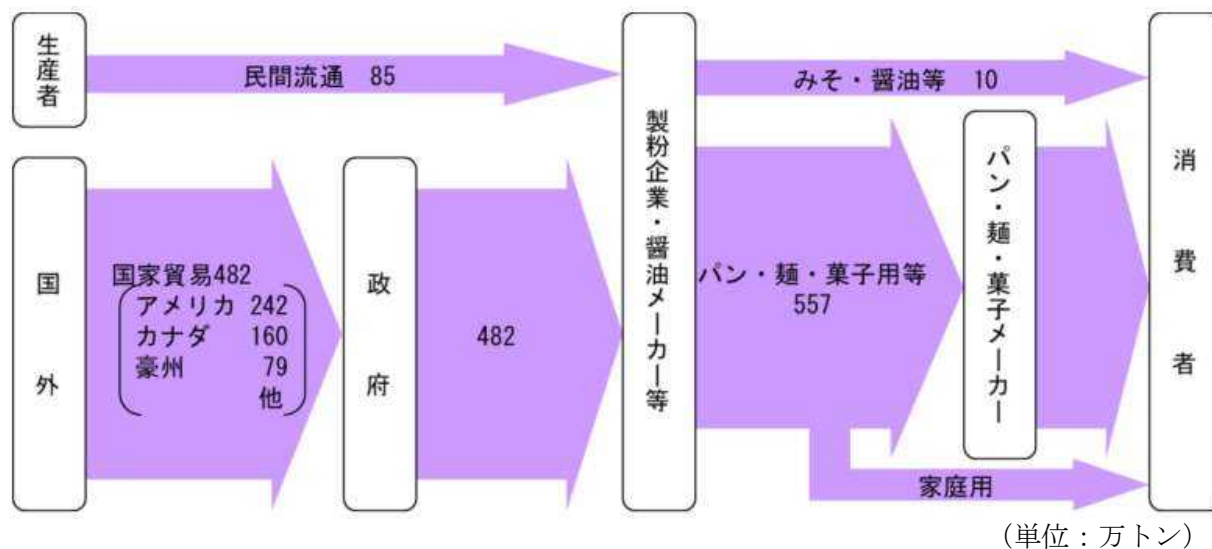


図1 食糧用小麦の流通の現状（平成29年度～令和3年度の平均数量）

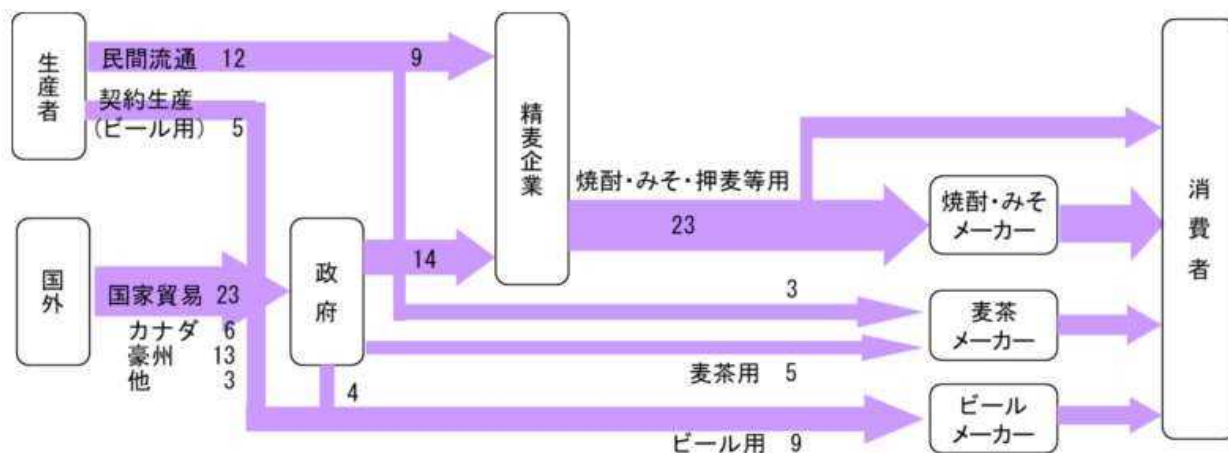


図2 食糧用大麦及びはだか麦の流通の現状（平成29年度～令和3年度の平均数量）

（2）国内麦の取引の概要

国内産食糧用麦は、加工原料としての商品特性から、需要に応じて計画的に生産できるよう、は種前契約に基づく取引が行われています。

まず、取引の指標となる透明性のある適正な価格を形成するため、は種前に販売予定数量の3～4割（具体的な比率は民間流通地方連絡協議会の協議を踏まえ決定）について入札が行われます。残りは相対取引が行われており、その価格については、入札で形成された指標価格（落札加重平均価格）を基本として、取引当事者間で決められています（図3）。

また、取引を円滑に進めるため、生産者、需要者等で構成される民間流通連絡協議会において、取引に必要な情報交換、取引に係る基本事項の見直し等が行われています（表1）。

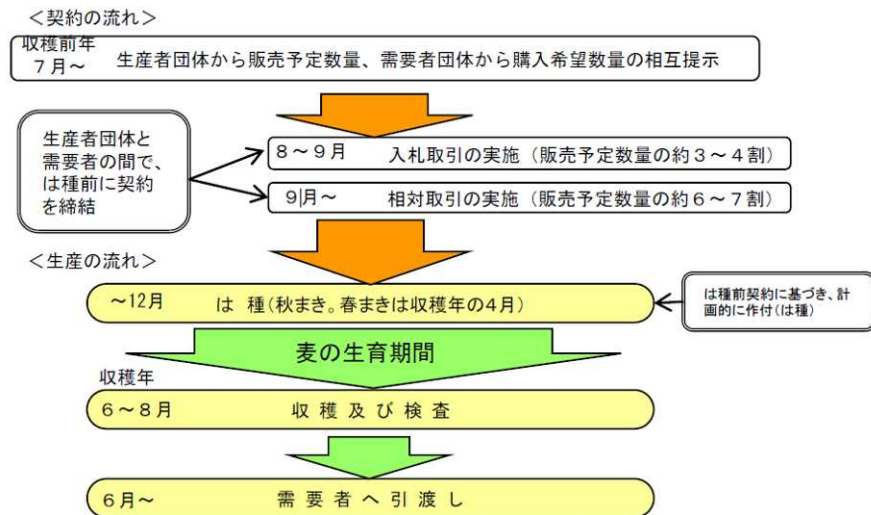


図3 国内産食糧用麦の基本的な流通フロー

表1 国内産食糧用麦の入札の仕組み

項 目	概 要	見直しの変遷
実施主体	一般社団法人 全国米麦改良協会	
実施時期	は種前に2回実施（8～9月）	平成13年産から1回→2回へ見直し
上場数量	産地銘柄別に販売予定数量が小麦3千トン以上、大麦・はだか麦1千トン以上の銘柄について、その30～40%を上場（ほかに希望上場あり）	令和元年産から30%→30～40%へ見直し
基準価格	小麦は前年産の落札加重平均価格に当年産の入札実施時点での外国産麦の政府売渡価格の変動率を乗じた価格、大麦・はだか麦は前年産の落札加重平均価格	小麦の外国産麦との連動は平成24年産から実施
値幅制限	基準価格の±10%	小麦 平成12年産～16年産：±5% 平成17年産～21年産：±7% 平成22年産：±10% 平成23年産：±30% 平成24年産～：±10% 大麦・はだか麦 平成12年産～18年産：±5% 平成19年産～21年産：±7% 平成22年産：±10% 平成23年産：±15% 平成24年産～：±10%
取引価格の事後調整（小麦のみ）	外国産食糧用小麦の政府売渡価格の改定（4、10月）に合わせて、は種前に入札又は相対により契約された価格に外国産食糧用小麦の政府売渡価格の変動率を乗じて取引価格を改定	平成23年産から実施
申込限度数量	買い手別に 上場数量×買受実績シェア×1.45	小麦は平成17年産から、大麦及びはだか麦は平成19年産から 1.35→1.45へ見直し
相対取引	入札で形成された指標価格を基本に、生産者団体と需要者の間で協議・決定	平成19年産から過去の実績シェアに基づく取引ルールを廃止
再入札	第1回入札及び第2回入札において、落札残数量が発生した場合は、売り手の希望により再度入札に付するか相対による契約を行うかいずれかの方法をとることができる。	平成25年産から売り手の申し出により、再入札における入札の値幅を設定できること等を規定。

（3）外国産食糧用小麦の政府売渡

外国産食糧用小麦の政府売渡については、平成19年4月以降、輸入価格（過去の一定期間における輸入価格の平均値）に、マークアップ（政府管理経費及び国内産小麦の生産振興対策に充当）を上乗せした価格で売り渡す「相場連動制」に移行しました（表2、図4）。

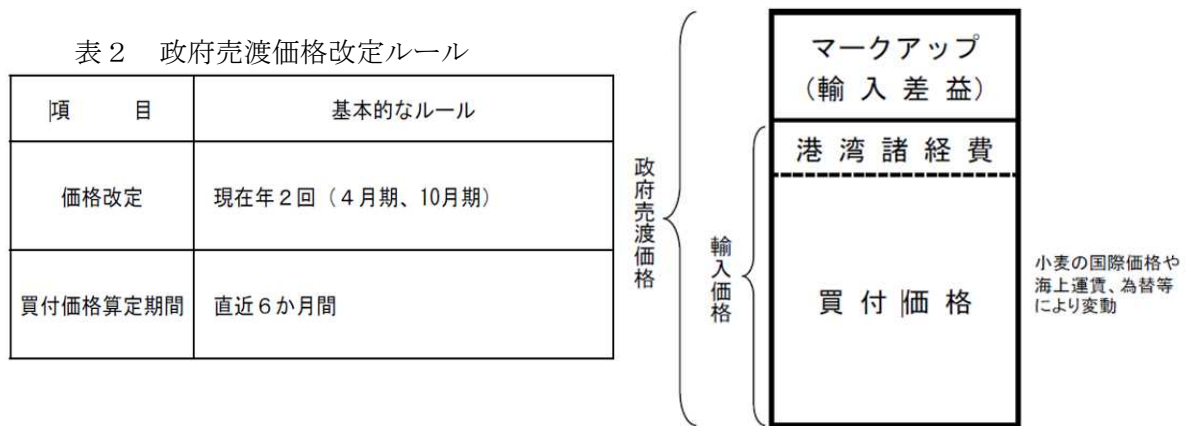


図4 政府売渡価格の構成

また、外国産食糧用小麦の売渡しについては、平成22年10月以降、輸入した小麦を直ちに製粉企業等に販売し、製粉企業等が一定期間備蓄することになっています。（即時販売方式）

即時販売方式の導入後は、製粉企業等が2.3か月分の外国産食糧用小麦の備蓄を行った場合、国が1.8か月分の保管経費を助成しています（図5）。

また、不測の事態が生じた場合には、国は、製粉企業等に対して、備蓄する外国産食糧用小麦の取崩しの指示等を行います。

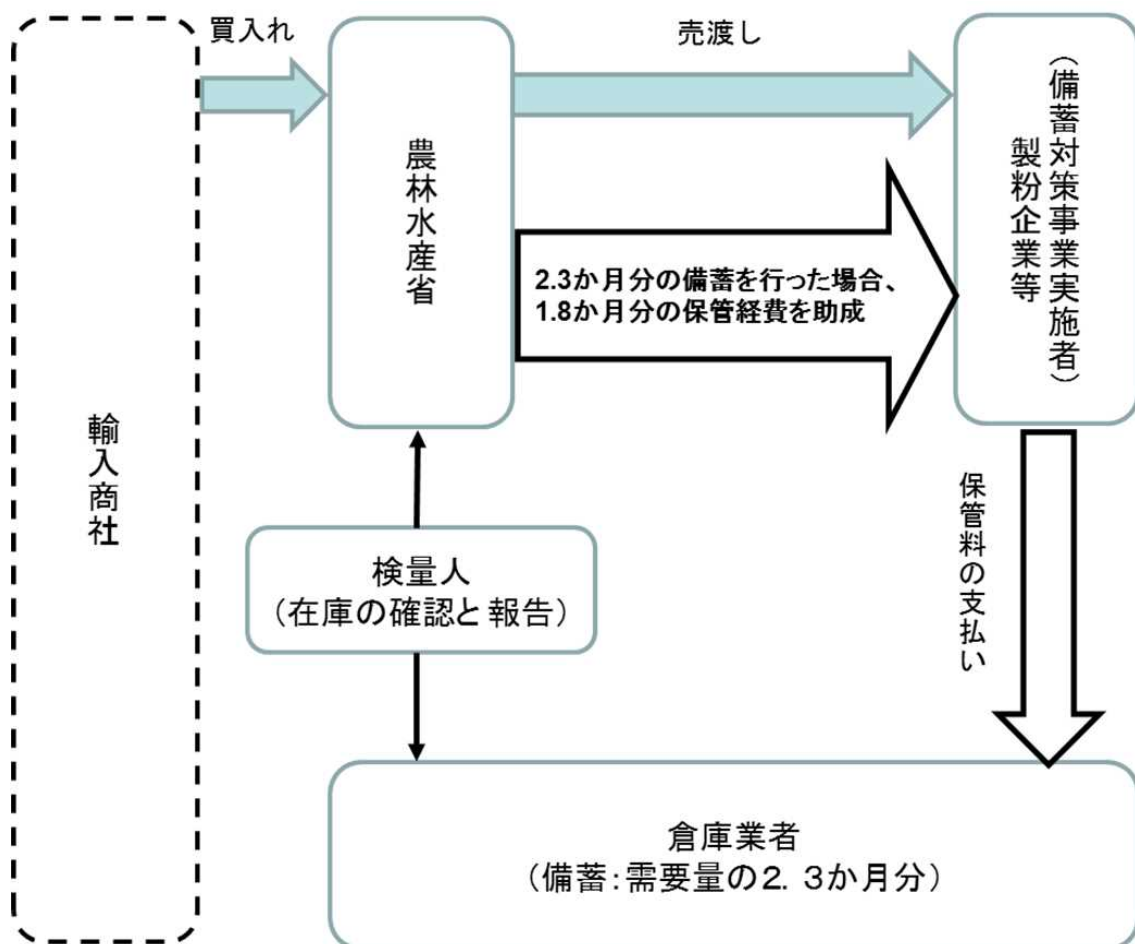


図5 食糧麦備蓄対策事業のスキーム

6 令和6年産民間流通麦入札結果

価格は税別

産地	銘 柄	基準価格 円／トン	指標価格		参考 対比	上場数量 t	申込数量 t	落札数量 t	落札残 t	申込 倍率
			円／トン	円/60kg						
小麦										
北海道	春よ恋	91,042	81,946	4,917	90.0	13,510	5,000	5,000	8,510	0.4
北海道	きたほなみ	66,669	65,732	3,944	98.6	135,450	174,880	134,560	890	1.3
北海道	ゆめちから	67,801	66,892	4,014	98.7	32,340	46,580	31,050	1,290	1.4
北海道	はるきらり	78,279	64,783	3,887	82.8	2,180	1,450	1,450	730	0.7
岩手	ゆきちから	57,914	63,705	3,822	110.0	1,250	2,870	1,250	0	2.3
宮城	夏黄金	70,063	77,069	4,624	110.0	600	1,200	600	0	2.0
茨城	さとのそら	67,891	65,639	3,938	96.7	3,690	3,900	3,170	520	1.1
群馬	つるびかり	79,456	84,673	5,080	106.6	1,250	3,620	1,250	0	2.9
群馬	さとのそら	71,480	68,660	4,120	96.1	4,740	7,110	4,600	140	1.5
埼玉	あやひかり	74,289	74,290	4,457	100.0	1,790	2,400	1,790	0	1.3
埼玉	さとのそら	69,574	71,094	4,266	102.2	4,460	6,610	4,460	0	1.5
岐阜	イワイノダイチ	66,528	64,879	3,893	97.5	1,290	2,080	1,290	0	1.6
岐阜	さとのそら	69,170	65,073	3,904	94.1	1,330	2,090	1,330	0	1.6
愛知	きぬあかり	76,604	69,971	4,198	91.3	6,380	3,020	3,020	3,360	0.5
愛知	ゆめあかり	61,366	67,502	4,050	110.0	1,320	2,580	1,320	0	2.0
滋賀	ふくさやか	68,490	63,983	3,839	93.4	1,320	1,650	1,320	0	1.3
滋賀	びわほなみ	74,664	70,549	4,233	94.5	3,540	3,110	2,470	1,070	0.9
香川	さぬきの夢2009	63,859	57,486	3,449	90.0	2,320	750	750	1,570	0.3
福岡	シロガネコムギ	72,643	69,172	4,150	95.2	6,560	6,580	4,880	1,680	1.0
福岡	チクゴイズミ	69,462	68,203	4,092	98.2	5,700	8,730	5,610	90	1.5
福岡	ミナミノカオリ	69,529	62,578	3,755	90.0	2,100	1,400	1,140	960	0.7
佐賀	シロガネコムギ	72,509	68,465	4,108	94.4	8,240	9,170	6,420	1,820	1.1
佐賀	チクゴイズミ	57,877	68,656	4,119	118.6	3,880	6,840	3,880	0	1.8
佐賀	はる風ふわり	69,521	63,109	3,787	90.8	1,390	2,750	1,390	0	2.0
大分	チクゴイズミ	68,121	65,097	3,906	95.6	1,560	1,220	800	760	0.8
ー	ー合ー合ー	68,338	66,919	4,015	97.9	248,190	307,590	224,800	23,390	1.2
六条大麦										
宮 城	シュンライ	35,764	35,885	2,153	100.3	340	840	340	0	2.5
宮 城	ホワイトファイバー	41,753	42,723	2,563	102.3	610	750	610	0	1.2
茨 城	カシマムギ	46,283	46,638	2,798	100.8	140	170	140	0	1.2
茨 城	カシマゴール	40,490	41,490	2,489	102.5	990	990	990	0	1.0
栃 木	シュンライ	38,794	39,281	2,357	101.3	1,320	2,660	1,320	0	2.0
群 馬	シュンライ	37,844	37,994	2,280	100.4	460	1,160	460	0	2.5
富 山	ファイバースノウ	45,454	44,728	2,684	98.4	2,670	1,980	1,980	690	0.7
石 川	ファイバースノウ	43,666	43,649	2,619	100.0	1,300	1,460	1,300	0	1.1
福 井	ファイバースノウ	45,701	45,164	2,710	98.8	3,060	1,860	1,860	1,200	0.6
福 井	はねうまもち	50,041	54,198	3,252	108.3	870	1,610	870	0	1.9
長 野	ファイバースノウ	38,034	38,058	2,283	100.1	280	470	280	0	1.7
滋 賀	ファイバースノウ	35,998	36,199	2,172	100.6	380	460	380	0	1.2
滋 賀	ファイバースノウ	35,644	39,208	2,352	110.0	1,140	1,160	1,140	0	1.0
兵 庫	シュンライ	40,439	40,515	2,431	100.2	440	460	440	0	1.0
ー	ー合ー合ー	42,186	42,824	2,569	101.5	14,000	16,030	12,110	1,890	1.1
二条大麦										
茨 城	ミカモゴールドン	30,571	33,571	2,014	109.8	660	630	510	150	1.0
栃 木	ニューサチホゴールドン	31,051	32,705	1,962	105.3	1,130	1,200	880	250	1.1
島 根	サチホゴールドン	36,365	38,894	2,334	107.0	320	290	230	90	0.9
岡 山	スカイゴールドン	38,868	42,754	2,565	110.0	530	720	530	0	1.4
岡 山	サチホゴールドン	40,184	43,425	2,606	108.1	880	1,070	780	100	1.2
佐 賀	サチホゴールドン	42,672	46,939	2,816	110.0	3,340	5,350	3,340	0	1.6
佐 賀	はるか二条	43,562	47,918	2,875	110.0	6,310	9,710	6,310	0	1.5
ー	ー合ー合ー	41,385	45,351	2,721	109.6	13,170	18,970	12,580	590	1.4
裸麦										
香 川	イチバンボシ	32,354	31,022	1,861	95.9	640	550	550	90	0.9
愛 媛	ハルヒメボシ	32,925	33,016	1,981	100.3	1,460	1,390	1,350	110	1.0
大 分	ハルアカネ	33,070	32,856	1,971	99.4	370	660	370	0	1.8
ー	ー合ー合ー	32,810	32,507	1,950	99.1	2,470	2,600	2,270	200	1.1

【参 考】銘柄別政府売渡価格

単価：円/トン

産 地 銘 柄	略 称	標準売渡価格		用 途
小麦		R5.10以降	R6.4以降	
アメリカ産（ダーク）ノーザン・スプリング	DNS	-	-	パン等の準強力粉
カナダ産ウエスタン・レッド・スプリングNO1	1CW	-	-	パン等に最適な強力粉
アメリカ産ハード・レッド・ウィンター	HRW	-	-	パン等の強力粉
オーストラリア産スタンダード・ホワイト	ASW	-	-	麺用粉等の中力粉
アメリカ産ウエスタン・ホワイト	WW	-	-	菓子等の薄力粉
5銘柄加重平均（税込み）		68,240	67,810	（対前期比▲0.6%）

注1）カナダ産アンバー・デュラム小麦、カナダ産ウエスタン・シックスロウ、オーストラリア産プライム・ハード
オーストラリア産ツーロウは、SBS方式。

注2）H22.10以降について、銘柄ごとの売渡価格は公表しないこととなった。

7 毎年の生産量・品質に基づく交付金ランク区分基準について

(1) ランク区分について

平成 16 年産までの麦作経営安定資金、契約生産奨励金については、銘柄別、等級別に単価の差を設定してきたが、区分Ⅰ（A）の銘柄が全体の 85% を占めるなど、実需者のニーズが反映された助成体系ではなかった。

このため、実需者が求める良品質麦の生産を促進する観点から、平成 17 年産麦から麦作経営安定資金及び契約生産奨励金については、各用途麦別の品質評価項目による品質評価を反映させた助成体系へ移行した。

この助成体系を毎年の生産量・品質に基づく交付金に継承し、生産者の品質向上に対する生産努力を価格に反映する助成とした。

さらに 19 年産から、日本めん用小麦の品質評価基準について、需要者が望む基準値まで段階的に近づけていく観点から、基準の引上げが行われた。

(2) ランク区分基準

日本めん用小麦、パン・中華めん用小麦、醸造用小麦、主食等用小粒大麦・大粒大麦・はだか麦及び麦茶用小粒大麦・大粒大麦・はだか麦別に次の基準を適用し、各区分毎に、基準いずれかを満たすものとする。

区分	基 準
A	・品質評価項目の基準値を 3 つ以上達成し、かつ、許容値を全て達成している麦
B	・品質評価項目の基準値を 2 つ達成し、かつ、許容値を全て達成している麦
C	・品質評価項目の基準値を 1 つ達成し、かつ、許容値を全て達成している麦 ・品質評価項目の基準値を 2 つ以上達成しているものの、許容値を達成していない麦
D	・品質評価項目の基準値を全く達成していない麦 ・品質評価項目の基準値を 1 つ達成しているものの、許容値を達成していない麦 ・雑銘柄の麦（品種登録の出願が 1 年以内になされ、かつ、農産物規格規定が定められる見込みがある新品種であって、実需者との間で当該品種として流通する旨の取り決めがなされている場合を除く。） ・異なる銘柄を混合している麦

(3) 品質評価項目とその基準値、許容値

ア 日本めん用小麦

評 価 項 目	基 準 値	許 容 値
た ん ぱ く (やや低・低アミロース品種)	9.7%以上 11.3%以下	8.5%以上 12.5%以下 (8.0%以上 13.0%以下)
灰 分	1.60%以下	1.65%以下
容 積 重	840g/ℓ 以上	—
フォーリングナンバー	300 以上	200 以上

*新は、平成 19 年産から適用。

*許容値の（ ）内は、やや低・低アミロース品種の値を示す。

対象品種：きぬの波・つるびかり

イ パン・中華めん用小麦

評価項目	基準値	許容値
たんばく	11.5%以上 14.0%以下	10.0%以上 15.5%以下
灰分	1.75%以下	1.80%以下
容積重	833g/ℓ以上	—
フォーリングナンバー	300以上	200以上

ウ 醸造用小麦

評価項目	基準値	許容値
たんばく	I 11.5%以上 12.0%未満	10.0%以上
	II 12.0%以上 13.5%未満	
	III 13.5%以上	
容積重	760g/ℓ以上	—

※ たんばくⅠは品質評価項目の基準値を1つ達成、たんばくⅡは2つ達成、たんばくⅢは3つ達成したものとする。

エ 主食等用小粒大麦・はだか麦

評価項目	基準値	許容値
容積重	小粒大麦 690g/ℓ以上 はだか麦 840g/ℓ以上	—
細麦率	小粒大麦 2.2mm（篩）下に2.0%以下 はだか麦 2.0mm（篩）下に2.0%以下	—
白度	小粒大麦 43以上 はだか麦 43以上 基準歩留：小粒大麦 55% はだか麦 60% 農産物検査時から1ヶ月经過したサンプル	40以上 40以上
硝子率	小粒大麦 40%以下 はだか麦 50%以下	50%以下 60%以下

オ 主食等用大粒大麦

評価項目	基準値	許容値
容積重	709g/ℓ以上	—
細麦率	2.5mm（篩）下に3.0%以下	—
白度	40以上 基準歩留：55% 農産物検査時から1ヶ月经過したサンプル	37以上
正常粒率	80%以上（65%歩留時） 1.8mm（篩）上（砕粒を除く）	70%以上

カ 麦茶用小粒・大粒大麦・はだか麦

評価項目	基準値	許容値
たんばく	I 7.5%以上 9.0%未満	6.5%以上
	II 9.0%以上 10.5%未満	
	III 10.5%以上	
細麦率	小粒大麦 2.0mm（篩）下に2.0%以下 大粒大麦 2.2mm（篩）下に2.0%以下 はだか麦 2.0mm（篩）下に2.0%以下	—

※ たんばくⅠは品質評価項目の基準値を1つ達成、たんばくⅡは2つ達成、たんばくⅢは3つ達成したものとする。

8 令和5年産群馬県産麦品質評価結果

(1) 日本めん用小麦

ランク	全農分		集連分		合計			
	ロット数	数量(t)	ロット数	数量(t)	ロット		数量(t)	
					数	比率(%)	数量(t)	比率(%)
A	10	11,557	6	813	16	55	12,370	60
B	9	7,831	2	31	11	38	7,862	38
C	1	193	0	0	1	3	193	1
D	0	0	1	28	1	3	28	0
分析総数	20	19,581	9	871	29	100	20,453	100

系統別	J A等名	銘柄	数量(t)	たんぱく(%)	灰分(%)	容積重(g/ℓ)	フォーリングナンバー	ランク
全農	前橋市	さとのそら	4,076	9.3	1.41	820	371	B
全農	前橋市	つるびかり	904	9.0	1.47	843	380	A
全農	前橋市	きぬの波	59	8.0	1.48	832	387	B
全農	佐波伊勢崎	さとのそら	5,201	9.7	1.44	854	397	A
全農	佐波伊勢崎	つるびかり	855	9.1	1.51	859	444	A
全農	佐波伊勢崎	きぬの波	71	10.0	1.35	855	421	A
全農	高崎市	さとのそら	824	9.8	1.49	831	436	A
全農	高崎市	きぬの波	563	9.4	1.35	840	411	A
全農	多野藤岡	さとのそら	796	10.1	1.45	845	405	A
全農	多野藤岡	つるびかり	31	8.4	1.55	823	413	B
全農	多野藤岡	きぬの波	102	9.2	1.42	843	427	A
全農	新田みどり	さとのそら	953	9.3	1.52	820	427	B
全農	新田みどり	さとのそら		9.4	1.50	785	385	B
全農	太田市	さとのそら	1,522	9.1	1.42	826	396	B
全農	邑楽館林	さとのそら	945	9.2	1.49	825	377	B
全農	邑楽館林	つるびかり	2,177	8.7	1.50	850	395	A
全農	はぐくみ	さとのそら	64	10.0	1.48	841	391	A
全農	碓氷安中	きぬの波	120	8.9	1.40	823	378	B
全農	甘楽富岡	さとのそら	126	8.5	1.50	803	394	B
全農	北群渋川	さとのそら	193	8.3	1.55	833	381	C
全集	関商店	さとのそら	125	10.2	1.46	860	358	A
全集	関商店	つるびかり	71	9.3	1.51	861	369	A
全集	鈴木商店	さとのそら	399	11.7	1.31	835	394	A
全集	鈴木商店	つるびかり	28	7.8	1.65	801	382	D
全集	米庄商店	さとのそら	15	9.6	1.56	825	401	B
全集	藤岡中央食販	さとのそら	16	9.1	1.55	826	405	B
全集	麻生商店	さとのそら	104	10	1.47	842	424	A
全集	新井敏一	さとのそら	21	10.6	1.46	820	403	A
全集	吹上商事	さとのそら	93	10.1	1.4	848	409	A

(2)パン・中華めん用小麦

ランク	全農分		集連分		合計			
	ロット数	数量(t)	ロット数	数量(t)	ロット		数量(t)	
					数	比率(%)	数量(t)	比率(%)
A	6	826	3	82	9	75	908	99
B	2	14	1	0	3	25	14	1
C	0	0	0	0	0	0	0	0
D	0	0	0	0	0	0	0	0
分析総数	8	840	4	82	12	100	922	100

系統別	J A等名	銘柄	数量(t)	たんぱく(%)	灰分(%)	容積重(g/ℓ)	フォーリング* ナンバー	ランク
全農	前橋市	ゆめかおり	196	12.6	1.37	837	471	A
全農	佐波伊勢崎	ゆめかおり	438	12.6	1.41	840	398	A
全農	高崎市	ゆめかおり	14	10.3	1.38	829	451	B
全農	多野藤岡	ゆめかおり	103	11.7	1.41	828	461	A
全農	新田みどり	ゆめかおり	13	14.5	1.45	854	412	A
全農	はぐくみ	ゆめかおり	11	11.2	1.41	828	406	B
全農	甘楽富岡	ゆめかおり	9	13.2	1.40	833	458	A
全農	北群渋川	ゆめかおり	66	11.2	1.54	861	380	A
全集	関商店	ゆめかおり	18	11.2	1.41	856	409	A
全集	鈴木商店	ゆめかおり	25	11.7	1.31	835	394	A
全集	麻生商店	ゆめかおり	38	12.0	1.36	876	429	A

(3)主食用小粒大麦

ランク	全農分		集連分		合計			
	ロット数	数量(t)	ロット数	数量(t)	ロット		数量(t)	
					数	比率(%)	数量(t)	比率(%)
A	3	439	1	16	4	36	455	29
B	0	0	0	0	0	0	0	0
C	5	1,000	2	100	7	64	1101	71
D	0	0	0	0	0	0	0	0
分析総数	8	1,439	3	117	11	100	1556	100

系統別	JA等名	銘柄	数量(t)	容積重(g/ℓ)	細麦率(%)	白度(%)	硝子率(%)	ランク
全農	前橋市	シュンライ	307	704	0.6	42	66	C
全農	佐波伊勢崎	シュンライ	109	714	0.1	43	68	C
全農	高崎市	シュンライ	353	709	1.8	46	49	A
全農	太田市	シュンライ	55	690	0.9	43	62	C
全農	邑楽館林	シュンライ	480	730	0.5	42	67	C
全農	はぐくみ	シュンライ	48	699	0.5	42	66	C
全農	赤城橋	シュンライ	3	763	0.1	46	39	A
全農	北群渋川	シュンライ	83	725	0.4	46	38	A
全集	関商店	シュンライ	6	714	0.9	44	71	C
全集	鈴木商店	シュンライ	94	719	0.5	42	64	C
全集	麻生商店	シュンライ	16	690	0.6	44	49	A

(4)主食用大粒大麦

ランク	全農分		集連分		合計			
	ロット数	数量(t)	ロット数	数量(t)	ロット		数量(t)	
					数	比率(%)	数量(t)	比率(%)
A	2	84	0	0	2	100	84	100
B	0	0	0	0	0	0	0	0
C	0	0	0	0	0	0	0	0
D	0	0	0	0	0	0	0	0
分析総数	2	84	0	0	2	100	84	100

系統別	JA等名	銘柄	数量(t)	容積重 (g/ℓ)	細麦率 (%)	白度 (%)	正常粒率 (%)	ランク
全農	佐波伊勢崎	サチホゴールデン	39	741	0.7	44	98	A
全農	新田みどり	サチホゴールデン	45	719	1.1	49	98	A

9 令和5年産 麦類生育基本調査結果

農業技術センター／稲麦研究センター

小麦「さとのそら」の生育は、3月1日調査まで草丈・ m^2 当り茎数ともに平年を上回ったが、3月20日調査以降は m^2 当り茎数が平年を下回った。幼穂形成始期は平年並であったが、2月以降の高温により、節間伸長開始期は平年より6日早まり、出穂期は平年より9日早まり、成熟期は平年より8日早まった。

収量は 401 g/m^2 で平年比84%と少なく、低収の要因としては、有効穂数が平年比93%、1穂稔実粒数が平年比96%、上麦粒数歩合が平年差-2.9と低かったことが考えられた。検査等級は、色沢不良、粒不揃いにより2等で、平年より劣った。

1. 試験条件

(1) 供試品種 小麦 さとのそら

(2) 土壌条件 淡色多湿黒ボク土、水田裏作

(3) 試験規模 1区 30 m^2 、2反復

(4) 耕種概要 播種期：令和4年11月16日

播種量：100粒/ m^2 、播種法：畦間60cm、播幅12cm、1畦2条千鳥播

施肥量：基肥N量0.6 kg/a（磷加安486号）

追肥N量0.2 kg/a（硫安）（令和5年3月7日）

2. 試験結果

(1) 気象経過（11月16日～5月31日）（図1）

平均気温は、12～1月が概ね平年並、2月以降は平年より高温であった。特に3月は $+4.3^\circ\text{C}$ 、4月は $+1.8^\circ\text{C}$ の高温であったが、3月19～20日および4月9～10日の最低気温は $3\sim 4.6^\circ\text{C}$ と低かった。

生育期間中の降水量の合計は300 mmで、平年比92%と少なかった。11月下旬にまとまった降雨があったが、その後は3月上旬まで降雨が少なかった。3月中下旬は降水量が多かったが、4月は降水量が少なかった。その後、5月は降水量がやや多かった。

生育期間中の日照時間の合計は1636時間で、平年比106%と長かった。

(2) 生育経過と収穫物調査結果（表1、図2、図3、表2）

出芽は良好で、出芽日数は9日（-4日）であった。幼穂形成始期は3月4日（±0日）で平年並であったが、節間伸長開始期は3月16日（-6日）で平年より早まった。

出穂期は4月13日（-9日）、成熟期は5月31日（-8日）で、平年より大幅に早まった。

稈長は81 cm（+3.1 cm）で平年より長く、穂長は9.0 cm（+0.1 cm）で概ね平年並であった。収量は 401 g/m^2 （84%）で平年より少なかった。

低収の要因としては、収量構成要素から分析すると、千粒重は37.8 g（99%）で概ね平年並であったが、有効穂数が442本/ m^2 （93%）、1穂稔実粒数が33.5粒/穂（96%）、上麦粒数歩合が95.4%（-2.9%）と低かったことが考えられた。

品質は、色沢不良、粒不揃いにより、検査等級2等で（2.0 mm調製）、平年より劣った。

注）（ ）内は過去10カ年平均値との比較

【参考：二条大麦 サチホゴールド】（表3）

出穂期は3月30日（-12日）、成熟期は5月17日（-9日）で、平年より大幅に早まった。稈長は95 cm（+3.5 cm）、穂長は6.8 cm（+0.4 cm）で、ともに平年より長かった。

収量は 350 g/m^2 （79%）で平年より少なく、上麦重歩合は80.1%（-7.9）であった。収量構成要素を見ると、穂数574本/ m^2 （84%）、千粒重50.7 g（106%）であった。

品質は、色沢不良、裂皮・凸腹粒により、ビール大麦として規格外であり（2.5 mm調製）、平年より劣った。

注）（ ）内は奨励品種決定調査の過去10カ年平均値との比較。

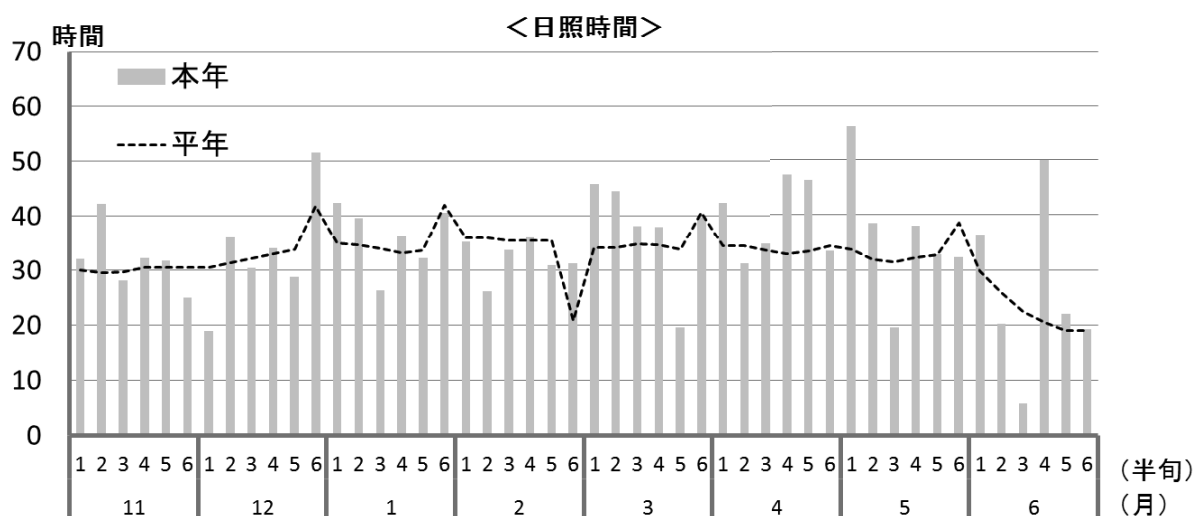
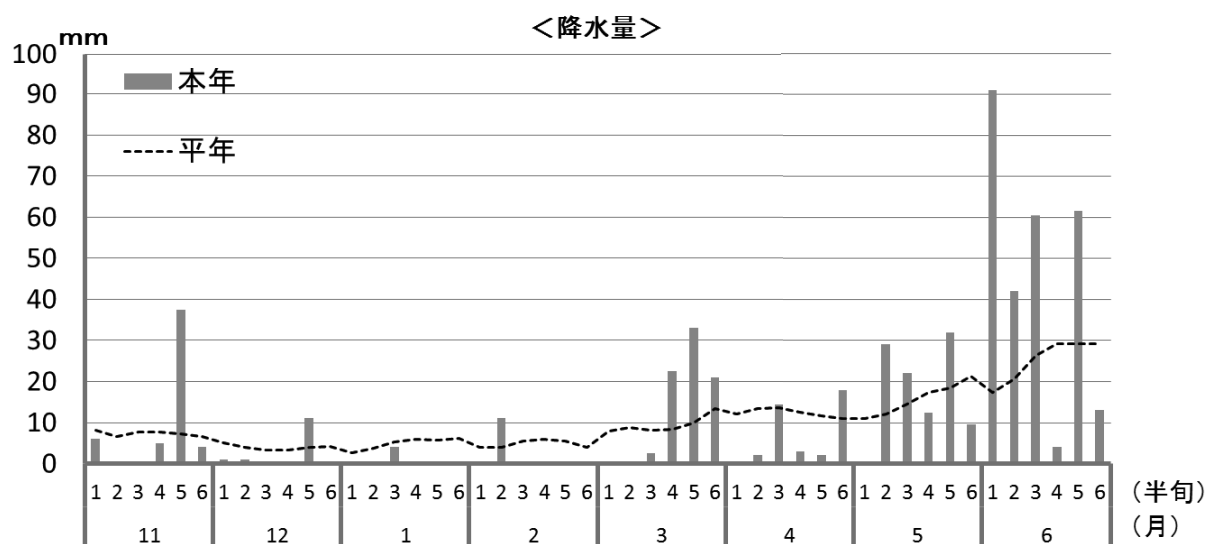
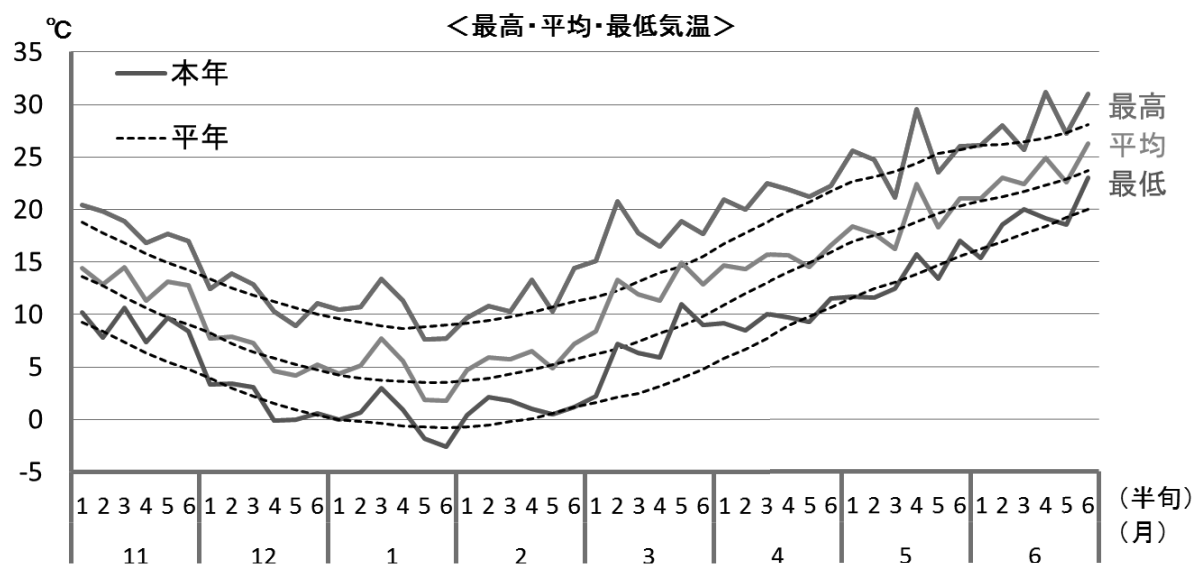


図1 麦作期間気象経過(令和4年11月1半旬～令和5年6月6半旬)

注) 前橋地方気象台の気象データを使用。平年値は1991年～2020年。

表 1 令和 5 年産小麦生育基本調査結果概要(前年・平均比較)

項 目		本年 実数	前年 比・差	平均 比・差
生育 状況	出芽日数 (日)	9	- 1	- 4
	幼穂形成始期 (月/日)	3/4	+ 0	+ 0
	節間伸長開始期 (月/日)	3/16	- 8	- 6
	出穂期 (月/日)	4/13	- 9	- 9
	成熟期 (月/日)	5/31	- 11	- 8
	穂長 (cm)	81	- 3.3	+ 3.1
	穂長 (cm)	9.0	- 0.9	+ 0.1
収量 構成 要素	有効穂数 (本/㎡)	442	79%	93%
	1穂当り稔実粒数 (粒)	33.5	84%	96%
	上麦粒数歩合 (%)	95.4	1.0	-2.9
	上麦千粒重 (g)	37.8	100%	99%
	上麦重 (g/㎡)	401	66%	84%
品質検査等級 (等)		2	1	1

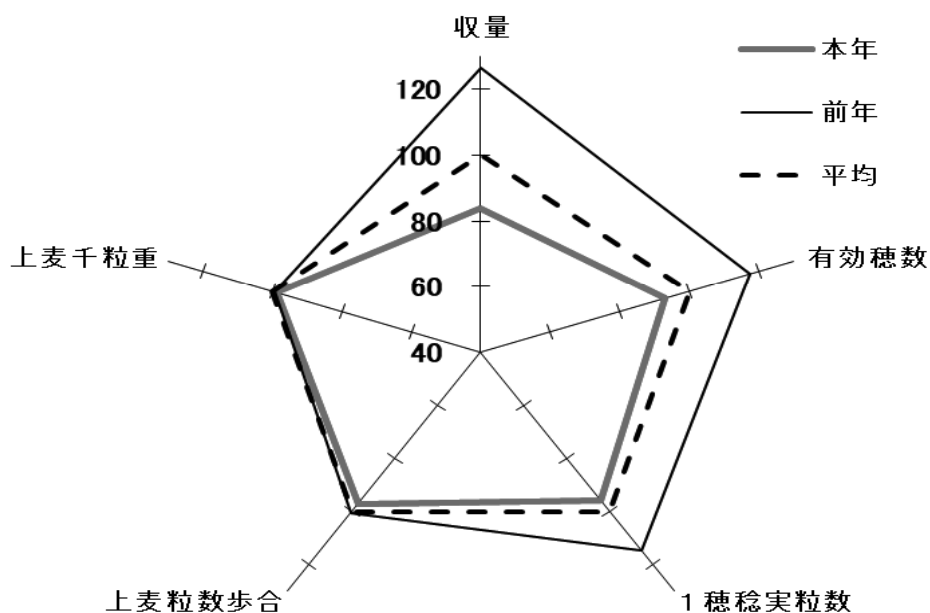


図 2 収量構成要素(前年・平均比較)

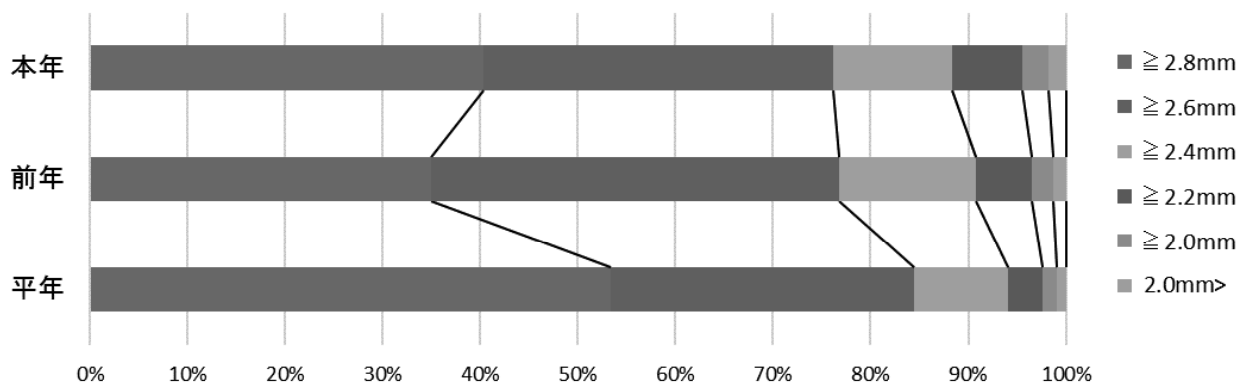


図 3 粒厚分布(前年・平均比較)

表 2 令和 5 年産小麦生育基本調査結果

品 種 名		さとのそら		
試 験 圃		水 田		
比 較 年 次		本 年	前 年	平均(10力年)
播 種 日		11/16	11/16	11/15
発 芽	出 芽 日 数 (日)	9	10	13
	発 芽 の 良 否	良	良	良
生 育	12月20日調査 草 丈 (cm)	9.0	8.2	8.0
	偽茎長 (cm)	0.4	-	-
	m ² 当り茎数(本)	116	85	115
	1月20日調査 草 丈 (cm)	8.7	7.7	7.9
	偽茎長 (cm)	1.4	-	-
	m ² 当り茎数(本)	340	197	281
	2月10日調査 草 丈 (cm)	8.4	7.3	8.3
	偽茎長 (cm)	1.8	-	-
	m ² 当り茎数(本)	553	410	467
	3月 1日調査 草 丈 (cm)	12.5	9.7	11.7
	偽茎長 (cm)	2.1	-	-
	m ² 当り茎数(本)	999	609	810
状 況	3月20日調査 草 丈 (cm)	29.8	24.9	24.7
	偽茎長 (cm)	11.0	-	-
	m ² 当り茎数(本)	861	843	962
	4月10日調査 草 丈 (cm)	73.2	60.2	55.9
	偽茎長 (cm)	-	-	-
	m ² 当り茎数(本)	579	832	707
	幼穂形成始期 (月/日)	3/4	3/4	3/4
	偽茎長 (cm)	4.8	-	-
	節間伸長開始期 ① (月/日)	3/16	3/24	3/22
	偽茎長 (cm)	8.5	-	-
	出 穂 期 ② (月/日)	4/13	4/22	4/22
	穂 揃 日 数 (日)	2	2	3
①～②までの日数 (日)	28	29	31	
成 熟 期 (月/日)	5/31	6/11	6/8	
収 量 構 成 要 素	登 熟 日 数 (日)	48	50	47
	稈 長 (cm)	81	84	78
	穂 長 (cm)	9.0	9.9	8.9
	全 穂 数 (本/m ²)	446	563	480
	有 効 穂 数 (本/m ²)	442	559	477
	有効穂数歩合 (%)	99.3	99.4	99.3
収 量	1穂当り稃実粒数 (粒)	33.5	40.1	35.0
	上麦粒数歩合 (%)	95.4	98.7	98.3
	上麦千粒重 (g)	37.8	38.0	38.2
品 質	m ² 当り上麦重 (g)	401	604	478
	1穂当り上麦重 (g)	0.91	1.08	1.00
	上麦重歩合 (%)	98.3	98.7	99.1
	原粒蛋白質含有率 (%)	9.2	9.6	9.2
	容積重 (g/L)	801	808	803
検 査 等 級	フォーリングナンバー値	407	365	387
	灰分含有率 (%)	1.48	1.42	1.59
	検 査 等 級	2	1	1
被 害 発 生 状 況		・凍霜害被害:微 ・色沢不良、粒不揃い	-	-

※ 上麦:2.0mm以上とし、品質については上麦を調査。㎡当り上麦重、上麦千粒重・水分12.5%換算
※ 原粒蛋白質含有率:Inframatic 9500 (Perten)による原粒の近赤外分析。(水分13.5%換算)
※ 原粒灰分:550℃燃焼による灰分含有率(水分13.5%換算)

表 3 令和 5 年産二条大麦生育基本調査結果

品 種 名		サチホゴールド		
試 験 圃		水 田		
比 較 年 次		本 年	前 年	平 均※
播 種 日		11/16	11/16	11/15
発 芽	出 芽 日 数(日)	9	10	10
	発 芽 の 良 否	良	良	良
生 育 状 況	12月20日調査 草 丈 (cm)	12.0	9.9	7.7
	偽茎長 (cm)	0.5	-	-
	m ² 当り茎数(本)	218	219	191
	1月20日調査 草 丈 (cm)	11.6	10.3	12.0
	偽茎長 (cm)	1.3	-	-
	m ² 当り茎数(本)	656	438	664
	2月20日調査 草 丈 (cm)	18.6	14.5	18.3
	偽茎長 (cm)	4.2	-	-
	m ² 当り茎数(本)	1056	797	906
	3月20日調査 草 丈 (cm)	57.0	44.9	47.9
	m ² 当り茎数(本)	746	842	861
	幼穂形成始期 (月/日)	2/6	2/7	2/5
	偽茎長 (cm)	2.3	-	-
	節間伸長開始期① (月/日)	3/7	3/12	3/10
	偽茎長 (cm)	7.8	-	-
	出 穂 期 ② (月/日)	3/30	4/9	4/11
	①～②までの日数 (日)	23	28	32
	成 熟 期 (月/日)	5/17	5/24	5/26
	登 熟 日 数 (日)	48	45	46
	稈 長 (cm)	95	100	92
	穂 長 (cm)	6.8	6.8	6.4
収 量 構 成 要 素	全 穂 数 (本/m ²)	574	741	684
	1穂当り稔実粒数 (粒)	24.5	25.1	23.1
	稔実粒数歩合 (%)	99.1	97.8	96.0
	上麦千粒重 (g)	50.7	49.4	48.0
	上麦重歩合 (%)	80.1	86.6	88.0
収 量	m ² 当り上麦重 (g)	350	498	442
	1穂当り収量 (g)	0.61	0.67	0.65
品 質	原粒蛋白質含有率 (%)	9.6	10.5	10.3
	容 積 重 (g/L)	762	754	735
	検査等級 ビール大麦 大粒大麦	規格外 1	等外上 1	等外上 1
被 害 発 生 状 況		色沢不良、裂皮・凸腹粒	-	-

※ 上麦:2.5mm以上とし、品質については上麦を調査。m²当り上麦重、上麦千粒重…水分12.5%換算

※ 原粒蛋白質含有率:Inframatic 9500 (Perten)による原粒の近赤外分析。(水分13.5%換算)

※ 幼穂形成始期までのデータおよび一穂当稔実粒数、稔実粒数歩合はH30～R4年産の5ヶ年平均値、それ以外はH25～R4年産の10ヶ年平均値。

10 作付面積、10a当たり収量及び収穫量等の推移

(1) 群馬県

区分	4 麦 合 計		小 麦					二 条 大 麦				
年度	作付面積 ha	収穫量 t	作付面積 ha	10a当収量 kg	平年収量 kg	作況指数 (平年対比)	収穫量 t	作付面積 ha	10a当収量 kg	平年収量 kg	作況指数 (平年対比)	収穫量 t
S25	70,700	148,400	45,700	198	220	90	90,100					
30	66,000	200,600	38,900	298	262	114	116,100					
35	63,900	172,000	36,700	248	281	88	91,000	645	271	—	—	1,740
40	43,600	111,300	32,300	248	279	89	80,100	1,150	289	335	86	3,320
45	23,400	79,600	19,300	341	323	106	65,800	1,730	340	341	100	5,880
50	11,300	42,000	9,450	375	335	112	35,400	1,430	358	346	103	5,120
51	12,100	34,000	10,200	283	345	82	28,900	1,550	279	346	81	4,320
52	12,500	48,500	10,500	389	345	113	40,800	1,800	366	346	106	6,590
53	14,300	50,800	11,700	359	350	103	42,000	2,340	332	346	96	7,770
54	15,600	62,100	12,600	394	350	113	49,600	2,740	415	346	120	11,400
55	16,400	57,400	13,500	351	361	97	47,400	2,620	329	351	94	8,620
56	16,500	67,400	13,600	408	361	113	55,500	2,610	393	351	112	10,300
57	16,300	62,300	13,300	389	375	104	51,700	2,590	345	361	96	8,940
58	16,400	69,800	13,300	439	378	116	58,400	2,580	363	361	101	9,370
59	16,700	64,000	13,600	380	385	99	51,700	2,500	404	363	111	10,100
60	16,500	67,900	13,200	418	393	106	55,200	2,710	371	370	100	10,100
61	16,700	71,000	13,100	429	399	108	56,200	2,920	411	376	109	12,000
62	16,800	67,200	12,900	393	405	97	50,700	3,230	416	382	109	13,400
63	16,900	75,800	12,900	447	408	110	57,700	3,250	446	390	114	14,500
H1	17,000	73,600	12,900	428	414	103	55,200	3,380	444	394	113	15,000
2	16,200	69,100	11,900	428	420	102	50,900	3,470	425	402	106	14,700
3	15,100	58,400	11,100	390	423	92	43,300	3,340	378	412	92	12,600
4	14,100	57,300	10,500	398	426	93	41,800	3,110	431	416	104	13,400
5	13,300	58,700	9,840	430	426	101	42,300	3,130	467	416	112	14,600
6	12,700	54,600	9,330	416	426	98	38,800	3,110	463	426	109	14,400
7	12,300	57,000	9,020	462	426	108	41,700	3,040	460	431	107	14,000
8	11,900	54,600	8,690	455	428	106	39,500	2,900	471	435	108	13,700
9	11,400	49,800	8,360	439	439	100	36,700	2,720	435	444	98	11,800
10	11,200	41,500	8,420	387	441	88	32,600	2,440	337	454	74	8,220
11	10,400	42,400	8,090	406	441	92	32,800	2,040	420	456	92	8,570
12	10,100	45,200	7,950	444	441	101	35,300	1,880	470	459	102	8,840
13	10,200	43,400	8,070	422	441	96	34,100	1,840	445	459	97	8,190
14	10,100	47,100	8,130	467	441	106	38,000	1,640	459	459	100	7,530
15	10,100	46,500	8,190	468	441	106	38,300	1,570	435	459	95	6,830
16	9,690	32,700	7,950	338	441	77	26,900	1,430	325	459	71	4,650
17	9,320	38,500	7,680	417	425	98	32,000	1,310	390	419	93	5,110
18	9,220	39,500	7,610	440	431	102	33,500	1,250	381	430	89	4,760
19	7,890	30,200	6,310	393	438	90	24,800	1,220	337	422	80	4,110
20	7,920	33,000	6,340	418	428	98	26,500	1,200	408	398	103	4,900
21	7,900	31,900	6,260	411	427	96	25,700	1,210	396	390	102	4,590
22	7,660	25,900	5,960	337	416	81	20,100	1,250	348	382	91	4,350
23	7,640	29,200	5,860	386	395	98	22,600	1,290	362	370	98	4,670
24	7,810	32,600	5,890	451	405	111	26,600	1,400	315	375	84	4,410
25	7,830	32,900	5,860	433	410	106	25,400	1,470	368	365	101	5,410
26	7,720	29,400	5,750	410	408	100	23,600	1,470	309	362	85	4,540
27	7,590	30,800	5,580	421	412	102	23,500	1,480	364	358	102	5,390
28	7,640	30,400	5,580	424	412	103	23,700	1,530	336	351	96	5,140
29	7,670	31,800	5,570	436	415	105	24,300	1,570	367	345	106	5,760
30	7,760	29,800	5,680	406	425	96	23,100	1,580	322	349	92	5,090
R1	7,650	30,200	5,570	412	425	97	22,900	1,580	351	341	103	5,550
2	7,650	29,800	5,500	403	420	96	22,200	1,630	357	348	103	5,820
3	7,630	29,500	5,430	386	415	93	21,000	1,670	403	346	116	6,730
4	7,530	29,900	5,380	416	413	101	22,400	1,640	354	355	100	5,810
5	7,560	30,200	5,330	420	413	102	22,400	1,720	355	353	101	6,110

資料：農林水産統計「麦類（子実用）の作付面積及び収穫量」（確報）による。（令和3年産については第1報）

- (注) 1. 昭和30年以前の六条大麦は、二条大麦を含む値である。
2. 平成17年から平年収量ではなく平均収量（直近7カ年の内、最高及び最低を除いた5カ年の平均値）。
3. 平成17年から作況指数ではなく平均収量対比となった。
4. 四捨五入の関係で、4麦合計と内訳が一致しない場合がある。

区分	六 条 大 麦					は だ か 麦				
年度	作付面積 ha	10a当収量 kg	平年収量 kg	作況指数 (平年対比)	収穫量 t	作付面積 ha	10a当収量 kg	平年収量 kg	作況指数 (平年対比)	収穫量 t
S25	21,700	238	239	100	51,600	3,340	220	—	—	6,720
30	21,400	318	302	105	67,900	5,660	293	278	106	16,600
35	24,700	303	316	96	74,600	1,810	257	300	86	4,670
40	9,780	275	275	100	26,900	343	278	316	88	954
45	2,210	334	330	101	7,380	176	315	300	105	554
50	364	367	345	106	1,340	41	339	307	110	139
51	389	316	349	91	1,230	41	295	317	93	121
52	254	385	349	110	978	32	363	323	112	116
53	265	351	355	99	930	35	323	334	97	113
54	250	403	355	114	1,010	24	379	334	113	91
55	335	388	365	106	1,300	22	327	340	96	72
56	358	434	365	119	1,550	16	363	340	107	58
57	440	377	379	99	1,660	7	314			22
58	522	393	384	102	2,050	3	356			12
59	529	420	390	108	2,220	0	291			1
60	630	413	398	104	2,600	0	322			1
61	644	430	405	106	2,770	0	316			0
62	694	442	412	107	3,070	0	300			0
63	762	472	420	112	3,600	0	317			0
H1	757	446	428	104	3,380	0	332	—	—	0
2	773	446	431	103	3,450	—	—	—	—	—
3	618	403	437	92	2,490	—	—	—	—	—
4	466	460	441	104	2,140	—	—	—	—	—
5	369	496	441	112	1,830	—	—	—	—	—
6	306	468	454	103	1,430	—	—	—	—	—
7	272	467	456	102	1,270	—	—	—	—	—
8	276	494	456	108	1,360	—	—	—	—	—
9	280	457	462	99	1,280	—	—	—	—	—
10	287	253	463	55	726	—	—	—	—	—
11	252	419	463	90	1,060	—	—	—	—	—
12	226	474	461	103	1,070	—	—	—	—	—
13	261	434	457	95	1,130	—	—	—	—	—
14	334	457	457	100	1,530	—	—	—	—	—
15	307	442	455	97	1,360	—	—	—	—	—
16	312	355	453	—	1,110	—	—	—	—	—
17	328	409	421	97	1,340	—	—	—	—	—
18	355	355	432	82	1,260	—	—	—	—	—
19	364	354	419	84	1,290	—	—	—	—	—
20	376	412	399	103	1,550	—	—	—	—	—
21	422	381	395	96	1,610	—	—	—	—	—
22	460	324	382	85	1,490	—	—	—	—	—
23	489	389	371	105	1,900	—	—	—	—	—
24	523	310	378	82	1,620	—	—	—	—	—
25	504	409	361	122	2,060	—	—	—	—	—
26	498	259	371	70	1,290	—	—	—	—	—
27	523	360	363	99	1,880	—	—	—	—	—
28	532	310	353	88	1,650	—	—	—	—	—
29	527	328	339	97	1,730	—	—	—	—	—
30	491	325	339	96	1,600	3	200	—	—	6
R1	494	360	327	110	1,780	5	257	—	—	13
2	515	341	337	101	1,760	3	184	—	—	6
3	520	342	333	103	1,780	3	293	214	137	9
4	506	332	340	98	1,680	1	298	234	127	3
5	509	331	334	99	1,680	1	283	250	113	3

作柄と作況指数

良： 1 0 6 以上
 やや良： 1 0 2 ～ 1 0 5
 平年並み： 9 9 ～ 1 0 1
 やや不良： 9 5 ～ 9 8
 不良： 9 4 以下

(2) 全国

区分	4 麦 合 計		小 麦					二 条 大 麦				
年度	作付面積 千ha	収穫量 千 t	作付面積 千ha	10a当収量 kg	平年収量 kg	作況指数	収穫量 千 t	作付面積 千ha	10a当収量 kg	平年収量 kg	作況指数	収穫量 千 t
S25	1,784	3,298	794	175			1,338					
30	1,659	3,875	663	221			1,468					
35	1,440	3,831	602	254			1,531	83	279			231
40	898	2,521	476	270			1,287	113	281			318
45	455	1,046	229	207	275	75	474	99	271	307	88	269
50	168	462	90	269	280	96	241	50	276	296	93	137
51	169	433	89	250	283	88	222	53	254	292	87	135
52	164	442	86	275	285	96	236	53	252	293	86	135
53	208	693	112	327	284	115	367	70	342	295	116	239
54	265	948	149	363	286	127	541	84	352	296	119	294
55	313	968	191	305	298	102	583	85	317	302	105	269
56	347	970	224	262	303	86	587	83	318	305	104	264
57	351	1,132	228	326	305	107	742	82	317	307	103	259
58	353	1,075	229	303	311	97	695	84	297	311	95	249
59	349	1,136	232	319	316	101	741	82	262	313	116	295
60	347	1,252	234	374	319	117	874	80	331	319	104	264
61	353	1,220	246	357	328	109	876	76	329	324	102	249
62	383	1,217	271	319	337	95	864	76	312	329	95	237
63	396	1,420	282	362	338	107	1,021	74	356	332	107	265
H 1	397	1,356	284	347	343	101	985	76	344	335	103	260
2	366	1,297	260	365	348	105	952	74	344	338	102	254
3	334	1,042	239	318	356	89	759	68	303	344	88	207
4	299	1,045	215	354	367	96	759	63	357	345	103	225
5	261	921	184	347	369	112	638	61	375	348	112	228
6	214	790	152	372	380	109	565	55	362	353	109	200
7	210	662	151	293	379	77	444	51	375	354	106	192
8	216	711	159	302	377	80	478	46	411	358	115	190
9	215	766	158	364	376	97	573	44	337	365	92	148
10	217	713	162	351	375	94	570	39	273	368	74	107
11	221	788	169	345	377	92	583	37	411	368	112	151
12	237	903	183	376	377	100	688	37	419	370	113	154
13	257	906	197	355	355	95	700	40	351	351	94	139
14	272	1,045	207	401	371	108	828	41	334	374	89	136
15	276	1,054	212	403	370	109	856	40	312	370	84	123
16	272	1,056	213	404	371	109	860	37	347	369	94	129
17	268	1,062	214	411	377	109	877	35	358	354	101	125
18	272	1,011	218	383	391	98	837	34	347	365	95	118
19	264	1,105	210	434	395	110	910	32	373	352	106	129
20	265	1,100	209	423	403	105	882	35	410	345	119	145
21	266	854	208	324	412	79	675	36	321	353	91	116
22	266	729	207	274	408	67	568	37	285	354	81	104
23	272	912	212	353	388	91	746	38	317	348	91	119
24	270	1,027	209	409	378	108	855	38	292	341	86	112
25	270	995	210	386	379	101	811	38	311	331	91	117
26	273	1,019	213	399	379	105	849	38	287	325	88	108
27	274	1,181	213	471	371	127	1,004	38	298	313	95	113
28	276	947	214	363	371	98	778	38	276	305	90	105
29	274	1,087	212	426	384	111	905	38	308	295	104	118
30	273	941	212	362	399	91	768	38	315	301	105	121
R 1	273	1,260	212	490	399	123	1,037	38	386	301	128	147
2	276	1,171	213	447	411	109	949	39	368	306	121	145
3	283	1,311	220	490	423	116	1,078	38	409	317	129	156
4	290	1,220	227	434	441	98	987	38	396	337	118	150
5	296	1,328	232	473	434	109	1,097	39	385	356	108	150

資料：農林水産統計「麦類（子実用）の作付面積及び収穫量」（確報）による。（令和3年産については第1報）

(注) 1. 昭和30年以前の六条大麦は、二条大麦を含む値である。

2. 平成17年から平年収量ではなく平均収量（直近7カ年の内、最高及び最低を除いた5カ年の平均値）。

3. 平成17年から作況指数ではなく平均収量対比となった。

4. 四捨五入の関係で、4麦合計と内訳が一致しない場合がある。

区分	六 条 大 麦					は だ か 麦				
年度	作付面積 千ha	10a当収量 kg	平年収量 kg	作況指数	収穫量 千 t	作付面積 千ha	10a当収量 kg	平年収量 kg	作況指数	収穫量 千 t
S25	429	209			897	591	180			1,063
30	434	265			1,148	562	224			1,260
35	319	305			975	436	251			1,095
40	132	305			403	177	290			513
45	46	320	337	98	148	80	193	269	72	155
50	11	334	334	105	37	17	271	274	99	47
51	11	328	326	101	35	17	244	278	88	40
52	10	336	335	100	33	15	261	280	93	39
53	11	336	332	101	37	15	330	284	116	50
54	15	347	325	107	54	17	352	286	123	59
55	19	325	326	100	63	18	296	294	101	53
56	23	286	318	90	67	16	327	299	109	53
57	26	312	317	98	82	15	326	306	107	48
58	27	343	321	107	91	14	291	311	94	39
59	24	241	326	74	58	11	383	313	122	43
60	23	331	327	101	76	10	366	321	114	38
61	22	295	330	89	65	10	314	332	95	30
62	27	330	324	102	89	8	317	337	94	27
63	31	339	318	107	105	9	340	340	100	29
H 1	29	298	314	95	86	9	296	348	85	25
2	25	282	316	89	69	8	298	349	85	23
3	21	300	313	96	63	6	225	347	65	14
4	17	291	314	93	49	4	296	343	78	12
5	13	328	316	112	44	3	375	335	112	12
6	4	345	345	109	14	3	356	337	109	12
7	4	324	347	93	12	4	358	334	107	14
8	7	374	330	113	26	4	438	337	130	18
9	9	334	338	99	29	5	332	340	98	17
10	10	253	341	74	26	5	199	345	58	11
11	10	338	339	100	35	5	392	345	114	19
12	11	336	337	100	38	5	409	350	117	22
13	15	320	320	95	48	6	328	328	92	20
14	18	347	341	102	61	6	325	357	91	20
15	18	312	345	90	57	6	312	356	88	18
16	18	291	338	86	51	5	306	352	87	16
17	16	309	319	97	48	5	267	334	80	12
18	15	278	327	85	43	4	303	337	90	13
19	16	334	318	105	53	4	356	315	113	14
20	17	333	311	107	56	4	370	311	119	16
21	18	301	310	97	53	4	253	315	80	11
22	17	261	307	85	45	5	252	309	82	12
23	17	222	299	74	39	5	267	295	91	14
24	17	280	289	97	48	5	247	290	85	12
25	17	305	291	105	52	5	291	288	101	15
26	17	271	294	92	47	5	282	284	99	15
27	18	290	286	101	53	5	215	270	80	11
28	18	293	281	104	53	5	199	255	78	10
29	18	283	278	102	51	5	256	251	102	13
30	17	224	285	79	39	5	252	252	100	14
R 1	18	315	285	111	56	6	351	250	140	20
2	18	314	290	108	57	6	322	260	124	20
3	18	304	292	104	55	7	320	266	120	22
4	19	336	298	113	65	6	291	275	106	17
5	20	329	304	108	64	6	300	290	103	17

作柄と作況指数 良： 106以上
 やや良： 102～105
 平年並み： 99～101
 やや不良： 95～98
 不良： 94以下

1 1 令和3、4年産市町村別麦類10a当たり収量、収穫量

市町村別	4 麦 計				小 麦					
	作付面積(ha)		収穫量(t)		作付面積(ha)		10a当たり収量(kg)		収穫量(t)	
	R3年産	4年産	R3年産	4年産	R3年産	4年産	R3年産	4年産	R3年産	4年産
前橋市	1,612	1,546	5,958	7,077	1,320	1,270	359	452	4,750	5,750
高崎市	648	639	2,412	2,571	543	530	374	402	2,030	2,130
桐生市	0	0	0	0	x	x	x	x	x	x
伊勢崎市	1,230	1,259	5,097	5,717	1,160	1,190	417	461	4,860	5,480
太田市	646	629	2,380	2,690	646	629	368	427	2,380	2,690
沼田市	1	1	2	3	1	1	236	300	2	3
館林市	748	760	2,884	2,290	129	117	371	294	479	344
渋川市	102	105	273	355	71	72	280	367	199	264
藤岡市	320	296	1,070	1,050	295	296	361	353	1,070	1,050
富岡市	13	5	51	20	13	5	392	400	51	20
安中市	34	38	132	159	34	38	388	418	132	159
みどり市	0	0	0	0	x	x	x	x	x	x
榛東村	0	0	0	0	x	x	x	x	x	x
吉岡町	14	26	44	71	x	10	x	250	x	25
上野村	0	0	0	0	0	0	...	225	...	0
神流町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
下仁田町	0	0	0	0	x	0	x	282	x	0
南牧村	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
甘楽町	39	42	134	116	39	42	344	276	134	116
中之条町	5	4	10	11	5	4	196	275	10	11
長野原町	0	0	-	-	0	0	...	195	...	0
嬭恋村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草津町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高山村	0	0	-	-	0	0	...	210	...	0
東吾妻町	2	2	4	4	2	2	200	200	4	4
片品村	-	-	-	-	0	0	...	145	...	0
川場村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
昭和村	0	0	0	0	0	0	...	224	...	0
みなかみ町	2	3	6	9	2	3	277	300	6	9
玉村町	596	595	2,588	2,854	530	527	439	487	2,330	2,570
板倉町	182	199	746	433	182	199	410	218	746	433
明和町	125	114	500	368	72	65	408	326	294	212
千代田町	449	434	1,838	1,429	85	93	422	278	359	259
大泉町	39	33	159	101	15	13	407	246	61	32
邑楽町	711	681	2,917	2,526	244	243	420	423	1,020	1,030
県計	7,630	7,530	29,500	30,200	5,430	5,380	387	422	21,000	22,700

注) 農林水産関係市町村別統計による。令和5年産については、令和6年2月末現在、公表されていない。

市町村別	二 条 大 麦						六 条 大 麦					
	作付面積(ha)		10a当たり収量(kg)		収穫量(t)		作付面積(ha)		10a当たり収量(kg)		収穫量(t)	
	R 3 年産	4 年産	R 3 年産	4 年産	R 3 年産	4 年産	R 3 年産	4 年産	R 3 年産	4 年産	R 3 年産	4 年産
前橋市	187	183	432	511	808	935	105	93	381	422	400	392
高崎市	x	x	x	x	x	x	105	109	364	405	382	441
桐生市	-	-	-	-	-	-	x	x	x	x	x	x
伊勢崎市	16	15	394	407	63	61	54	54	322	326	174	176
太田市	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
沼田市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
館林市	515	547	396	311	2,040	1,700	104	96	351	256	365	246
渋川市	-	-	-	-	-	-	31	33	239	276	74	91
藤岡市	-	-	-	-	-	-	25	x	180	x	45	x
富岡市	-	x	-	x	-	x	-	-	-	-	-	-
安中市	-	-	-	-	-	-	x	x	x	x	x	x
みどり市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
榛東村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
吉岡町	-	-	-	-	-	-	14	16	314	288	44	46
上野村	-	-	-	-	-	-	x	-	x	-	-	-
神流町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
下仁田町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南牧村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
甘楽町	-	-	-	-	-	-	x	x	x	x	x	x
中之条町	-	-	-	-	-	-	x	x	x	x	x	x
長野原町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
嬭恋村	x	-	x	-	x	-	-	-	-	-	-	-
草津町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高山村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東吾妻町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
片品村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
川場村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
昭和村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
みなかみ町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
玉村町	58	59	386	417	224	246	8	9	425	422	34	38
板倉町	x	x	x	x	x	x	-	-	-	-	-	-
明和村	36	37	406	332	146	123	17	12	353	275	60	33
千代田町	330	308	409	347	1,350	1,070	34	33	379	303	129	100
大泉町	24	20	408	345	98	69	-	-	-	-	-	-
邑楽町	465	436	408	341	1,890	1,490	2	2	350	300	7	6
県計	1,670	1,640	403	354	6,730	5,810	520	506	345	332	1,790	1,680

1 2 令和5年産4麦の作付面積及び収穫量

(1) 4麦計

全国農業地域 ・ 都道府県	作付面積	収穫量	前年産との比較			
			作付面積		収穫量	
			対差	対比	対差	対比
	ha	t	ha	%	t	%
全国 (全国農業地域)	295,700	1,328,000	5,100	102	101,000	108
北海道	134,100	725,900	1,700	101	105,000	117
都府県	161,700	601,700	3,500	102	△ 4,100	99
東北	8,400	23,700	480	106	1,600	107
北陸	11,200	37,500	500	105	△ 1,500	96
関東・東山	38,300	136,600	300	101	7,400	106
東海	18,200	76,900	300	102	6,100	109
近畿	11,400	38,600	400	104	△ 400	99
中国	6,990	24,500	420	106	300	101
四国	5,430	18,500	180	103	600	103
九州	61,600	245,400	800	101	△ 18,300	93
沖縄	14	17	2	117	3	121
(都道府県)						
北海道	134,100	725,900	1,700	101	105,000	117
青森	x	x	x	x	x	x
岩手	3,940	8,070	120	103	△ 1,130	88
宮城	2,620	10,700	200	108	1,960	122
秋田	338	960	50	117	△ 2	100
山形	x	x	x	x	x	x
福島	509	1,340	45	110	455	151
茨城	7,540	21,900	△ 70	99	4,000	122
栃木	12,800	46,900	100	101	1,900	104
群馬	7,560	30,200	30	100	0	100
埼玉	6,480	25,800	210	103	3,100	114
千葉	x	x	x	x	x	x
東京	12	20	x	x	x	x
神奈川	x	x	x	x	x	x
新潟	329	974	83	134	259	136
富山	3,660	13,300	100	103	△ 200	99
石川	1,890	6,560	190	111	220	103
福井	5,340	16,700	150	103	△ 1,700	91
山梨	118	329	1	101	△ 32	91
長野	2,970	8,620	10	100	△ 2,480	78
岐阜	3,860	13,200	110	103	100	101
静岡	x	x	x	x	x	x
愛知	6,060	34,800	80	101	4,400	114
三重	7,550	27,000	160	102	1,600	106
滋賀	8,500	30,300	320	104	△ 300	99
京都	296	619	1	100	△ 57	92
大阪	2	x	x	x	x	x
兵庫	2,510	7,230	130	105	△ 70	99
奈良	128	407	x	x	x	x
和歌山	x	x	x	x	x	x
鳥取	x	x	x	x	x	x
島根	731	2,430	19	103	450	123
岡山	3,560	13,800	290	109	800	106
広島	400	943	x	x	x	x
山口	2,120	6,690	70	103	△ 1,090	86
徳島	x	x	x	x	x	x
香川	3,410	11,600	190	106	300	103
愛媛	1,880	6,470	0	100	280	105
高知	12	33	0	100	0	100
福岡	22,900	94,700	200	101	△ 6,200	94
佐賀	22,100	94,600	100	100	△ 9,400	91
長崎	2,080	6,540	70	103	△ 40	99
熊本	8,280	29,300	350	104	△ 1,000	97
大分	5,700	18,900	20	100	△ 1,600	92
宮崎	x	x	x	x	x	x
鹿児島	408	874	85	126	11	101
沖縄	14	17	2	117	3	121

注) 農林水産統計「令和5年産麦類(子実用)の作付面積(全国)及び収穫量(都府県)」による。

(2) 小 麦

全国農業地域 ・ 都道府県	作付面積	10 a 当たり 収量	収 穫 量	前 年 産 と の 比 較						(参 考)	
				作 付 面 積		10 a 当たり 収 量	収 穫 量		10 a 当たり 平均収量 対 比	10 a 当たり 平均収量	
				対 差	対 比	対 比	対 差	対 比			
全国 (全国農業地域)	ha 231,700	kg 473	t 1,097,000	ha 4,400	% 102	% 108	t 103,500	% 110	% 109	kg 434	
北海道	132,300	544	719,400	1,700	101	116	105,200	117	110	494	
都府県	99,500	379	377,200	2,800	103	97	△ 2,100	99	106	359	
東 北	6,720	259	17,400	420	107	97	600	104	102	254	
北 陸	530	249	1,320	132	133	101	341	135	117	213	
関東・東山	21,400	362	77,500	600	103	103	4,400	106	101	359	
東 海	17,700	427	75,500	300	102	107	6,100	109	113	377	
近 畿	8,920	339	30,200	440	105	95	100	100	118	288	
中 国	3,130	348	10,900	180	106	88	△ 800	93	106	329	
四 国	3,110	370	11,500	260	109	95	400	104	100	370	
九 州	37,900	403	152,800	300	101	91	△ 13,300	92	105	383	
沖縄 (都道府県)	8	136	11	1	114	132	4	157	109	125	
北海道	132,300	544	719,400	1,700	101	116	105,200	117	110	494	
青森	801	246	1,970	68	109	95	60	103	102	242	
岩手	3,860	204	7,870	110	103	85	△ 1,130	87	94	216	
宮城	1,160	442	5,130	166	117	113	1,230	132	108	408	
秋田	338	284	960	50	117	85	△ 2	100	117	242	
山形	102	263	268	△ 7	94	130	48	122	108	243	
福島	458	269	1,230	26	106	139	392	147	121	223	
茨城	4,890	314	15,400	250	105	117	3,000	124	105	298	
栃木	2,480	348	8,630	100	104	95	△ 60	99	96	364	
群馬	5,330	420	22,400	△ 50	99	100	△ 300	99	102	413	
埼玉	5,550	396	22,000	260	105	110	2,900	115	104	382	
千葉	757	346	2,620	18	102	150	910	153	116	298	
東京	11	164	18	△ 1	92	94	△ 3	86	72	227	
神奈川	39	213	83	0	100	91	△ 8	91	80	267	
新潟	164	307	504	46	139	104	155	144	128	239	
富山	50	156	78	△ 1	98	63	△ 48	62	80	196	
石川	112	155	174	18	119	70	△ 36	83	71	217	
福井	204	278	567	69	151	128	273	193	142	196	
山梨	79	308	243	3	104	89	△ 20	92	98	313	
長野	2,270	271	6,150	0	100	75	△ 2,020	75	84	323	
岐阜	3,590	353	12,700	100	103	99	200	102	109	324	
静岡	719	257	1,850	△ 30	96	104	0	100	107	241	
愛知	5,960	575	34,300	90	102	113	4,300	114	117	491	
三重	7,440	357	26,600	190	103	103	1,600	106	110	325	
滋賀	6,780	357	24,200	320	105	96	100	100	117	306	
京都	208	184	383	12	106	92	△ 7	98	110	168	
大阪	1	113	2	0	100	97	1	200	88	129	
兵庫	1,800	291	5,240	90	105	94	△ 30	99	121	240	
奈良	128	318	407	9	108	104	42	112	123	258	
和歌山	4	168	7	0	100	93	0	100	129	130	
鳥取	86	329	283	5	106	102	21	108	106	310	
島根	168	198	333	25	117	106	67	125	113	176	
岡山	1,010	416	4,200	54	106	96	40	101	105	396	
広島	230	244	561	24	112	100	58	112	130	188	
山口	1,640	338	5,540	80	105	81	△ 930	86	104	325	
徳島	77	342	263	4	105	107	29	112	117	293	
香川	2,630	354	9,310	270	111	93	340	104	94	375	
愛媛	405	464	1,880	△ 4	99	103	30	102	133	350	
高知	4	145	6	0	100	104	0	100	94	154	
福岡	16,500	424	70,000	0	100	93	△ 5,400	93	105	404	
佐賀	12,200	416	50,800	100	101	89	△ 5,800	90	103	402	
長崎	700	307	2,150	59	109	90	△ 30	99	104	295	
熊本	5,330	368	19,600	120	102	93	△ 1,000	95	108	340	
大分	2,950	333	9,820	△ 10	100	90	△ 1,080	90	111	299	
宮崎	115	285	328	△ 5	96	109	15	105	138	207	
鹿児島	62	210	130	14	129	87	14	112	123	171	
沖縄	8	136	11	1	114	132	4	157	109	125	

注：1 「（参考）10 a 当たり平均収量対比」とは、10 a 当たり平均収量（原則として直近7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値をいう。ただし、直近7か年全ての10 a 当たり収量が確保できない場合は、6か年又は5か年の最高及び最低を除いた平均とし、4か年又は3か年の場合は、単純平均である。）に対する当年産の10 a 当たり収量の比率である。なお、直近7か年のうち、3か年分の10 a 当たり収量のデータが確保できない場合は、10 a 当たり平均収量を作成していない（以下各統計表において同じ。）。

2 全国農業地域別（都府県を除く。）の10 a 当たり平均収量は、各都道府県の10 a 当たり平均収量に当年の作付面積を乗じて求めた収穫量（平均収穫量）を全国農業地域別に積み上げ、当年の全国農業地域別作付面積で除して算出している（以下各統計表において同じ。）。

(3) 二条大麦

全国農業地域 ・ 都道府県	作付面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	前 年 産 と の 比 較					(参 考)	
				作 付 面 積		10 a 当たり 収 量	収 穫 量		10 a 当たり 平均収量 対 比	10 a 当たり 平均収量
				対 差	対 比	対 比	対 差	対 比		
全国	ha	kg	t	ha	%	%	t	%	%	kg
(全国農業地域)	38,900	385	149,700	800	102	97	△ 1,500	99	108	356
北海道	1,710	361	6,170	10	101	95	△ 270	96	91	398
都府県	37,200	386	143,600	800	102	97	△ 1,100	99	109	355
東北	52	292	152	25	193	104	76	200	138	212
北 陸	2	250	5	0	100	167	2	167	167	150
関東・東山	12,000	371	44,500	100	101	104	2,100	105	102	362
東 海	x	355	x	x	x	157	x	x	237	150
近 畿	150	317	476	x	x	85	x	x	105	303
中 国	3,190	370	11,800	270	109	103	1,300	112	105	351
四 国	65	309	201	x	x	105	x	x	100	308
九 州	21,700	398	86,400	400	102	93	△ 4,600	95	114	348
沖縄	6	92	6	1	120	69	△ 1	86	118	78
(都道府県)										
北海道	1,710	361	6,170	10	101	95	△ 270	96	91	398
青森	-	-	-	-	nc	nc	-	nc	nc	-
岩手	x	x	x	x	x	x	x	x	x	306
宮城	x	x	x	x	x	x	x	x	x	321
秋田	-	-	-	-	nc	nc	-	nc	-	201
山形	-	-	-	-	nc	nc	-	nc	nc	-
福島	35	220	77	23	292	126	56	367	139	158
茨城	942	238	2,240	30	103	127	530	131	94	253
栃木	8,570	387	33,200	△ 30	100	104	1,200	104	103	374
群馬	1,720	355	6,110	80	105	100	300	105	101	353
埼玉	714	405	2,890	△ 12	98	105	90	103	104	389
千葉	x	x	x	x	x	x	x	x	x	185
東京	1	199	2	0	100	81	△ 1	67	100	200
神奈川	-	-	-	-	nc	nc	-	nc	-	157
新潟	-	-	-	-	nc	nc	-	nc	nc	...
富山	x	x	x	x	x	x	x	x	x	150
石川	x	x	x	x	x	x	x	x	x	153
福井	x	x	x	x	x	x	x	x	x	-
山梨	-	-	-	-	nc	nc	-	nc	nc	-
長野	16	242	39	4	133	83	4	111	86	281
岐阜	-	-	-	-	nc	nc	-	nc	nc	-
静岡	20	350	70	3	118	165	34	194	215	163
愛知	x	x	x	x	x	x	x	x	nc	...
三重	-	-	-	-	nc	nc	-	nc	nc	-
滋賀	60	397	238	△ 4	94	78	△ 86	73	96	413
京都	88	268	236	△ 11	89	93	△ 50	83	116	232
大阪	-	-	-	-	nc	nc	-	nc	nc	...
兵庫	2	121	2	0	100	111	△ 1	67	110	110
奈良	-	-	-	-	nc	nc	-	nc	nc	...
和歌山	-	-	-	x	x	x	x	x	nc	...
鳥取	94	317	298	2	102	109	31	112	107	297
島根	529	377	1,990	△ 7	99	123	350	121	128	294
岡山	2,310	381	8,800	220	111	100	860	111	101	377
広島	31	193	60	x	x	161	x	x	180	107
山口	225	293	659	25	113	86	△ 19	97	111	263
徳島	39	200	78	1	103	72	△ 27	74	66	301
香川	21	478	100	x	x	x	x	x	149	320
愛媛	-	-	-	-	nc	nc	-	nc	nc	-
高知	5	457	23	0	100	109	2	110	140	326
福岡	5,860	392	23,000	180	103	94	△ 800	97	109	359
佐賀	9,600	446	42,800	△ 70	99	93	△ 3,400	93	119	375
長崎	1,160	333	3,860	10	101	98	△ 40	99	102	327
熊本	2,840	333	9,460	240	109	92	50	101	113	295
大分	1,920	331	6,360	50	103	92	△ 370	95	116	285
宮崎	64	288	184	3	105	82	△ 30	86	95	302
鹿児島	306	227	695	49	119	83	△ 9	99	92	247
沖縄	6	92	6	1	120	69	△ 1	86	118	78

(4) 六条大麦

全国農業地域 ・ 都道府県	作付面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	前 年 産 と の 比 較						(参 考)	
				作 付 面 積		10 a 当たり 収 量	収 穫 量		10 a 当たり 平均収量 対 比	10 a 当たり 平均収量	
				対 差	対 比	対 比	対 差	対 比			
全国 (全国農業地域)	ha 19,600	kg 329	t 64,400	ha 300	% 102	% 98	t △ 700	% 99	% 108	kg 304	
北海道	14	475	67	1	108	123	17	134	136	349	
都府県	19,600	329	64,400	300	102	98	△ 600	99	108	304	
東 北	1,630	371	6,040	40	103	113	810	115	111	333	
北 陸	10,700	338	36,200	400	104	92	△ 1,800	95	113	299	
関東・東山	4,590	294	13,500	△ 210	96	111	800	106	98	301	
東 海	x	272	x	x	x	95	x	x	105	259	
近 畿	2,070	343	7,110	50	102	94	△ 270	96	108	317	
中 国	x	242	x	x	x	102	x	x	122	198	
四 国	x	x	x	x	x	x	x	x	x	217	
九 州	48	219	105	x	x	81	x	x	111	198	
沖縄	-	-	-	-	nc	nc	-	nc	nc	-	
(都道府県)											
北海道	14	475	67	1	108	123	17	134	136	349	
青森	x	x	x	x	x	x	x	x	x	340	
岩手	82	243	199	4	105	95	△ 1	100	100	243	
宮城	1,450	376	5,450	40	103	111	670	114	111	340	
秋田	-	-	-	-	nc	nc	-	nc	-	103	
山形	x	x	x	x	x	x	x	x	x	120	
福島	16	219	35	△ 4	80	168	9	135	96	227	
茨城	1,460	244	3,560	△ 240	86	130	360	111	100	245	
栃木	1,720	287	4,940	30	102	115	710	117	96	300	
群馬	509	331	1,680	3	101	100	0	100	99	334	
埼玉	142	453	643	△ 8	95	134	134	126	116	390	
千葉	39	356	139	5	115	123	41	142	110	324	
東京	-	-	-	-	nc	nc	-	nc	nc	-	
神奈川	-	-	-	-	nc	nc	-	nc	-	318	
新潟	165	285	470	37	129	100	104	128	108	264	
富山	3,600	366	13,200	100	103	96	△ 200	99	123	298	
石川	1,780	359	6,390	170	111	94	260	104	106	339	
福井	5,140	313	16,100	80	102	87	△ 2,000	89	109	288	
山梨	39	221	86	△ 2	95	92	△ 12	88	103	215	
長野	682	357	2,430	10	101	82	△ 480	84	92	387	
岐阜	272	190	517	10	104	82	△ 91	85	99	191	
静岡	x	128	x	x	x	82	x	x	90	142	
愛知	90	461	415	△ 16	85	118	△ 1	100	112	412	
三重	86	336	289	△ 16	84	104	△ 41	88	106	318	
滋賀	1,560	356	5,550	10	101	96	△ 200	97	108	329	
京都	-	-	-	-	nc	nc	-	nc	-	74	
大阪	x	x	x	x	x	x	x	x	x	93	
兵庫	508	307	1,560	35	107	89	△ 70	96	108	284	
奈良	-	-	-	-	nc	nc	-	nc	-	122	
和歌山	x	x	x	x	x	x	x	x	x	134	
鳥取	x	x	x	x	x	x	x	x	x	120	
島根	12	179	21	1	109	152	8	162	148	121	
岡山	2	202	4	0	100	106	0	100	141	143	
広島	84	255	214	△ 3	97	100	△ 8	96	121	211	
山口	-	-	-	-	nc	nc	-	nc	nc	-	
徳島	x	x	x	x	x	x	x	x	x	217	
香川	-	-	-	-	nc	nc	-	nc	nc	-	
愛媛	-	-	-	-	nc	nc	-	nc	nc	-	
高知	-	-	-	-	nc	nc	-	nc	nc	-	
福岡	-	-	-	-	nc	nc	-	nc	nc	-	
佐賀	-	-	-	-	nc	nc	-	nc	nc	-	
長崎	x	x	x	x	x	x	x	x	x	-	
熊本	10	270	27	3	143	105	9	150	84	321	
大分	7	271	19	△ 2	78	111	△ 3	86	83	328	
宮崎	x	x	x	x	x	x	x	x	x	127	
鹿児島	10	190	19	2	125	50	△ 11	63	48	392	
沖縄	-	-	-	-	nc	nc	-	nc	nc	-	

(5) はだか麦

全国農業地域 ・ 都道府県	作付面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	前 年 産 と の 比 較						(参 考)		
				作 付 面 積		10 a 当たり 収 量	収 穫 量		10 a 当たり 平均収量 対 比	10 a 当たり 平均収量		
				対 差	対 比	対 比	対 差	対 比				
全国 (全国農業地域)	ha 5,540	kg 300	t 16,600		ha △ 330	% 94	% 103		t △ 400	% 98	% 103	kg 290
北海道	87	265	231		3	104	124		52	129	98	271
都府県	5,450	299	16,300	△	330	94	103	△	500	97	103	291
東 北	-	-	-		-	nc	nc		-	nc	nc	-
北 陸	x	x	x		x	x	x		x	x	x	134
関東・東山	x	282	x		x	x	142		x	x	94	301
東 海	x	270	x		x	x	105		x	x	99	273
近 畿	x	260	x		x	x	102		x	x	108	241
中 国	575	252	1,450	△	32	95	89	△	270	84	106	238
四 国	2,250	304	6,840	△	100	96	107		150	102	97	312
九 州	1,910	319	6,100	△	50	97	96	△	400	94	109	292
沖縄	-	-	-		-	nc	nc		-	nc	nc	-
(都道府県)												
北海道	87	265	231		3	104	124		52	129	98	271
青森	-	-	-		-	nc	nc		-	nc	nc	-
岩手	-	-	-		-	nc	nc		-	nc	nc	-
宮城	-	-	-		-	nc	nc		-	nc	nc	…
秋田	-	-	-		-	nc	nc		-	nc	nc	-
山形	-	-	-		-	nc	nc		-	nc	-	70
福島	-	-	-		-	nc	nc		-	nc	-	134
茨城	253	257	650	△	102	71	143		11	102	82	312
栃木	41	317	130	△	5	89	123		12	110	124	256
群馬	1	283	3		0	100	95		0	100	113	250
埼玉	76	343	261	△	29	72	146		14	106	119	289
千葉	-	-	-	△	1	-	-	△	3	-	-	279
東京	-	-	-		x	x	x		x	x	-	240
神奈川	x	x	x		x	x	x		x	x	x	176
新潟	-	-	-		-	nc	nc		-	nc	nc	-
富山	x	x	x		x	x	x		x	x	x	134
石川	-	-	-		-	nc	nc		-	nc	nc	-
福井	-	-	-		x	x	x		x	x	nc	…
山梨	-	-	-		-	nc	nc		-	nc	nc	-
長野	-	-	-		-	nc	nc		-	nc	nc	-
岐阜	-	-	-		-	nc	nc		-	nc	nc	-
静岡	x	x	x		x	x	x		x	x	x	195
愛知	13	331	43		3	130	166		23	215	142	233
三重	27	241	65	△	8	77	88	△	31	68	83	291
滋賀	94	366	344	△	12	89	100	△	44	89	97	377
京都	-	-	-		-	nc	nc		-	nc	nc	-
大阪	x	x	x		x	x	x		x	x	nc	…
兵庫	202	211	426	△	1	100	109		32	108	119	178
奈良	-	-	-		x	x	x		x	x	-	157
和歌山	0	102	0		0	nc	68	△	1	0	80	127
鳥取	3	218	7	△	1	75	117		0	100	111	197
島根	22	373	82		0	100	130		19	130	150	248
岡山	235	325	764		12	105	84	△	97	89	107	305
広島	55	196	108	△	10	85	81	△	49	69	113	173
山口	260	187	486	△	33	89	87	△	141	78	98	190
徳島	15	187	28	△	4	79	111	△	4	88	117	160
香川	761	292	2,220	△	91	89	108	△	90	96	94	311
愛媛	1,470	312	4,590	△	10	99	106		250	106	99	315
高知	3	135	4		0	100	71	△	2	67	73	184
福岡	485	342	1,660	△	5	99	101	△	10	99	105	327
佐賀	270	379	1,020	△	12	96	92	△	150	87	107	355
長崎	200	243	486	△	17	92	106	△	11	98	139	175
熊本	99	226	224	△	4	96	83	△	55	80	100	225
大分	819	326	2,670	△	23	97	96	△	180	94	112	290
宮崎	11	118	13	△	3	79	66	△	12	52	93	127
鹿児島	30	100	30		20	300	78		17	231	57	174
沖縄	-	-	-		-	nc	nc		-	nc	nc	-

1 3 品種別作付面積の推移（群馬県）

区分	品 種 名	平成26年産		平成27年産		平成28年産		平成29年産		平成30年産	
		作付面積	比率	作付面積	比率	作付面積	比率	作付面積	比率	作付面積	比率
小 麦		ha	%	ha	%	ha	%	ha	%	ha	%
	つるびかり	900	16	950	17	1,030	19	1,000	18	1,030	18
	きぬの波	340	6	470	8	470	9	500	9	470	8
	ダブル8号	370	7	360	6	360	6	350	6	330	6
	さとのそら	4,140	72	3,800	68	3,720	67	3,720	67	3,850	68
	計	5,750	100	5,580	100	5,580	100	5,570	100	5,680	100
二 条 大 麦	あまぎ二条	210	14	—	—	—	—	—	—	—	—
	ミカモゴールドン	790	54	780	52	650	43	760	48	640	41
	サチホゴールドン	470	32	700	48	880	57	780	50	890	57
	アスカゴールドン	—	—	—	—	—	—	30	2	40	2
	計	1,470	100	1,480	100	1,530	100	1,570	100	1,570	100
六 条 大 麦	シュンライ	426	86	448	86	443	83	488	93	491	100
	さやかぜ	35	7	36	7	43	8	39	7	—	—
	セツゲンモチ	36	7	39	7	46	9	—	—	—	—
	計	498	100	523	100	532	100	527	100	491	100
麦 計		7,720	—	7,590	—	7,640	—	7,670	—	7,760	—

区分	品 種 名	令和元年産		令和2年産		令和3年産		令和4年産		令和5年産	
		作付面積	比率	作付面積	比率	作付面積	比率	作付面積	比率	作付面積	比率
小 麦		ha	%	ha	%	ha	%	ha	%	ha	%
	つるびかり	970	17	1,000	18	900	17	950	18	930	17
	きぬの波	460	8	430	8	440	8	350	6	260	5
	ゆめかおり(ダブル8号)	310	6	310	6	310	6	270	5	270	5
	さとのそら	3,810	69	3,750	68	3,770	70	3,820	71	3,870	73
	計	5,570	100	5,500	100	5,430	100	5,380	100	5,330	100
二 条 大 麦	ミカモゴールドン	410	26	—	—	—	—	—	—	—	—
	サチホゴールドン	770	48	530	33	580	35	620	38	670	39
	アスカゴールドン	410	26	1,100	68	1,090	65	1,020	62	1,050	61
	計	1,580	100	1,630	100	1,670	100	1,640	100	1,720	100
大六 条大 麦	シュンライ	494	100	515	100	520	100	506	100	509	100
	計	494	100	515	100	520	100	506	100	509	100
麦 計		7,650	—	7,650	—	7,630	—	7,530	—	7,560	—

- 注) 1. 数字は推計値であり、ラウンドにより合計が一致しない場合がある。
2. 農林水産統計(麦類の作付面積)と全農ぐんま及び集連のは種前契約より推計。
3. 令和2年産より「ダブル8号」から「ゆめかおり」に品種転換した。

1 4 検査数量上位品種の推移（全国）

（1）普通小麦

順位	3 年 産			4 年 産			5 年 産		
	品種名	検査 数量	比率	品種名	検査 数量	比率	品種名	検査 数量	比率
1	きたほなみ	575,799 ^t	52.0 [%]	きたほなみ	490,893 ^t	47.6 [%]	きたほなみ	542,844 ^t	49.1 [%]
2	ゆめちから	101,965	9.2	ゆめちから	102,557	9.9	ゆめちから	116,805	10.6
3	シロガネコムギ	73,927	6.7	シロガネコムギ	69,705	6.8	シロガネコムギ	63,428	5.7
4	チクゴイズミ	53,066	4.8	チクゴイズミ	52,638	5.1	さとのそら	55,524	5.0
5	さとのそら	50,780	4.6	さとのそら	49,856	4.8	春よ恋	49,136	4.4
6	春よ恋	49,894	4.5	春よ恋	45,573	4.4	チクゴイズミ	45,668	4.1
7	きぬあかり	24,521	2.2	きぬあかり	23,654	2.3	きぬあかり	29,670	2.7
8	あやひかり	21,224	1.9	あやひかり	21,191	2.1	あやひかり	23,113	2.1
9	ミナミノカオリ	18,951	1.7	ミナミノカオリ	18,646	1.8	ミナミノカオリ	18,075	1.6
10	農林61号	9,191	0.8	はるきりり	9,754	0.9	はるきりり	12,087	1.1
	上位10品種計	979,319	88.5	上位10品種計	884,467	85.8	上位10品種計	956,350	86.5
	全品種計	1,106,972	100.0	全品種計	1,031,111	100.0	全品種計	1,105,702	100.0

（2）普通大粒大麦（二条大麦）

順位	3 年 産			4 年 産			5 年 産		
	品種名	検査 数量	比率	品種名	検査 数量	比率	品種名	検査 数量	比率
1	はるか二条	29,901 ^t	29.6 [%]	はるか二条	33,884 ^t	32.9 [%]	はるか二条	35,650 ^t	36.2 [%]
2	サチホゴールド	24,014	23.8	サチホゴールド	25,589	24.8	サチホゴールド	22,190	22.5
3	はるしずく	6,772	6.7	はるしずく	8,604	8.3	はるしずく	9,002	9.1
4	ニシノホシ	5,125	5.1	ニシノホシ	6,258	6.1	ニシノホシ	4,891	5.0
5	スカイゴールド	4,325	4.3	ニューサチホゴールド	4,249	4.1	ニューサチホゴールド	4,726	4.8
	上位5品種計	70,137	69.5	上位5品種計	78,584	76.2	上位5品種計	76,459	77.7
	全品種計	100,942	100.0	全品種計	103,100	100.0	全品種計	98,444	100.0

（3）普通小粒大麦（六条大麦）

順位	3 年 産			4 年 産			5 年 産		
	品種名	検査 数量	比率	品種名	検査 数量	比率	品種名	検査 数量	比率
1	ファイバースノウ	31,881 ^t	59.7 [%]	ファイバースノウ	40,950 ^t	66.8 [%]	ファイバースノウ	39,410 ^t	63.3 [%]
2	シュンライ	8,926	16.7	シュンライ	8,701	14.2	シュンライ	10,106	16.2
3	カシマゴール	3,892	7.3	ホワイファイバー	3,448	5.6	ホワイファイバー	3,456	5.6
4	はねうまもち	1,832	3.4	はねうまもち	2,401	3.9	カシマゴール	3,098	5.0
5	ホワイファイバー	1,772	3.3	カシマゴール	2,295	3.7	はねうまもち	1,835	2.9
	上位5品種計	48,303	90.5	上位5品種計	57,795	94.2	上位5品種計	57,906	93.1
	全品種計	53,377	100.0	全品種計	61,346	100.0	全品種計	62,213	100.0

注）農林水産省資料による。各年産10月末現在の数値。

1 5 令和5年産麦類検査等級比率

(1) 全国・群馬県の検査等級比率

区 分 種 類		全 国				群 馬			
		検査数量 (t)	検査等級数量 (t) (%)			検査数量 (t)	検査等級数量 (t) (%)		
			1 等	2 等	規格外 (等外上)		1 等	2 等	規格外 (等外上)
小 麦		1,105,702	948,297 (85.8)	82,325 (7.4)	75,079 (6.8)	22,688	18,273 (80.5)	3,729 (16.4)	623 (2.7)
普通小粒大麦		62,213	43,973 (70.7)	10,724 (17.2)	7,516 (12.1)	1,707	981 (57.5)	622 (36.4)	104 (6.1)
普通大粒大麦		98,444	75,164 (76.4)	9,738 (9.9)	13,542 (13.8)	859	121 (14.1)	3 (0.3)	735 (85.6)
普通はだか麦		17,584	10,383 (59.0)	5,620 (32.0)	1,581 (9.0)		—	—	—
ビール大麦		47,068	64 (0.1)	45,882 (97.5)	1,122 (2.4)	5,800	—	5,599 (96.5)	201 (3.5)
種 子 用	小 麦	4,761	4,696 (合格)	—	—	23	23 (合格)	—	—
	大 麦	2,379	2,379 (合格)	—	—	55	55 (合格)	—	—
	はだか麦	118	118 (合格)	—	—		—	—	—
	小 計	7,258	7,192 (合格)	—	—	78	(合格)	—	—
合 計		1,338,269	1,085,073	154,289	98,840	31,132	19,375	9,953	1,663

注) 1. 農林水産省資料による。検査数量等は、令和5年10月末現在である。
2. ラウンドの関係上、計と内訳が一致しない場合がある。

(2) 群馬県内の主要品種の検査等級比率

区 分 品 種		令和5年産				令和4年産			
		検査数量 (t)	検査等級数量 (t) (%)			検査数量 (t)	検査等級数量 (t) (%)		
			1 等	2 等	規格外 (等外上)		1 等	2 等	規格外 (等外上)
小 麦	さとのそら	16,037	13,367 (83.4)	13,367 (83.4)	340 (2.1)	16,113	14,357 (89.1)	1,423 (8.8)	343 (2.1)
	つるびかり	4,213	4,076 (96.7)	45 (1.1)	93 (2.2)	3,894	3,608 (92.7)	132 (3.4)	154 (4.0)
	きぬの波	960	165 (17.2)	787 (82.0)	8 (0.8)	1,756	732 (41.7)	1,012 (57.6)	12 (0.7)
	ゆめかおり	974	595 (61.1)	356 (36.6)	23 (2.4)	967	854 (88.3)	80 (8.3)	22 (2.3)
普通小粒 小麦	シュンライ	1,696	981 (57.8)	619 (0.0)	95 (5.6)	1,745	928 (53.2)	717 (41.1)	100 (5.7)
普通大粒 小麦	サチホゴールド	355	81 (22.8)	3 (0.8)	271 (76.3)	200	56 (28.0)	14 (7.0)	130 (65.0)

1. 農林水産省資料による。検査数量等は、令和5年10月末現在である。
2. ラウンドの関係上、計と内訳が一致しない場合がある。

16 累年の県産麦類検査等級

年 産 構成比	種 別	検査数 t	等級内訳（上段:t、下段:%）			参 考	
			1 等	2 等	規 格 外	全 国 検査数量	1 等
30	小麦	22,800 －	18,530 81%	3,853 17%	417 2%	854,681 －	650,048 76%
	小粒大麦	1,646 －	898 55%	682 41%	66 4%	38,063 －	26,504 70%
	大粒大麦	424 －	81 19%	35 8%	308 73%	73,007 －	57,171 78%
	ビール大麦	4,954 －	－ －	4,696 95%	258 5%	46,745 －	107 0%
	計	29,823 －	19,509 65%	9,266 31%	1,049 4%	1,012,496 －	733,830 72%
元	小麦	23,554 －	14,040 60%	8,758 37%	756 3%	1,071,475 －	955,813 90%
	小粒大麦	1,811 －	956 53%	663 37%	191 11%	53,927 －	39,127 73%
	大粒大麦	956 －	32 3%	33 3%	891 93%	93,927 －	77,054 82%
	ビール大麦	5,089 －	－ －	4,825 95%	264 5%	50,802 －	193 0%
	計	31,410 －	15,029 48%	14,279 45%	2,103 7%	1,270,131 －	1,072,187 84%
2	小麦	21,526 －	20,022 93%	1,008 5%	496 2%	965,452 －	854,680 89%
	小粒大麦	1,723 －	852 49%	769 45%	102 6%	54,759 －	40,779 74%
	大粒大麦	877 －	149 17%	4 0%	725 83%	95,849 －	79,654 83%
	ビール大麦	5,035 －	－ －	4,809 96%	226 4%	46,108 －	104 0%
	計	29,162 －	21,024 72%	6,590 23%	1,548 5%	1,162,167 －	975,216 84%
3	小麦	20,997 －	16,869 80%	3,607 17%	521 2%	1,106,972 －	934,975 84%
	小粒大麦	1,854 －	937 51%	810 44%	106 6%	53,377 －	33,709 63%
	大粒大麦	1,533 －	163 11%	19 1%	1,351 88%	100,942 －	80,929 80%
	ビール大麦	5,800 －	－ －	5,600 97%	200 3%	51,462 －	614 1%
	計	30,184 －	17,969 60%	10,036 33%	2,179 7%	1,312,753 －	1,050,227 80%
4	小麦	22,934 －	19,580 85%	2,653 12%	701 3%	1,053,031 －	877,270 83%
	小粒大麦	1,750 －	928 53%	717 41%	105 6%	62,329 －	47,856 77%
	大粒大麦	615 －	116 19%	14 2%	485 79%	104,163 －	81,828 79%
	ビール大麦	5,553 －	－ －	5,283 95%	270 5%	45,509 －	3 0%
	計	30,852 －	20,624 67%	8,667 28%	1,561 5%	1,265,032 －	1,006,957 80%
5	小麦	22,688 －	18,273 81%	3,729 16%	623 3%	1,051,081 －	877,270 83%
	小粒大麦	1,707 －	981 57%	622 36%	104 6%	61,913 －	47,856 77%
	大粒大麦	859 －	121 14%	3 0%	735 86%	104,163 －	81,828 79%
	ビール大麦	5,800 －	－ －	5,599 97%	201 3%	45,509 －	43,625 96%
	計	31,054 －	19,375 62%	9,953 32%	1,663 5%	1,262,666 －	1,050,579 83%

注) 農林水産省資料による。

令和5年産は令和5年10月末現在である。

17 小麦の生産費（10a当たり）

（1）群馬県（関東・東山平均値）

年産 項目		28	29	30	元	2	3
種	苗 費	3,162	3,212	3,138	3,229	3,361	3,351
肥	料 費	6,326	6,838	6,618	7,038	7,161	6,662
農	業 薬 剤 費	2,050	1,911	2,375	2,242	2,367	2,381
光	熱 動 力 費	1,882	2,012	2,069	2,178	2,118	2,247
そ 諸	の 他 の 材 料 の 費	17	7	3	2	11	9
土 水	地 改 良 及 び 利 費	550	472	940	819	672	570
賃	借 料 及 び 料 金	6,458	6,676	6,028	6,491	5,320	4,833
物 公	件 税 及 び 諸 負 担	595	617	725	664	529	526
建	物 費	788	885	934	682	758	733
自 農	動 車 及 び 機 具 費	9,340	10,830	10,221	9,046	10,622	10,627
生	産 管 理 費	63	62	60	66	93	84
労	働 費	7,688	7,866	7,492	7,991	7,593	7,424
	家 族 労 働 費	6,975	7,308	6,869	7,781	6,874	6,730
	雇 用 労 働 費	432	558	623	210	719	494
費	用 合 計	38,919	41,388	40,603	40,448	40,605	39,447
10 ア ル 当 た り	物財費	31,231	33,552	33,111	32,667	33,731	32,717
	労働費	7,688	7,866	7,492	7,991	7,593	7,424
	費用合計	38,919	41,388	40,603	40,448	40,605	39,447
	副産物価額	145	120	134	160	145	144
	生産費	38,774	41,268	40,469	40,288	40,460	39,303
	支払利子	37	60	36	33	83	31
	支払地代	5,870	5,976	6,206	5,873	5,109	4,814
	支払利子・地代 算入生産費	44,681	47,304	46,711	46,194	45,652	44,148
	自己資本利子	1,641	1,940	1,907	1,634	1,915	1,938
	自作地地代	888	1,103	1,201	973	970	1,022
	資本利子・地代 全額算入生産費	47,210	50,347	49,819	48,801	48,537	47,108
10a 当たり収穫量(kg)		364	393	370	370	355	363
10a 当たり投下 労働時間(時間)		5.01	5.08	4.62	4.76	4.55	4.59
1戸当たりの 作付面積(a)		561	587	590	669	643	700

注) 農林水産省「麦類生産費調査」による。令和4年度の全国数値は速報値。
 関東・東山平均の数
 物材費：費用合計－労働費

(2) 全国

年産 項目		2 8	2 9	3 0	元	2	3	4
種 苗 費		2,894	3,084	3,237	3,210	3,474	3,650	3,664
肥 料 費		10,249	9,403	8,985	9,858	10,061	9,532	10,445
農 業 薬 剤 費		5,085	4,818	5,046	5,354	5,549	5,422	5,618
光 熱 動 力 費		1,794	1,908	2,008	2,219	1,988	2,204	2,565
そ の 他 の 諸 材 料 費		455	483	575	493	507	567	623
土地改良及び 水 利 費		829	836	834	1,037	983	1,133	1,008
賃借料及び料金		14,191	15,657	13,868	16,078	15,646	16,449	15,747
物 件 税 及 び 公 課 諸 負 担		1,356	1,363	1,306	1,447	1,351	1,322	1,318
建 物 費		991	1,138	956	1,116	1,087	1,077	1,223
自 動 車 及 び 農 機 具 費		10,645	9,926	10,125	10,901	11,850	12,105	12,666
生 産 管 理 費		313	300	302	352	315	318	274
労 働 費		5,828	6,015	5,866	6,332	6,281	5,959	5,935
	家族労働費	5,552	5,738	5,538	5,984	5,784	5,543	5,471
	雇用労働費	276	277	328	348	497	521	414
費 用 合 計		54,630	54,931	53,108	58,397	59,092	59,738	61,086
10 ア ル 当 た り	物財費	48,802	48,916	47,242	52,065	53,308	54,195	55,615
	労働費	5,828	6,015	5,866	6,332	6,281	5,959	5,935
	費用合計	54,630	54,931	53,108	58,397	59,092	59,738	61,086
	副産物価額	2,826	2,271	2,570	1,946	2,491	2,683	2,570
	生産費	51,804	52,660	50,538	56,451	56,601	57,055	58,516
	支払利子	229	239	191	212	212	222	203
	支払地代	2,877	2,697	2,588	2,455	2,419	2,584	2,664
	支払利子・地代 算入生産費	54,910	55,596	53,317	59,118	59,232	59,861	61,383
	自己資本利子	1,800	1,688	1,591	1,668	1,785	1,846	1,938
	自作地地代	5,927	5,979	6,133	6,640	6,331	6,260	6,230
	資本利子・地代 全額算入生産費	62,637	63,263	61,041	67,426	67,348	67,967	69,551
10 a 当たり収穫量(kg)		408	483	383	542	495	562	475
10 a 当たり投下 労働時間(時間)		3.57	3.62	3.44	3.55	3.50	3.43	3.41
1 戸当たりの 作付面積(a)		758.8	748.9	783.1	798.9	813.3	865.4	879.0

Ⅲ 大豆「高品質大豆の安定生産の取組」

1 基本方針

- (1) 水田でのブロックローテーションや団地化の推進
- (2) 基本技術の励行による高品質な大豆生産の推進
- (3) 契約栽培による安定的な取引の拡大
- (4) 地産地消に対応した大豆生産の推進
- (5) 種子生産者の確保と生産体制の強化

2 大豆の生産目標

項 目 年 産	作付面積 (h a)	収穫量 (t)	普通大豆 検査数量 (t)	検査等級 1・2等比率 (%)
令和4年産実績(確定)	287	416	252	73.7
令和5年産実績	276	—	133	55.0
令和6年産目標	300	450	270	70以上

注) 令和5年産実績の検査数量及び検査等級比率は令和6年1月末現在（農林水産省）。

3 重点推進目標

- (1) 水田でのブロックローテーションや団地化の推進
 - ア 主食用米を作付けしない水田や畑を対象に、国の補助事業を活用して計画的な作付を図るとともに、連作障害や湿害等を回避し高品質な大豆の生産を図るため、ブロックローテーションを推進する。
 - イ 生産組織等への集積と水系等を単位とした団地化を図る。
 - ウ 「麦－大豆作付体系」を推進し、農地の高度利用を図る。
- (2) 基本技術の励行による高品質で安全な大豆生産の推進
 - ア 地域適応品種の栽培を作付する。
 - イ 栽培履歴記帳の定着化を推進する。
 - ウ 明きょ設置やサブソイル利用による湿害回避対策を講じる。
 - エ 適期は種や適正施肥による収量向上を図る。
 - オ 適正な病害虫防除による収量・品質向上に努める。
- (3) 契約栽培による安定的な取引の拡大

実需者との契約による栽培を推進し、大豆生産農家の経営安定を図る。
- (4) 地産地消に対応した大豆生産の推進

県産大豆を使用した加工品等の高付加価値化や地産地消への取り組みを推進する。
- (5) 種子生産者の確保と生産体制の強化

安定した大豆生産を推進するためには安定した種子供給が不可欠である。新規種子生産者を確保するとともに、生産体制の充実・強化を図る。

4 関連施策

- ・農業経営力向上事業（県単）
- ・経営所得安定対策（国庫）
- ・強い農業づくり総合支援交付金（国庫）
- ・産地生産基盤パワーアップ事業（国庫）
- ・麦・大豆生産技術向上事業（国庫）

5 群馬県大豆生産の推移

年度	作付面積			10a当たり収量			平年 収量 kg	作況 指数※	収穫量		
	ha	田	畑	kg	田	畑			t	田	畑
S25	7,250			110					8,000		
30	5,720			151					8,840		
35	4,030			138					5,560		
40	2,150			136					2,920		
45	1,250			127				95	1,590		
50	920	74	846	132	154	130	132	100	1,210	114	1,100
55	1,160	596	564	116	129	103	128	91	1,350	770	581
60	1,200	622	580	154	177	130	135	114	1,850	1,100	754
61	1,150	638	511	173	185	159	139	124	1,990	1,180	812
62	1,380	862	520	188	203	162	149	126	2,590	1,750	842
63	1,410	892	515	143	159	117	162	88	2,020	1,420	603
H1	1,370	865	502	184	199	159	168	110	2,520	1,720	797
2	1,300	790	510	150	159	135	168	89	1,950	1,260	690
3	1,150	679	472	97	95	101	168	58	1,120	646	476
4	930	505	425	162	167	156	168	96	1,510	843	664
5	810	412	398	135	142	128	168	80	1,090	586	509
6	600	221	379	139	157	129	168	83	834	346	488
7	619	247	372	162	174	153	155	105	1,000	429	571
8	669	298	371	164	177	154	150	109	1,100	526	573
9	684	316	368	169	177	163	150	113	1,160	558	598
10	653	338	315	148	160	135	152	97	966	540	426
11	603	340	263	152	157	146	155	98	917	533	384
12	568	335	233	163	172	150	155	105	926	576	350
13	544	326	218	155	162	145	158	98	843	527	316
14	523	313	210	158	170	140	159	99	826	532	294
15	517	306	211	156	168	139	158	99	807	514	293
16	520	308	212	175	195	146	158	111	910	600	310
17	510	303	207	163	177	143	157	104	832	536	296
18	473	275	198	181	203	150	159	114	855	558	297
19	439	254	185	176	-	-	163	108	773	-	-
20	407	224	183	160	-	-	167	96	650	-	-
21	404	218	186	174	-	-	166	105	703	-	-
22	378	202	176	124	-	-	170	73	469	-	-
23	353	183	170	122	-	-	170	72	431	-	-
24	357	193	164	173	-	-	159	109	618	-	-
25	346	184	162	148	-	-	161	92	512	-	-
26	322	164	158	138	-	-	156	88	444	-	-
27	323	168	155	109	-	-	149	73	352	-	-
28	301	154	147	125	-	-	141	89	376	-	-
29	316	171	145	112	-	-	131	85	354	-	-
30	303	157	146	127	-	-	129	98	385	-	-
R1	291	156	135	133	-	-	130	102	387	-	-
R2	275	141	134	144	-	-	127	111	388	-	-
R3	278	141	137	150	-	-	127	118	417	-	-
R4	287	140	147	145	-	-	128	113	416	-	-
R5	276	137	139	-	-	-	-	-	-	-	-

- 注) 1. 農林水産統計「作物統計」による。作況指数は、H16からは10a当たり平均収量対比。
2. 平成17年からの平年収量は、10a当たり平均収量(原則として、直近7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値)。
3. 令和5年産の作付面積以外の値は、令和5年2月末現在公表されていない。
4. 作況指数は平年収量対比

6 全国大豆生産の推移

年度	作付面積			10a当たり収量			平年 収量kg	作況 指数※	収穫量		
	ha	田	畑	kg	田	畑			t	田	畑
S25	413,100			108					446,900		
30	385,200			132					507,100		
35	306,900			136					417,600		
40	184,100			125				94	229,700		
45	95,500			132				100	126,000		
50	86,900	15,600	71,200	145	138	146	138	105	125,600	21,600	104,000
55	142,200	85,500	56,600	122	121	125	138	88	173,900	103,300	70,600
60	133,500	82,600	50,800	171	172	169	153	112	228,300	142,200	86,100
61	138,400	87,500	50,900	177	184	166	160	111	245,200	160,800	84,400
62	162,700	115,100	47,600	177	182	164	165	107	287,200	209,100	77,900
63	162,400	117,400	45,000	171	178	150	172	99	276,900	209,200	67,600
H1	151,600	109,900	41,800	179	182	172	176	102	217,700	200,100	71,700
2	145,900	105,000	40,900	151	144	168	178	85	220,400	151,600	68,700
3	140,800	97,600	43,200	140	135	152	182	77	197,300	131,700	65,500
4	109,900	73,400	36,500	171	177	160	178	96	188,100	129,900	58,300
5	87,400	55,100	32,300	115	121	105	175	66	100,600	66,600	34,000
6	60,900	31,400	29,500	162	160	164	171	95	98,800	50,200	48,500
7	68,600	39,400	29,200	173	175	171	173	100	119,000	69,000	49,900
8	61,800	53,000	28,800	180	188	167	173	104	147,600	99,400	48,200
9	83,200	53,800	29,400	174	171	180	175	99	144,600	91,900	52,800
10	109,100	80,100	29,000	145	141	156	178	81	158,000	112,900	45,200
11	108,200	81,300	26,900	173	166	194	178	97	187,200	135,100	52,100
12	122,500	97,200	25,300	192	189	201	177	108	235,000	184,100	50,800
13	143,900	119,400	24,600	188	190	177	180	103	270,600	227,300	43,600
14	149,900	125,900	24,000	180	181	177	178	101	270,200	227,600	42,500
15	151,900	129,000	22,900	152	153	149	181	84	231,600	197,500	34,200
16	136,800	114,800	22,000	121	112	169	178	68	165,400	128,200	37,200
17	134,000	110,500	23,500	168	162	195	170	99	225,000	180,700	45,800
18	142,100	117,700	24,500	161	154	196	177	91	229,200	181,300	47,900
19	138,300	117,600	20,700	164	-	-	169	97	226,700	-	-
20	147,100	126,300	20,800	178	-	-	163	109	262,100	-	-
21	145,400	124,800	20,600	156	-	-	164	95	227,000	-	-
22	137,700	119,000	18,700	162	-	-	162	100	222,800	-	-
23	136,700	117,200	19,500	161	-	-	166	97	219,900	-	-
24	131,100	111,500	19,600	175	-	-	171	102	229,100	-	-
25	128,800	108,900	19,900	154	-	-	171	91	199,900	-	-
26	131,600	110,800	20,800	176	-	-	169	104	231,800	-	-
27	142,000	117,700	24,300	171	-	-	172	99	242,400	-	-
28	150,000	120,300	29,800	157	-	-	173	91	235,500	-	-
29	150,200	120,800	29,400	166	-	-	166	100	248,600	-	-
30	146,600	118,400	28,300	145	-	-	167	87	212,900	-	-
R1	143,500	116,000	27,600	148	-	-	166	89	212,300	-	-
R2	141,700	114,200	27,500	154	-	-	161	96	218,900	-	-
R3	146,200	115,600	30,500	169	-	-	161	105	246,500	-	-
R4	151,600	120,700	30,900	160	-	-	160	100	242,800	-	-
R5	154,700	122,000	32,700	-	-	-	-	-	-	-	-

7 市町村別作付面積、10当たり収量及び収穫量の推移（群馬）

単位 : ha, kg, t

項目 市町村	令和元年産			令和2年産			令和3年産			令和4年産		
	作付面積	10a 当たり 収量	収穫量	作付面積	10a 当たり 収量	収穫量	作付面積	10a 当たり 収量	収穫量	作付面積	10a 当たり 収量	収穫量
前橋市	92	159	146	81	207	168	75	157	118	87	166	144
伊勢崎市	2	150	3	2	197	4	2	198	4	2	150	3
玉村町	23	165	38	22	159	35	22	205	45	22	205	45
渋川市	9	67	6	13	54	7	13	92	12	13	77	10
榛東村	1	121	1	1	134	1	1	143	1	1	109	1
吉岡町	1	119	1	1	132	1	1	142	1	1	109	1
中部計	128	152	195	120	180	216	114	159	181	126	162	204
高崎市	18	156	28	17	94	16	30	207	62	36	144	52
安中市	2	50	1	2	50	1	2	54	1	2	41	1
藤岡市	12	67	8	12	75	9	12	83	10	12	33	4
神流町	1	103	1	1	111	1	2	118	2	2	90	2
上野村	2	51	1	2	51	1	2	51	1	2	87	2
富岡市	7	43	3	8	50	4	8	75	6	8	63	5
下仁田町	2	109	2	2	117	2	2	125	3	2	95	2
南牧村	1	102	1	1	111	1	1	118	1	1	90	1
甘楽町	4	51	2	3	68	2	3	68	2	3	67	2
西部計	49	96	47	48	77	37	62	142	88	68	104	71
中之条町	10	170	17	13	114	15	13	138	18	11	155	17
長野原町	2	150	3	2	100	2	2	124	2	2	100	2
嬭恋村	9	122	11	9	111	10	8	138	11	6	150	9
草津町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高山村	2	150	3	2	135	3	2	150	3	2	150	3
東吾妻町	9	111	10	9	108	10	8	138	11	7	200	14
吾妻計	32	138	44	35	114	40	33	136	45	28	161	45
沼田市	10	130	13	9	110	10	9	156	14	8	150	12
片品村	16	125	20	15	133	20	14	171	24	12	175	21
川場村	2	100	2	2	90	2	2	113	2	2	100	2
昭和村	2	100	2	2	90	2	2	150	3	2	150	3
みなかみ町	16	144	23	13	103	13	13	131	17	14	143	20
利根沼田計	46	130	60	41	115	47	40	150	60	38	153	58
太田市	8	182	15	8	241	19	9	233	21	9	222	20
桐生市	1	123	1	1	154	2	1	143	1	1	134	1
みどり市	3	120	3	2	155	3	1	143	1	1	136	1
館林市	7	113	8	6	149	9	6	139	8	6	117	7
板倉町	9	67	6	8	97	8	6	77	5	4	75	3
明和町	3	104	3	3	133	4	3	123	4	3	116	3
千代田町	1	117	1	1	146	1	1	136	1	1	129	1
大泉町	2	102	2	1	131	1	1	121	1	1	115	1
邑楽町	2	92	2	1	113	1	1	104	1	1	100	1
東部計	36	114	41	31	155	48	29	148	43	27	141	38
県計	291	133	387	275	141	388	278	150	417	287	145	416

注) 1. 農林水産統計「作物調査市町村別データ」による。

2. 計と内訳はラウンドのため一致しない場合がある。

4. 中部計・西部計等は計算値。

8 団地化に取り組んだ大豆生産集団の概要及び令和5年産大豆の概要

(1) 団地化に取り組んだ大豆生産集団（及び法人）の概要

市町村	生産組織名	推定栽培面積 (ha)					
		R元	R2	R3	R4	R5	前年差
前橋市	農事組合法人筑井和	9.1	6.7	8.0	8.1	8.0	-0.1
	農事組合法人荒口	1.0	1.0	1.1	1.2	1.2	0.0
	農事組合法人女屋	2.9	3.8	3.7	3.5	3.5	0.0
	農事組合法人月田	7.3	3.6	7.4	5.7	7.0	1.3
	農事組合法人深津	18.8	13.9	16.2	23.1	21.0	-2.1
	農事組合法人かすかわ中央	10.0	7.7	7.2	8.8	7.2	-1.6
	農事組合法人田面機械化組合	6.6	5.7	4.4	5.5	6.7	1.2
	農事組合法人中	4.4	4.4	2.1	3.4	2.8	-0.6
	株式会社上州農産	-	16.7	20.3	16.9	18.9	2.0
	農業生産法人ミツミファーム	-	2.0	4.2	2.9	3.6	0.7
	小計	60.1	65.5	74.6	79.1	79.9	0.8
渋川市	行幸田大豆栽培組合	4.0	4.0	4.0	2.4	2.4	0.0
玉村町	下之宮大豆転作組合	18.4	18.0	18.0	18.0	18.0	0.0
高崎市	高崎市大豆生産組合	9.5	10.3	10.8	11.7	13.1	1.4
富岡市、甘楽町	かぶら大豆生産者協議会（自然農法）					7.4	7.4
中之条町	有限会社「たけやま」	4.4	3.5	4.2	5.6	6.0	0.4
太田市	農事組合法人寺井	6.3	6.4	7.6	7.7	7.7	0.0
計計		102.7	107.7	119.2	124.5	134.5	10.0

注) 令和5年12月現在

(2) 令和5年産大豆の概要

ア 播種期

- ・播種作業は平年並に順調に行われたが、一部で播種の遅れ、高温・少雨による出芽不良が見られた。出芽不良がひどいほ場ではまき直しも行われた。
- ・また、播種直後に降雨があったため、除草剤散布が遅れ、雑草が繁茂したほ場も見られた。

イ 初期生育

- ・出芽後の生育は概ね順調だったが、7月末に降雹があったほ場では茎葉に損傷を受け、回復にやや時間がかかった。

ウ 開花期

- ・高温で経過したことから、開花期は平年並み～やや早まった。
- ・高温下での開花であったが、花や莢の脱落等は見られなかった。

エ 登熟期

- ・成熟期は「ハタユタカ」で平年より早まり、「里のほほえみ」でやや遅れた。
- ・莢先熟、青立ちの発生や茎水分の低下も遅れたため、平年より遅れて収穫されたほ場が多く、成熟出来ずに収穫出来ないほ場も見られた。
- ・収量は、雑草が繁茂したほ場や湿害を受けたほ場、子実肥大期に乾いたほ場などで減収となり、平年より少なかった。
- ・品質は、小粒傾向で揃いがやや悪く、しわ粒や裂皮、高茎水分や雑草の影響による汚粒が見られた。等級は3等、特定加工への振り分けが多かった。
- ・開花期後に問題となるカメムシ類やマメシクイガ等の発生は平年よりも少ない傾向であったが、気温が落ち着きだした9月末～10月中旬にはカメムシ類の発生が見られた。防除適期が後ろ倒しとなり、例年の防除適期とズレが生じた。

9 品種別作付面積の推移

区分	品種名	令和元年産		令和2年産		令和3年産		令和4年産		令和5年産	
		面積ha	比率%	面積ha	比率%	面積ha	比率%	面積ha	比率%	面積ha	比率%
普通大豆	タチナガハ	61	21%	—	—	—	—	—	—	—	—
	里のほほえみ	166	57%	184	67%	215	77%	194	68%	196	71%
	ハタユタカ	25	9%	48	17%	25	9%	49	17%	30	11%
	オオツル	10	3%	13	5%	11	4%	15	5%	22	8%
	その他	30	10%	30	11%	28	10%	29	10%	28	10%
計		291	100%	275	100%	278	100%	287	100%	276	100%

注) 作付面積は農林水産統計「作物統計」による。品種別作付比率は種子配布実績数量から推計。

10 令和4、5年産大豆検査数量

(1) 全国の検査等級比率（令和4年産）

区分 種類	全 国						
	検査等級数量 [t、(%)]						
	検査数量	普通大豆				特定加工用 検査数量	種子 検査数量 (合格)
		1等	2等	3等	規格外		
大粒大豆	132,567	33,789 (25.5)	48,465 (36.6)	49,951 (37.7)	362 (0.3)	16,858	1,028
中粒大豆	32,191	8,426 (26.2)	9,030 (28.1)	14,324 (44.5)	412 (1.3)	8,720	461
小粒大豆	23,655	6,313 (26.7)	9,558 (40.4)	7,320 (30.9)	555 (2.3)	5,637	15
極小粒大豆	1,290	305 (23.6)	379 (29.4)	601 (46.6)	6 (0.5)	274	8
合 計	189,703	48,832	67,431	72,105	1,335	31,488	1,512

注) 検査数量等は、令和4年産確定値（農林水産省公表）である。（令和5年産検査結果は令和6年2月末現在公表されていない。）
ラウンドの関係上、計と内訳が一致しない場合がある。

(2) 群馬県の検査等級比率（令和5年産）

区分 種類	群 馬 県						
	検査等級数量 [t、(%)]						
	検査数量	普通大豆				特定加工用 検査数量	種子 検査数量 (合格)
		1等	2等	3等	規格外		
大粒大豆	130	1 (0.8)	71 (54.6)	58 (44.6)		8	
中粒大豆	9	0 (3.3)	1 (11.1)	7 (77.8)	1 (8.9)	23	
小粒大豆	12	12 (100.0)	9 ()	4 (33.3)	0 (0.0)	4	
極小粒大豆	4	4 (100.0)					
合 計	155	17	81	69		35	

注) 検査数量等は、令和6年1月末現在である。（蚕糸園芸課調べ）
ラウンドの関係上、計と内訳が一致しない場合がある。
「0」は単位に満たないもの、斜線は事実がないものを示す。
検査数量には産地品種銘柄以外の数量も含まれるため産地品種銘柄計と一致しない場合がある。

(3) 群馬県の銘柄別検査等級比率（令和5年産）

区分 種類	検査数量 (t)	普通大豆				特定加工用	
		等級比率(%)				検査数量 (t)	合格 (%)
		1等	2等	3等	規格外		
オオツル	5	4.8%		95.2%		0	
タチナガハ	3		87.4%	12.6%		0	
ハタユタカ	6			100.0%		17	96
里のほほえみ	123	0.2%	55.4%	43.7%	0.6%	13	99
合 計	137	0.4%	51.7%	47.4%	0.5%	30	97

注) 検査数量等は、令和6年2月末現在である。（蚕糸園芸課調べ）
ラウンドの関係上、計と内訳が一致しない場合がある。
「0」は単位に満たないもの、斜線は事実がないものを示す。
検査数量合計に対する等級比率は推計値。

1 1 種類別検査実績（群馬）

（単位：kg）

		1 等	2 等	3 等	規格外	特定加工用	計
26 年 産	大 粒 大 豆	-	24,660	107,970	120	10,200	142,950
	中 粒 大 豆	-	5,760	12,780	-	2,880	21,420
	小 粒 大 豆	150	1,800	540	-	1,110	3,600
	極 小 粒 大 豆	-	240	60	-	-	300
	計	150	32,460	121,350	120	14,190	168,270
27 年 産	大 粒 大 豆	540	27,150	74,250	-	33,300	135,240
	中 粒 大 豆	30	480	7,740	-	5,430	13,680
	小 粒 大 豆	-	2,040	1,350	-	900	4,290
	極 小 粒 大 豆	-	-	-	-	60	60
	計	570	29,670	83,340	0	39,690	153,270
28 年 産	大 粒 大 豆	5,670	37,380	52,260	-	17,130	112,440
	中 粒 大 豆	360	3,180	13,650	-	7,050	24,240
	小 粒 大 豆	-	5,100	2,130	-	2,820	10,050
	極 小 粒 大 豆	-	1,080	750	-	90	1,920
	計	6,030	46,740	68,790	0	27,090	148,650
29 年 産	大 粒 大 豆	480	6,600	21,750	9,300	106,770	144,900
	中 粒 大 豆	-	360	1,290	810	14,100	16,560
	小 粒 大 豆	-	-	5,370	30	2,070	7,470
	極 小 粒 大 豆	-	-	540	-	-	540
	計	480	6,960	28,950	10,140	122,940	169,470
30 年 産	大 粒 大 豆	5,640	44,520	30,600	-	20,580	101,340
	中 粒 大 豆	570	11,490	8,190	240	17,730	38,220
	小 粒 大 豆	30	-	7,950	150	4,890	13,020
	極 小 粒 大 豆	-	-	780	-	30	810
	計	6,240	56,010	47,520	390	43,230	153,390
元 年 産	大 粒 大 豆	14,550	31,470	92,130	1,020	37,590	176,760
	中 粒 大 豆	240	30	1,620	270	11,580	13,740
	小 粒 大 豆	-	-	30	-	7,230	7,260
	極 小 粒 大 豆	-	-	720	-	300	1,020
	計	14,790	31,500	94,500	1,290	56,700	198,780
2 年 産	大 粒 大 豆	53,040	42,450	40,410	390	10,050	146,340
	中 粒 大 豆	870	4,020	4,980	450	15,480	25,800
	小 粒 大 豆	10,470	30	60	-	1,710	12,270
	極 小 粒 大 豆	7,680	510	-	-	-	8,190
	計	72,060	47,010	45,450	840	27,240	192,600
3 年 産	大 粒 大 豆	5,250	87,630	94,560	-	14,670	202,110
	中 粒 大 豆	1,110	5,640	8,190	-	5,220	20,160
	小 粒 大 豆	30	120	3,330	-	1,200	4,680
	極 小 粒 大 豆	-	-	1,350	-	-	1,350
	計	6,390	93,390	107,430	0	21,090	228,300
4 年 産	大 粒 大 豆	65,190	100,020	59,910		12,960	238,080
	中 粒 大 豆	300	1,650	5,190		6,900	14,040
	小 粒 大 豆	13,920	660			1,080	15,660
	極 小 粒 大 豆	2,610					2,610
	計	82,020	102,330	65,100	0	20,940	270,390
5 年 産	大 粒 大 豆	840	70,860	58,440		7,590	137,730
	中 粒 大 豆	330	1,140	7,140	780	23,040	32,430
	小 粒 大 豆	8,520		3,690	90	3,690	15,990
	極 小 粒 大 豆	3,930					3,930
	計	13,620	72,000	69,270	870	34,320	190,080

注) 1. 農林水産省資料による。
2. 令和5年産については令和6年2月末現在公表がされていないため、蚕糸園芸課で把握している令和6年1月末現在のものである。
3. 種子用は含まない。

1 2 全国大豆作付面積及び収量・収穫量

全国農業地域 ・ 都道府県	R 5 年産		R 4 年産							
	作付面積	作付面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	前 年 産 と の 比 較					
					作 付 面 積		10 a 当たり 収 量	収 穫 量		
					対 差	対 比		対 比	対 差	対 比
	ha	ha	kg	t	ha	%	%	t	%	
全 国 (全国農業地域)	154,800	151,600	160	242,800	5,400	104	95	△ 3,700	98	
北海道	45,300	43,200	252	108,900	1,200	103	100	3,500	103	
青 森 県	109,500	108,400	124	133,900	4,200	104	92	△ 7,200	95	
岩 手 県	38,200	37,800	122	46,300	2,200	106	72	△ 13,800	77	
宮 城 県	12,600	12,400	135	16,700	700	106	79	△ 3,200	84	
山 形 県	10,500	10,100	159	16,100	360	104	123	3,500	128	
山 形 県	12,500	12,300	107	13,100	100	101	96	△ 400	97	
山 形 県	10,100	9,790	134	13,100	520	106	114	2,200	120	
山 形 県	4,490	4,460	99	4,410	180	104	105	400	110	
山 形 県	474	540	134	722	39	108	108	103	117	
山 形 県	20,700	21,000	113	23,700	0	100	122	4,100	121	
山 形 県	x	x	x	x	x	x	x	x	x	
北海道	45,300	43,200	252	108,900	1,200	103	100	3,500	103	
青 森 県	5,530	5,390	82	4,420	320	106	51	△ 3,790	54	
岩 手 県	4,980	4,840	121	5,860	310	107	82	△ 800	88	
宮 城 県	11,700	11,900	133	15,800	900	108	66	△ 6,400	71	
山 形 県	9,530	9,420	122	11,500	600	107	77	△ 2,400	83	
山 形 県	4,940	4,910	140	6,870	170	104	91	△ 430	94	
山 形 県	1,520	1,410	130	1,830	0	100	101	10	101	
山 形 県	3,430	3,380	158	5,340	20	101	134	1,380	135	
山 形 県	2,630	2,510	187	4,690	160	107	126	1,210	135	
山 形 県	276	287	145	416	9	103	97	△ 1	100	
山 形 県	739	657	83	545	38	106	88	△ 37	94	
山 形 県	883	880	123	1,080	4	100	128	239	128	
山 形 県	5	4	150	6	0	100	120	1	120	
山 形 県	37	39	144	56	2	105	97	1	102	
山 形 県	4,280	4,200	169	7,100	110	103	89	△ 670	91	
山 形 県	4,660	4,510	124	5,590	260	106	74	△ 1,510	79	
山 形 県	1,720	1,790	92	1,650	170	110	67	△ 590	74	
山 形 県	1,940	1,870	124	2,320	130	107	78	△ 430	84	
山 形 県	212	215	120	258	3	101	105	16	107	
山 形 県	2,260	2,160	170	3,670	150	107	114	680	123	
山 形 県	3,130	3,040	115	3,500	80	103	113	480	116	
山 形 県	206	203	72	146	△ 41	83	88	△ 54	73	
山 形 県	4,500	4,490	135	6,060	20	100	98	△ 110	98	
山 形 県	4,680	4,530	74	3,350	0	100	82	△ 730	82	
山 形 県	7,280	6,900	153	10,600	410	106	115	1,970	123	
山 形 県	320	339	86	292	21	107	89	△ 16	95	
山 形 県	15	17	71	12	2	113	97	1	109	
山 形 県	2,370	2,380	85	2,020	100	104	112	290	117	
山 形 県	117	125	94	118	△ 9	93	84	△ 32	79	
山 形 県	23	26	88	23	△ 1	96	95	△ 2	92	
山 形 県	720	708	116	821	41	106	105	87	112	
山 形 県	807	804	127	1,020	21	103	123	214	127	
山 形 県	1,600	1,590	79	1,260	40	103	96	△ 10	99	
山 形 県	400	400	97	388	△ 8	98	145	115	142	
山 形 県	968	955	96	917	85	110	90	△ 14	98	
山 形 県	14	15	80	12	0	100	86	△ 2	86	
山 形 県	52	71	92	65	4	106	128	17	135	
山 形 県	342	378	162	612	32	109	109	100	120	
山 形 県	66	76	43	33	3	104	69	△ 12	73	
山 形 県	8,090	8,160	120	9,790	△ 30	100	136	2,580	136	
山 形 県	7,360	7,630	117	8,930	△ 220	97	122	1,390	118	
山 形 県	348	376	60	226	△ 24	94	146	62	138	
山 形 県	2,730	2,660	111	2,950	160	106	102	220	108	
山 形 県	1,520	1,560	84	1,310	120	108	88	△ 70	95	
山 形 県	228	244	31	76	26	112	27	△ 175	30	
山 形 県	389	386	97	374	41	112	98	32	109	
山 形 県	x	x	x	x	x	x	x	x	x	

注) 農林水産統計「作物統計」による。(令和5年産の10a当たり収量及び収穫量は令和6年2月末現在公表されていない。)

13 大豆の生産費（10a当たり）

項目	年産	元		2		3		4
		全 国	関東・東山	全 国	関東・東山	全国	関東・東山	全 国
種 苗 費		3,910	3,810	3,896	3,898	3,945	3,454	4,081
肥 料 費		6,019	5,066	6,243	5,593	5,800	6,224	6,365
農 業 薬 剤 費		5,871	4,296	6,506	4,233	6,424	4,015	6,367
光 熱 動 力 費		2,511	1,677	2,207	1,756	2,582	1,747	2,946
そ の 他 の 諸 材 料 費		188	1	231	3	221	1	312
土 地 改 良 及 び 水 利 費		1,544	705	1,547	796	1,352	623	1,341
賃借料及び料金		7,982	4,481	8,525	3,186	8,611	3,622	8,633
物 件 税 及 び 公 課 諸 負 担		1,157	514	1,123	489	1,204	416	1,147
建 物 費		976	1,283	1,183	940	1,151	1,089	1,078
自 動 車 費 及 び 農 機 具 費		13,008	10,665	12,902	9,256	12,583	8,551	13,984
生 産 管 理 費		267	177	319	70	314	111	313
労 働 費		11,317	10,506	10,906	9,524	10,179	9,565	9,530
直接労働費		10,732	10,272	10,422	9,296	9,612	9,328	9,034
間接労働費		585	234	484	228	567	237	486
費 用 合 計		54,750	43,181	55,588	39,744	54,184	39,418	56,097
10 ア ル 当 た り	物財費	43,433	32,675	44,682	30,220	44,005	29,853	46,567
	労働費	11,317	10,506	10,906	9,524	10,179	9,565	9,530
	費用合計	54,750	43,181	55,588	39,744	54,184	39,418	56,097
	副産物価額	198	80	462	86	199	99	272
	生産費	54,552	43,101	55,126	39,658	53,985	39,319	55,825
	支払利子	182	19	309	4	205	14	221
	支払地代	4,094	6,454	4,150	8,123	3,961	6,556	3,745
	支払利子・地代 算入生産費	58,828	49,574	59,585	47,785	58,151	45,889	59,791
	自己資本利子	1,864	2,191	1,739	2,132	1,783	1,738	2,104
	自作地地代	5,916	1,331	5,871	1,050	5,671	1,091	5,425
	資本利子・地代 全額算入生産費	66,608	53,096	67,195	50,967	65,605	48,718	67,320
10a 当たり収穫量(kg)		195	125	206	146	169	129	160
10a 当たり投下 労働時間(時間)		6.9	6.7	6.4	5.8	6.1	5.9	5.6
1経営体当たりの 作付面積(a)		408	575	416	500	448	567	502

注) 10aあたり収穫量(kg)は農林水産省「作物統計」、それ以外は農林水産省「大豆生産費調査」による。

物材費＝費用合計－労働費

参考資料

資料１ そばに関する資料

１ 群馬県そば生産の推移

年度	作付面積 ha	10 a 当たり 収量 kg	収穫量 t	(参 考) 全国		
				作付面積 ha	10 a 当たり 平均収量 kg	収穫量 t
S33	883	84	740	47,900	90	43,000
34	774	79	610	46,700	96	44,900
35	774	97	750	47,300	110	52,200
36	754	96	720	43,500	98	42,800
37	655	92	600	39,500	94	37,200
38	625	98	610	37,500	108	40,500
39	610	100	610	34,700	78	27,100
40	499	91	454	31,300	96	30,100
41	357	87	311	28,100	99	27,700
42	359	96	345	25,100	110	27,500
43	341	97	331	23,800	93	22,100
44	275	85	234	20,500	107	21,900
45	254	95	241	18,500	93	17,200
55	184	76	140	24,200	67	16,100
58	193	92	178	21,100	82	17,200
61	181	96	174	19,600	94	18,400
H1	201	100	201	25,900	79	20,500
4	222	105	233	24,200	90	21,700
7	225	96	216	22,600	93	21,100
10	281	60	169	34,400	52	17,900
13	313	94	294	41,800	65	26,000
14	343	...	...	41,400	65	25,400
15	377	...	...	43,500	65	26,800
16	394	...	...	43,500	49	20,400
17	400	...	...	44,700	73	31,200
18	368	...	...	44,800	77	33,000
19	357	...	...	46,100	68	26,300
20	344	...	...	47,300	58	23,200
21	338	...	...	45,400	40	15,300
22	356	106	377	47,700	62	29,700
23	389	78	303	56,400	57	32,000
24	431	91	392	61,000	73	44,600
25	445	65	289	61,400	54	33,400
26	448	92	412	59,900	52	31,100
27	467	95	444	58,200	60	34,800
28	485	85	412	60,600	48	28,800
29	518	88	456	62,900	55	34,400
30	558	89	497	63,900	45	29,000
R1	587	93	546	65,400	65	42,600
R2	587	83	487	66,600	67	44,800
R3	585	69	404	65,500	62	40,900
R4	582	80	466	65,600	61	40,000

注) 農林水産統計「作物統計」による。

※令和５年産については、令和６年３月現在公表されていない。

2 令和4年産そば（乾燥子実）の収穫量（全国農業地域別・都道府県別）

全国農業地域 ・ 都道府県	作付面積	10 a 当たり 収 穫 量	収 穫 量	前 年 産 と の 比 較						(参 考)	
				作 付 面 積		10 a 当たり 収 穫 量	収 穫 量		10 a 当たり 平均収量 対 比	10 a 当たり 平均収量	
				対 差	対 比		対 比	対 差			対 比
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	
全 国 (全国農業地域)	ha 65,600	kg 61	t 40,000	ha 100	% 100	% 98	t △ 900	% 98	% 105	kg 58	
	24,000	76	18,300	△ 300	99	107	1,000	106	107	71	
北海道	41,600	52	21,700	400	101	91	△ 1,900	92	104	50	
東北 道	17,900	41	7,250	300	102	67	△ 3,450	68	95	43	
東北 道	5,620	30	1,700	80	101	71	△ 650	72	75	40	
関東 道	12,300	81	9,920	0	100	133	2,440	133	123	66	
東海 道	518	39	203	△ 16	97	89	△ 33	86	105	37	
近畿 道	x	48	x	x	x	91	x	x	102	47	
中国 道	1,560	35	539	70	105	140	167	145	109	32	
四国 道	111	42	47	△ 8	93	91	△ 8	85	114	37	
九州 道	2,590	61	1,580	△ 50	98	85	△ 310	84	105	58	
沖縄 県	39	37	14	△ 7	85	51	△ 20	41	62	60	
(都道府県)											
北海道	24,000	76	18,300	△ 300	99	107	1,000	106	107	71	
青森 県	1,750	27	473	50	103	47	△ 496	49	69	39	
岩手 県	1,630	51	831	△ 30	98	60	△ 579	59	77	66	
宮城 県	629	30	189	8	101	115	28	117	130	23	
秋田 県	4,450	29	1,290	210	105	57	△ 870	60	69	42	
山形 県	5,570	42	2,340	140	103	63	△ 1,300	64	111	38	
福島 県	3,870	55	2,130	△ 40	99	93	△ 180	92	115	48	
茨城 県	3,450	87	3,000	20	101	145	940	146	138	63	
栃木 県	3,280	84	2,760	190	106	122	630	130	111	76	
群馬 県	582	80	466	△ 3	99	116	62	115	91	88	
埼玉 県	279	84	234	△ 52	84	156	55	131	145	58	
千葉 県	199	68	135	△ 7	97	158	46	152	151	45	
東京 都	3	68	2	0	100	170	1	200	151	45	
神奈 川 県	32	40	13	△ 1	97	118	2	118	98	41	
新潟 県	1,250	40	500	0	100	78	△ 138	78	100	40	
富山 県	547	36	197	3	101	53	△ 173	53	80	45	
石川 県	373	18	67	19	105	53	△ 53	56	75	24	
福井 県	3,450	27	932	60	102	75	△ 288	76	66	41	
山梨 県	179	68	122	△ 4	98	117	16	115	128	53	
長野 県	4,310	74	3,190	△ 150	97	132	690	128	125	59	
岐阜 県	341	34	116	△ 8	98	94	△ 10	92	92	37	
静岡 県	91	55	50	6	107	98	2	104	162	34	
愛知 県	22	35	8	1	105	130	2	133	140	25	
三重 県	64	45	29	△ 15	81	63	△ 27	52	98	46	
滋賀 県	561	55	309	△ 2	100	87	△ 46	87	96	57	
京都 府	141	32	45	15	112	78	△ 7	87	91	35	
大阪 府	x	68	x	x	x	162	x	x	170	40	
兵庫 県	196	40	78	△ 5	98	118	10	115	143	28	
奈良 県	27	47	13	0	100	112	2	118	134	35	
和歌 山 県	3	28	1	0	100	61	0	100	127	22	
鳥取 県	367	33	121	30	109	103	13	112	100	33	
島根 県	641	31	199	33	105	135	59	142	97	32	
岡山 県	174	47	82	2	101	134	22	137	121	39	
広島 県	314	39	122	6	102	244	73	249	134	29	
山口 県	64	23	15	△ 4	94	105	0	100	85	27	
徳島 県	42	43	18	△ 4	91	143	4	129	102	42	
香川 県	33	42	14	△ 5	87	131	2	117	140	30	
愛媛 県	32	44	14	1	103	51	△ 13	52	113	39	
高知 県	4	21	1	0	100	46	△ 1	50	68	31	
福岡 県	89	45	40	4	105	102	3	108	115	39	
佐賀 県	35	89	31	1	103	151	11	155	165	54	
熊本 県	151	74	112	△ 8	95	154	36	147	164	45	
大分 県	672	63	423	11	102	74	△ 139	75	94	67	
宮崎 県	201	30	60	△ 16	93	63	△ 44	58	79	38	
鹿児島 県	246	62	153	11	105	69	△ 59	72	103	60	
沖縄 県	1,200	63	756	△ 40	97	89	△ 124	86	109	58	
沖縄 県	39	37	14	△ 7	85	51	△ 20	41	62	60	
農政 局	12,400	80	9,970	0	100	131	2,440	132	123	65	
東海 農政局	427	36	153	△ 22	95	86	△ 35	81	95	38	
中国四国農政局	1,670	35	586	60	104	130	159	137	106	33	

注：1 「（参考）10 a 当たり平均収量対比」とは、10 a 当たり平均収量（直近7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値）に対する当年産の10 a 当たり収量の比率である。

2 全国農業地域別（都府県を除く。）の10 a 当たり平均収量は、各都府県の10 a 当たり平均収量に当年産の作付面積を乗じて求めた平均収獲量を全国農業地域別に積上げ、当年産の全国農業地域別作付面積で除して算出している。

3 令和4年産そば市町村別作付面積及び収穫量

市町村名	作付面積 (ha)	10a当たり収量 (kg)			収穫量 (t)
			田	畑	
前橋市	64	70	63	73	45
高崎市	16	119	100	125	19
桐生市	x	x	x	x	x
伊勢崎市	x	x	－	x	x
太田市	8	88	52	88	7
沼田市	26	69	65	69	18
館林市	x	x	x	x	x
渋川市	222	88	83	88	195
藤岡市	2	56	55	57	1
富岡市	2	70	－	70	1
安中市	13	54	50	54	7
みどり市	3	85	46	85	3
榛東村	14	93	84	95	13
吉岡町	x	x	－	x	x
上野村	0	57	－	57	0
神流町	0	65	－	65	0
下仁田町	0	57	－	57	0
南牧村	－	－	－	－	－
甘楽町	1	89	79	89	1
中之条町	40	50	47	50	20
長野原町	x	x	－	x	x
嬭恋村	－	－	－	－	－
草津町	－	－	－	－	－
高山村	32	56	x	56	18
東吾妻町	12	58	x	58	7
片品村	4	75	x	76	3
川場村	8	75	x	75	6
昭和村	10	70	x	70	7
みなかみ町	76	91	81	92	69
玉村町	x	x	x	－	x
板倉町	x	x	x	x	x
明和町	0	58	55	58	0
千代田町	0	69	66	69	0
大泉町	0	63	54	63	0
邑楽町	x	x	x	x	x
計	582	80	75	81	466

注) 農林水産統計市町村別データ

4 ソバ栽培生育調査結果

農業技術センター稲麦研究センター

1 供試系統

(春まき) H30～R3

品種名	育成地
キタワセソバ	北海道農業試験場

(秋まき) R4～

品種名	育成地
信濃1号	長野県野菜花き試験場

2 調査結果

昨期	供試 年次	播種期 月/日	発芽期 月/日	開花期 月/日	成熟期 月/日	生育 日数 日	草丈 cm	主茎 節数	第1分 枝数 本	倒伏 0-5	病害 0-5	虫害 0-5	全重 kg/10a	子実重 kg/10a	屑実重 kg/10a	子実重 歩合%	千粒重 g	容積重 g	検査 等級
	H30	4/4	4/13	5/9	6/6	63	77.3	7.2	3.8	0.0	0.0	0.0	176.4	64.8	16.6	80.3	32.5	489	規格外
春まき	R1	3/27	4/17	5/11	6/14	79	71.6	7.1	3.6	0.0	0.0	0.0	304.2	66.7	14.1	82.2	21.0	300	規格外
	R2	4/8	4/16	5/18	6/15	68	98.7	6.8	3.1	0.0	0.0	0.0	185.8	33.6	12.2	73.5	20.5	329	規格外
	R3	4/28	5/5	5/31	6/28	61	98.0	6.3	1.8	0.0	0.0	0.0	265.9	17.1	23.9	41.6	10.9	192	規格外
	平均	4/9	4/21	5/18	6/16	68	87.0	7.0	4.0	0.0	0.0	0.0	234.0	46.0	17.0	70.0	22.0	328	—
秋まき	R4	8/25	8/28	9/22	10/20	56	91.1	8.1	2.4	4.0	0.0	0.0	350.7	130.6	37.4	77.7	31.8	595	2等相当
	R5※	8/24	8/27	9/17	11/3	71	109.0	8.7	2.7	5.0	0.0	0.0	374.0	157.5	2.2	98.6	34.0	701	1等相当

耕種概要 栽植密度: 畝幅60cm、播種量: 0.6kg/a (※R5は0.7kg/a) 倒伏、病虫害: 0(無)～5(甚) 6段階評価

施肥量: N 0.2 , P0.3 , K0.2(kg/a)

収量及び千粒重: 水分16.0%換算

区制面積: 15m² 2区制 (R5は19.2m² 2区制)

資料２ ライスセンター、カントリーエレベーター、育苗センターの設置状況 (※所在地は設置年度によるもの)

１ ライスセンター（ＲＣ）設置状況

農業 事務 所名 区分	所 在 地	施 設 名	事 業 主 体 (旧農協名)	設 置 年 度	施 設 概 要				処 理 能 力				設 置 事 業 名
					乾燥方式	D S	ばら出荷 施設及び 出荷形態	プラント製造メーカー	面積(ha)		処 理 量 (t)		
									米	麦	乾 籾	麦	
中 部	前橋市 東大室町	荒砥東大室 R C	前橋市農協 (荒砥農協)	(S53 年度) H12 年度	連続流下式	140t (35t ×4 基)	フレコン	ヤンマー農機(株)	60	50	360	225	(第 2 次農業構造改善事業) 「群馬の水田農業」推進事業 ※処理能力欄「米は S53 当初計画値」、 「麦は H13 麦大豆推進システム推進事業(県 単)による増強時の計画値。
	前橋市 荒子町	荒砥 R C	前橋市農協 (荒砥農協)	S58 年度 S59 年度 (S62 年度) H 2 年度	連続流下式	900t (200t ×2 基) (50t ×10 基)	フレコン	井関農機(株)	320	420	1, 920	2, 200	(新農業構造改善前期対策事業) (新農業構造改善後期対策事業) 農業農村活性化農業構造改善事業 ※処理能力欄は H13 麦大豆推進システム推進 事業(県単)による増強時の計画値。
	前橋市 上佐鳥町	上川渕 R C	前橋市農協 (上川渕農協)	(S49 年度) H 5 年度 ＜H4 年度繰越＞	循環式	—	フレコン	井関農機(株)	160	230	960	1, 104	(第 2 次農業構造改善事業) 農業農村活性化農業構造改善事業
	前橋市 房丸町	南部 R C	前橋市農協 (前橋南部農協)	S60 年度 S61 年度 S62 年度	連続流下式	500t (50t ×10 基)	フレコン	井関農機(株)	200	200	1, 200	940	新農業構造改善後期対策事業
	前橋市 勝沢町	芳賀 R C	前橋市農協 (前橋芳賀農協)	H 3 年度 H 4 年度	連続流下式	300t (50t ×6 基)	フレコン	井関農機(株)	80	75	480	353	新農業構造改善後期対策事業
	前橋市 上泉町	桂萱 R C	前 橋 市 農 協 (前橋桂萱農協)	S62 年度	連続流下式	300t (50t ×6 基)	フレコン	井関農機(株)	220	200	1, 320	960	農業生産体質強化総合推進対策事業
	前橋市 上青梨子町	清里 R C	前橋市農協 (清里農協)	S56 年度	循環式	—	フレコン	井関農機(株)	20	20	149	105	第 2 次農業構造改善事業
	前橋市	元気ファーム 20 R C	農事組合法人 元気ファーム 20	H27 年度	循環式	—	フレコン	ヤンマーグリーン システム株式会社	70	100	304	508	強い農業づくり交付金 産地競争力強化対策事業
	富士見村 小暮	富士見 R C	前橋市農協 (富士見村農協)	S52 年度	連続流下式	60t (10t ×6 基)	フレコン	井関農機(株)	60	60	337	260	高能率集団営農推進対策事業
	粕川村 西田面	粕川 R C	前橋市農協 (粕川村農協)	(S56 年度) S59 年度 S60 年度 S61 年度	連続流下式	416t (52t ×8 基) (50t ×6 基)	フレコン	井関農機(株)	150	170	943	861	(新農業構造改善前期対策事業) 新農業構造改善前期対策事業

農業 事務所 名 区分	所 在 地	施 設 名	事 業 主 体 (旧農協名)	設 置 年 度	施 設 概 要				処 理 能 力				設置事業名
					乾燥方式	D S	ばら出荷 施設及び 出荷形態	プラント製造メーカー	面積(ha)		処 理 量 (t)		
									米	麦	乾 粉	麦	
中 部	吉岡町 漆原	駒寄ＲＣ	北群渋川農協 (吉岡町駒寄農協)	S48 年度	循環式 デポ(改造)	45t (3t ×5 基) (30t ×1 基)	フレコン (麦用)	(株)山本製作所	50	30	250	278	第２次農業構造改善事業
	吉岡町 下野田	明治ＲＣ	北群渋川農協 (吉岡町明治農協)	S56 年度	循環式	150t (30t ×5 基)	フレコン	ヤンマー農機(株)	50	50	250	—	新農業構造改善前期対策事業
	伊勢崎市 稲荷町	稲荷町水田 作機械化組 合ＲＣ	稲荷町水田作機 械化組合	(S57 年度) S59 年度	循環式	—	フレコン	大島農機(株)	30	45	165	247	(新地域農業生産総合振興対策事業) 新地域農業生産総合振興対策事業
	伊勢崎市 馬見塚町	三ツ橋農業 機械化組合 ＲＣ	三ツ橋農業機械 化組合	(S52 年度) S56 年度	循環式	—	フレコン	(株)山本製作所	50	70	275	385	(高能率集団営農推進対策事業) 地域農業生産総合振興対策事業
	伊勢崎市 上植木本町	北部ＲＣ	佐波伊勢崎農協 (伊勢崎市農協)	(S59 年度) (S60 年度) H22 年度	循環式	300t (50t ×6 基)	フレコン	井関農機(株)	172	145	660	653	(新農業構造改善前期対策事業) 産地収益力向上支援事業
	伊勢崎市 柴町	なんぶＲＣ	佐波伊勢崎農協 (伊勢崎市農協)	(S63 年度) H13 年度	連続流下式	500t (50t ×10 基)	フレコン	井関農機(株)	180	300	1,080	1,440	(新農業構造改善後期対策事業) 農 業 生 産 総 合 対 策 事 業
	赤堀町 西久保	麦バラ出荷 施設	佐波伊勢崎農協 (赤堀町農協)	H13 年度	—	—	フレコン	井関農機(株)	—	120	—	504	農 業 生 産 総 合 対 策 事 業
	(佐)東村 東小保方	あずまＲＣ	佐波伊勢崎農協	H7 年度	循環式	400t (50t ×8 基)	フレコン	ヤンマー農機(株)	90	90	432	432	地域農業基盤確立農業構造改善事業
	(佐)東村 東小保方	東小保方 ミニＲＣ	佐波伊勢崎農協 (佐波東村農協)	S57 年度	循環式	—	フレコン (麦用)	井関農機(株)	19	27	68	100	新地域農業生産総合振興対策事業
	境町 下湊名	さかいＲＣ	佐波伊勢崎農協 (群馬境町農協)	S62 年度	連続流下式	400t (50t ×8 基)	フレコン	ヤンマー農機(株)	100	100	480	460	新農業構造改善後期対策事業
中 部 農 業 事 務 所 管 内 計 (1 9 施設) 注 6									2,081	2,382	11,633	11,511	

農業 事務所 名 区分	所 在 地	施 設 名	事 業 主 体 (旧農協名)	設 置 年 度	施 設 概 要				処 理 能 力				設置事業名
					乾燥方式	D S	ばら出荷 施設及び 出荷形態	プラント製造メーカー	面積(ha)		処 理 量 (t)		
									米	麦	乾 粳	麦	
西 部	高崎市 浜川町	北部 R C	高崎市農協	S56 年度	連続流下式	300t (50t ×6 基)	フレコン	ヤンマー農機(株)	100	100	600	480	第 2 次 農 業 構 造 改 善 事 業
	高崎市 山名町	南部 R C	高崎市農協	H 3 年度	連続流下式	300t (50t ×6 基)	フレコン	ヤンマー農機(株)	70	70	420	384	農業生産体質強化総合推進対策事業
	高崎市 大八木町	中川 R C	高崎市農協 (高崎市中川農協)	(S54 年度) H13 年度	連続流下式	320t (50t ×6 基) (20t ×1 基)	フレコン	井関農機(株)	60	100	360	480	(新農業構造改善前期対策事業) 麦・大豆生産システム推進事業
	群馬町 保渡田	群馬 R C	はぐくみ農協 (群馬町農協)	S61 年度	連続流下式	400t (50t ×8 基)	フレコン	ヤンマー農機(株)	100	100	595	480	新農業構造改善後期対策事業
	吉井町 馬庭	吉井 R C	多野藤岡農協 (群馬吉井町農協)	S59 年度	連続流下式	300t (50t ×6 基)	フレコン	(株)佐竹製作所	100	80	525	330	新地域農業生産総合振興対策事業
	西 部 農 業 事 務 所 管 内 計 (5 施設)								430	450	2, 500	2, 154	
利 根 沼 田	川場村	川場村 R C	川場村	H26 年度	循環式	—	フレコン	沼田土建(株)	65	—	505	—	強い農業づくり交付金 産地競争力強化対策事業
	利 根 沼 田 農 業 事 務 所 管 内 計 (1 施設)								65	—	505	—	
東 部	邑楽町 狸塚	十三軒農業 機械管理組 合ミニ R C	十三軒農業機械 管理組合	S60 年度	循環式	14t (2. 8t ×5 基)	フレコン	(株)山本製作所	40	40	255	198	新農業構造改善前期対策事業
	邑楽町 藤川	高島 R C	邑 楽 館 林 農 協 (西邑楽農協)	H 元年度 H 2 年度	回分式	400t (50t ×8 基)	フレコン	金子農機(株)	150	120	900	690	新農業構造改善前期対策事業
	館林市 青柳町	青柳穀物乾 燥共同利用 組合 R C	青柳穀物乾燥共 同利用組合	S60 年度	循環式	16. 8t (4. 2t ×4 基)	フレコン	金子農機(株)	16	19	92	80	新地域農業生産総合振興対策事業
	東 部 農 業 事 務 所 管 内 計 (3 施設)								206	179	1, 247	968	
合													

- (注) 1. 全国米麦改良協会及び蚕糸園芸課資料による。
2. 設置年度及び事業名欄の上段括弧書きは施設の増強等前のものである。
3. 処理能力欄は事業計画の目標数値である。
4. ばら出荷施設の対象品目は記載無き場合には「米麦用」である。
5. 玄米で計画した施設は「玄米処理数値÷0.8」により乾粳処理数値に換算し、乾粳の処理能力欄に記載した。
6. 赤堀町農協の麦バラ出荷施設は R C の施設数合計、処理能力合計には算入していない。

2 カントリーエレベーター（ＣＥ）設置状況

農業 事務 所名 区分	所在地	施 設 名	事業主体 (旧農協名)	設 置 年 度	施 設 概 要							処 理 能 力				設置事業名
					乾燥方式	D S	貯蔵能力	貯蔵施 設 型	ばら出荷 施設の 出荷形態	食糧庁 指定 倉庫	プラント製造メーカ	面積(ha)		処 理 量 (t)		
												米	麦	乾 粳	麦	
中 部	前橋市 小島田町	木瀬C E	前橋市農協 (木瀬農協)	S49年度 S51年度 (S59年度) S63年度	連続送り式	800t (50t ×16基)	2,000t (250t ×8基)	二 重 鉄板製 サイロ	フレコン 純ﾊﾞﾗ 併用	○	ヤンマー農機(株)	320	380	1,600	1,824	第2次農業構造 改 善 事 業 新地域農業生産 総合振興対策事業 農業生産体質強化 総合推進対策事業
	宮城村 鼻毛石	JA 宮城村 C E	前橋市農協 (宮城村農協)	H 2 年 度 ＜H元年度繰越＞	連続流下式	500t (50t ×10基)	1,800t (250t ×6基) (300t ×1基)	二 重 鉄板製 サイロ	フレコン 純ﾊﾞﾗ 併用	○	(株)佐竹製作所	300	180	1,350	756	農業生産体質強化 総合推進対策事業
	玉村町 福島	玉村C E	佐波伊勢崎 農協	H14 年 度 ＜H15年度繰越＞	連続流下式	700t (50t ×14基)	3,000t (300t ×10基)	二 重 鉄板製 サイロ	フレコン 純ﾊﾞﾗ 併用	○	井関農機（株）	469	722	3,097	3,721	生産振興総合対策 農業生産総合対策 事業
	中 部 農 業 事 務 所 管 内 計 (3施設)											1,089	1,282	6,047	6,301	
西 部	高崎市 矢島町	東部C E	高崎市農協	S58年度 S59年度	連続送り式	600t (50t ×12基)	2,500t (250t ×10基)	二 重 鉄板製 サイロ	フレコン 純ﾊﾞﾗ 併用	○	ヤンマー農機(株)	300	300	1,800	1,440	新農業構造改善 前 期 対 策 事 業
	高崎市 下滝町	東南部C E	高崎市農協	S61年度	連続送り式	700t (50t ×14基)	2,500t (250t ×10基)	二 重 鉄板製 サイロ	フレコン 純ﾊﾞﾗ 併用	○	ヤンマー農機(株)	313	300	1,800	1,440	新地域農業生産 総合振興対策事業
	藤岡市 下栗須	北部C E	多野藤岡農協 (藤岡市農協連合会)	S62年度	連続送り式	600t (50t ×12基)	2,000t (250t ×8基)	二 重 鉄板製 サイロ	フレコン 純ﾊﾞﾗ 併用	○	ヤンマー農機(株)	250	200	1,415	1,195	農業生産体質強化 総合推進対策事業
	藤岡市 矢場	南部C E	多野藤岡農協 (藤岡市農協連合会)	H3年度 ＜H2年度繰越＞	循環式	600t (50t ×12基)	2,400t (300t ×8基)	二 重 鉄板製 サイロ	フレコン 純ﾊﾞﾗ 併用	○	ヤンマー農機(株)	330	380	1,195	1,415	農業生産体質強化 総合推進対策事業
	安中市 東上磯部	JA 碓氷安 中C E	碓氷安中農協	H4年度 H5年度	連続送り式	500t (50t ×10基)	1,500t (250t ×6基)	二 重 鉄板製 サイロ	フレコン 純ﾊﾞﾗ 併用	○	ヤンマー農機(株)	250	150	1,125	675	農業農村活性化 農業構造改善事業
	西 部 農 業 事 務 所 管 内 計 (5施設)											1,443	1,330	7,335	6,165	

農業 事務 所名 区分	所在地	施 設 名	事業主体 (旧農協名)	設 置 年 度	施 設 概 要							処 理 能 力				設置事業名
					乾燥方式	D S	貯蔵能力	貯蔵施 設 型	ばら出荷 施 設 の 出荷形態	食糧庁 指定 倉庫	プラント製造メーカー	面積(ha)		処 理 量 (t)		
												米	麦	乾 粳	麦	
東 部	太田市 強戸	北部C E	太田市農協 (太田市中心 農協)	(S60年度) H元年度	連続流下式	500t (50t ×10基)	2,500t (250t ×10基)	二 重 鉄板製 サイロ	フレコン 純ﾊﾞﾗ 併用	○	ヤンマー農機(株)	340	300	1,500	900	新地域農業生産 総合振興対策事業 農山村地域活性化 緊急特別対策事業
	太田市 福沢	南部C E	太田市農協	S63年度	連続流下式	500t (50t ×10基)	2,500t (250t ×10基)	二 重 鉄板製 サイロ	フレコン 純ﾊﾞﾗ 併用	○	井関農機(株)	350	340	1,200	700	農業生産体質強化 総合推進対策事業
	新田町 金井	JA 新田郡 C E	新田みどり 農協 (新田町農協)	H元年度	連続流下式	700t (50t ×14基)	2,940t (250t ×8基) (300t ×2基) (85t ×4基)	二 重 鉄板製 サイロ	フレコン 純ﾊﾞﾗ 併用	○	(株)佐竹製作所	350	320	1,200	1,000	農業生産体質強化 総合推進対策事業
	館林市 当郷町	東部C E	邑楽館林農協 (館林市農協)	H5年度	連続流下式	900t (50t ×18基)	3,000t (250t ×12基)	二 重 鉄板製 サイロ	フレコン 純ﾊﾞﾗ 併用	○	(株)佐竹製作所	520	200	2,496	900	先進的農業生産 総合推進対策事業
	明和町 南大島	明和C E	邑楽館林農協 (館林市農協)	S63年度 H元年度	連続流下式	720t (60t ×12基)	3,000t (250t ×12基)	二 重 鉄板製 サイロ	フレコン 純ﾊﾞﾗ 併用	○	(株)佐竹製作所	250	200	1,250	900	新農業構造改善 後 期 対 策 事 業
	板倉町 板倉	JA 群馬板 倉C E	邑楽館林農協 (群馬板倉農 協)	H6年度	常温除湿	—	2,000t (50t ×55機)	角 形 ビ ン	フレコン 純ﾊﾞﾗ 併用	○	ヤンマー農機(株)	330	50	3,874	288	地 域 連 携 確 立 農業構造改善事業
	千代田町 上五箇	富永C E	邑楽館林農協 (西邑楽農協)	S63年度 H元年度	連続流下式	500t (50t ×10基)	2,000t (250t ×8基)	二 重 鉄板製 サイロ	フレコン 純ﾊﾞﾗ 併用	○	(株)佐竹製作所	250	265	1,360	1,485	農業農村活性化 農業構造改善事業
	邑楽町 篠塚	長柄C E	邑楽館林農協 (西邑楽農協)	H2年度	連続流下式	700t (50t ×14基)	2,520t (315t ×8基)	二 重 鉄板製 サイロ	フレコン 純ﾊﾞﾗ 併用	○	(株)佐竹製作所	300	360	1,218	1,515	農業生産体質強化 総合推進対策事業
	東 部 農 業 事 務 所 管 内 計 (8施設)											2,690	2,035	14,098	7,688	
合																

(注) 1, 全国米麦改良協会及び蚕糸園芸課資料による。 2, 設置年度及び事業名欄の上段括弧書きは施設の増強等前のものである。 3, 処理能力欄は事業計画の目標数値である。
4, ばら出荷施設の対象品目は米麦用である。 5, 玄米で計画した施設は「玄米処理数値÷0.8」により乾粳処理数値に換算し、乾粳の処理能力欄に記載した。

3 水稲共同育苗施設設置状況

農業 事務 所別 区分	所在地	事業主体 (旧農協名)	設置年度	プラント製造メーカー	受益面積 (ha)	育苗能力 (箱数) ＜令和2年度実績＞	設置事業名
中部	前橋市 荒子町	前橋市農協 (荒砥農協)	(S56 年) H22 年度	井関農機(株)	400	100,000 ＜79,830＞	新農業構造改善前期対策事業
	前橋市 上泉町	前橋市農協 (前橋桂萱農協)	S63 年度	井関農機(株)	100	33,000 ＜47,744＞	農業生産体質強化総合推進対策事業
	前橋市 房丸町	前橋市農協 (前橋南部農協)	H2 年度	井関農機(株)	100	30,000 ＜37,453＞	新農業構造改善後期対策事業
	北橋村 小室	赤城橋農協 (北橋農協)	S60 年度	久保田鉄工(株)	173	40,000 ＜35,900＞	新地域農業生産総合振興対策事業
	赤城村 樽	赤城橋農協 (横野農協)	H3 年度	(株)クボタ	0	23,000	農業生産体質強化総合推進対策事業
	富士見村 時沢	前橋市農協 (富士見村農協)	S50 年度	久保田鉄工(株)	100	30,000 ＜36,314＞	高能率稲麦作団地育成対策事業
	大胡町 河原浜	前橋市農協 (大胡町農協)	(S60 年) H10 年度	(株)クボタ	50	30,000 ＜31,720＞	(農村地域定住促進対策事業) 自己資金により増強
	粕川村 西田面	前橋市農協 (粕川村農協)	S60 年度	井関農機(株)	100	33,000 ＜39,709＞	新農業構造改善前期対策事業
	渋川市 八木原	北群渋川農協 (渋川市古巻農協)	S60 年度	久保田鉄工(株)	70	21,000	新農業構造改善前期対策事業
	吉岡町 大久保	北群渋川農協	H9 年度	(株)クボタ	352	81,000 ＜69,232＞	農業生産体制強化総合推進対策事業
	伊勢崎市 稲荷町	稲荷町水田作機 械化組合	H4 年度	ヤンマー農機(株)	49	14,700 ＜6,400＞	先進的農業生産総合推進対策事業
	境町 下湊名	佐波伊勢崎農協 (群馬境町農協)	H2 年度	井関農機(株)	100	33,000 ＜9,300＞	新農業構造改善前期対策事業
	玉村町 福島	佐波伊勢崎農協 (玉村町農協)	S51 年度	井関農機(株)	200	60,000 ＜42,701＞	高能率集団営農推進対策事業
	中部農業事務所管内計（13施設）				1,764	528,700 ＜436,303＞	
西部	高崎市 矢中町	矢中町育苗組合	S53 年度	井関農機(株)	21	8,800 ＜3,020＞	水稲共同育苗施設設置事業
	高崎市 大八木町	高崎市農協 (高崎市中川農協)	(S53 年) S55 年度	井関農機(株)	500	16,500	(水稲共同育苗施設設置事業) 新農業構造改善前期対策事業
	高崎市 浜川町	高崎市農協	H5 年度	ヤンマー農機(株)	200	66,000 ＜85,965＞	先進的農業生産総合推進対策事業
	倉渕村 川浦	はぐくみ農協 (倉渕村農協)	H5 年度	(株)クボタ	70	17,500 ＜17,715＞	先進的農業生産総合推進対策事業

農業 事務 所別 区分	所在地	事 業 主 体 (旧農協名)	設置年度	プラント製造メーカー	受 益 面 積 (ha)	育 苗 能 力 (箱 数) ＜令和２年度実績＞	設置事業名
西 部	群馬町 保渡田	はぐくみ農協 (群馬町農協)	(S60 年) H12 年度	ヤンマー農機(株)	216	63,600 ＜39,647＞	(新農業構造改善後期対策事業) 農業生産総合対策事業
	藤岡市 神田	多野藤岡農協 (藤岡市農協)	S60 年度	井関農機(株)	20	6,600	水田利用再編特別対策事業
	藤岡市 神田	多野藤岡農協 (藤岡市農協)	H 元年度	井関農機(株)	100	33,000	農業生産体質強化総合推進対策事業
	吉井町 馬庭	多野藤岡農協 (群馬吉井町農協)	S59 年度	井関農機(株)	80	26,400 ＜59,555＞	新地域農業生産総合振興対策事業
	富岡市 相野田	相野田 たまねぎ組合	S53 年度	久保田鉄工(株)	6	1,500 ＜1,446＞	地域農政特別対策事業
	安中市 原市	碓氷安中農協 (安中市農協)	(S53 年) H2 年度	三菱農機(株)	150	49,500 ＜21,826＞	(水稻共同育苗施設設置事業) 構造改善推進モデル集落整備事業
	西部農業事務所管内計（１０施設）				1,363	289,400 ＜229,174＞	
吾 妻	中之条町 平	あがつま農協	H8 年度	ヤンマー農機(株)	250	55,000 ＜68,762＞	地域連携確立農業構造改善事業
	吾妻農業事務所管内計（１施設）				250	55,000 ＜68,762＞	
利 根 沼 田	沼田市 下沼田町	利根沼田農協	H5 年度	(株)山本製作所	200	44,000 ＜74,627＞	農業農村活性化農業構造改善事業
	新治村 羽場	利根沼田農協	H9 年度	(株)クボタ	276	69,000 ＜61,179＞	農業生産体制強化総合推進対策事業
	白沢村 上古語父	上古語父 諏訪水稻組合	S62 年度	(株)栗原種苗	7	1,750	新農業構造改善後期対策事業
	利根沼田農業事務所管内計（３施設）				483	114,750 ＜135,806＞	
東 部	新里村 武井	新田みどり農協 (ぐんま新里村農協)	H5 年度	井関農機(株)	100	32,740 ＜25,455＞	新農業構造改善後期対策事業
	黒保根村 水沼	黒保根水稻栽培 協業組合	(S51 年) H7 年度	(株)クボタ	50	10,000 ＜12,012＞	(山村振興特別対策事業) 特定農山村地域活性化対策事業
	太田市 新野町	太田市農協	S56 年度	井関農機(株)	稚苗 100 中苗 100	60,000 ＜25,841＞	地域農業生産総合振興対策事業
	千代田町 上五箇	邑楽館林農協 (富永農協)	H3 年度	(株)クボタ	100	25,000 ＜34,405＞	農業農村活性化農業構造改善事業
	東部農業総合事務所管内計（４施設）				450	127,740 ＜97,713＞	
合 計（３１施設）					4,307	1,096,590	

(注) １，蚕糸園芸課資料による。
２，設置年度及び事業名欄の上段括弧書きは施設の増強等前のものである。
３，受益面積及び育苗能力は事業計画の目標数値である。

資料3 種子の生産状況及び品種情報について

1 令和5産種子生産実績

(1) 水稻種子 単位: 20kg袋

種類	品種	契約数量	生産実績	対比	生産実績内訳		合格種子	備考
		A	B	B/A	合格種子	マル準種子・転用	(%)	
水稻うるち	コシヒカリ	4,300	4,296	99.9%	4,296		100.0%	
	ひとめぼれ	3,000	2,572	85.7%	2,572		100.0%	
	あさひの夢	11,000	10,542	95.8%	1,550	8,992	14.7%	
	ゆめまつり	350	350	100.0%		350	0.0%	
	いなほっこり	170	200	117.6%		200	0.0%	
水稻もち	群馬糯5号	500	322	64.4%		322	0.0%	
	まんぷくもち	112	91	81.3%	91		100.0%	
計		19,432	18,373	94.6%	8,509	9,864	46.3%	

(2) 麦種子 単位: 小麦30kg袋、大麦25kg袋

種類	品種	契約数量	生産実績	対比	生産実績内訳		合格種子	備考
		A	B	B/A	合格種子	マル準種子	(%)	
小麦	さとのそら	8,750	8,406	96.1%		8,406	0.0%	
	つるびかり	2,300	2,224	96.7%	573	1,651	25.8%	
	きぬの波	550	585	106.4%		585	0.0%	
	ゆめかおり	750	813	108.4%	195	618	24.0%	
	計	12,350	12,028	97.4%	768	11,260	6.4%	
二条大麦	サチホールデン	1,300	1,300	100.0%	1,300		100.0%	
	アスカールデン	2,200	2,200	100.0%	600	1,600	27.3%	
	計	3,500	3,500	100.0%	1,900	1,600	54.3%	
六条大麦	シュンライ	700	746	106.6%	293	453	39.3%	
	計	700	746	106.6%	293	453	39.3%	
合計		16,550	16,274	98.3%	2,961	13,313	18.2%	

(3) 大豆種子 単位: 30kg袋

種類	品種	契約数量	生産実績	対比	生産実績内訳		合格種子
		A	B	B/A	合格種子	マル準種子	(%)
大豆	里のほほえみ	200	372	186.0%		370	0.0%

2 令和6年産種子生産計画

(1) 水稻種子 単位: 袋/20kg

種類	品種	採種計画		契約数量(kg)
		面積(a)	数量(袋)	
水稻うるち	コシヒカリ	2,376	3,800	76,000
	ひとめぼれ	1,626	2,600	52,000
	あさひの夢	5,001	8,000	160,000
	ゆめまつり	625	1,000	20,000
	いなほっこり	107	170	3,400
水稻もち	群馬糯5号	375	600	12,000
合計		10,110	16,170	323,400

(2) 麦種子 単位:小麦30kg袋、大麦25kg袋

種類	品種	採種計画		契約数量(kg)
		面積(a)	数量(袋)	
小麦	さとのそら	8,700	8,700	261,000
	つるびかり	2,300	2,300	69,000
	きぬの波	400	400	12,000
	ゆめかおり	850	850	25,500
	計	12,250	12,250	367,500
二条大麦	サチホコ ⁺ ールデン	1,200	1,200	30,000
	アスカ ⁺ ールデン	1,900	1,900	47,500
	計	3,100	3,100	77,500
六条大麦	シュンライ	850	850	21,250
	計	850	850	21,250
合計		16,200	16,200	466,250

(3) 大豆種子 単位:袋/30kg

種類	品種	採種計画		契約数量(kg)
		面積(a)	数量(袋)	
大豆	里のほほえみ	500	200	6,000

3 群馬県職務育成品種登録及び許諾契約状況

1 水稻

名 称	登録年月日	育成者権 消滅日	登録(継続)期間	登録番号	許諾相手先	許諾状況
舞 風	2011/3/9	2036/3/9	2024/3/9	第20531号	群馬県米麦大豆振興協会	2024/4/1～ 2027/3/31

2 小麦

名 称	登録年月日	育成者権 消滅日	登録(継続)期間	登録番号	許諾相手先	許諾状況
さとのそら	2010/10/13	2035/10/13	2027/10/13	第19991号	群馬県米麦大豆振興協会 (公社)茨城県農林振興公社 (公社)栃木県米麦改良協会 埼玉県米麦改良協会 (一社)岐阜県米麦改良協会	2024/4/1～ 2027/3/31

資料 4 主要農作物獎勵品種特性表

1 水陸稻奨励品種特性表

種	栽培	早晩	品 種 名	来 歴 育成場所 育 成 年	採用 年次	栽培 面積 (令和5) ha	供試 年次	分	播	田	出	成	穂	穂	芒の 多・少・ 長短	草 先 色	穂 発 芽 性	脱 粒 性	玄米の 光沢・ 色沢	心白の 多少	腹白の 多少	玄 米		10a当り収量		食 質	食 味	諸 抵 抗 性						綿 葉 枯 病					
																						千粒重 g	容積重 g/L	精穀重 kg	玄米重 kg			葉いもち	穂白枯	紋枯	倒伏(寒)	耐冷性	耐熱性						
適地及び栽培上の注意																																							
水稲	うる	高冷	極早	ユ メ コ ガ ネ	ゆきひかり ×ハツコガネ 青森県農試藤坂支場 平 6 年	平 7	—	平 15 19	早 4 ・ 19	4 ・ 20	5 ・ 20	7 ・ 29	9 ・ 14	74	18.5	536	少・短	黄白	やや難	難	中 ・ 中	微	微	21.1	839	962	754	上 の 下	中 の 上	中	中	—	—	極強	やや強	—	標準800m以上の高冷地帯に適する。 耐冷性は“極強”であるが、不順な天候下では水管理などで適切な対応を行う。		
		地	早早	ふ ゆ げ し き	山形40号 ×青系113号 青森県農試 平 14 年	平 15	—	平 15 19	早 4 ・ 期	4 ・ 20	5 ・ 20	8 ・ 5	9 ・ 23	76	17.6	535	中・短	黄白	偏重	難	難	中 ・ 中	微	微	20.6	829	1,000	769	上 の 下	上 の 中	やや強	やや強	—	—	極強	強	—	標準700～850mの高冷地帯に適する。 耐冷性は“極強”であるが、不順な天候下では水管理などで適切な対応を行う。	
		山間地	中早	ひとめばれ	コシヒカリ ×初星 宮城県古川農試 平 3 年	平 3	1,730	平 14 18	早期 4 ・ 20	4 ・ 20	5 ・ 20	8 ・ 6	9 ・ 19	78	18.6	477	やや少・短	黄白	偏数	難	難	淡 ・ 中	少	無	22.0	836	752	571	上 の 下	上 の 上	やや弱	中	やや弱	—	極強	やや強	やや弱	標準200～700mの地帯に適する。 平坦地帯では6月上旬までに移植可能なところとする。平坦・中間地帯では稈が伸び倒れやすいので基肥量を控え、追肥（穂肥等）で調節する。	
	ち	山間地	中早	コ シ ヒ カ リ	農林22号 ×農林1号 福井県農試 昭 31 年	昭 48	3,260	平 14 18	早期 4 ・ 20	4 ・ 20	5 ・ 20	8 ・ 12	9 ・ 22	91	18.3	441	無	黄白	中間	難	難	中 ・ 中	無	無	21.6	831	856	645	上 の 下	上 の 上	中	中	強	中	—	強	やや弱	やや弱	標準200～500mの中・山間地帯並びに平坦部では5月末日までに移植ができる地帯に適する。 平坦地での栽培では稈が伸び倒伏し易いので施肥量等に十分注意し、倒伏防止、品質向上に努める。いもち病、綿葉枯病には弱いので多発地帯では栽培を避けるか、防除に努める。
		平坦	中晩	〔 認 定 〕 にじのきらめき	西南136号 (なつほのか) ×北陸223号 中日本農業研究セナ- 平成30年	令 3	550	令 1 5	早 通 期 26	5 ・ 26	6 ・ 24	8 ・ 20	9 ・ 8	74	19.9	366	極小・短	黄白	偏数	難	難	淡 ・ 良	無	稀	23.7	853	692	529	中 の 上	上 の 中	中	中	やや弱	やや弱	—	弱	強	極強	標準200m以下の平坦地帯に適する。移植が遅い場合や、低温寡照等の気象条件によっては成熟期が遅延し、外観品質が劣る傾向にある。耐倒伏性は強いが、食味の低下も懸念されるため、地力に応じた適切な肥培管理を行う。
		地	中晩	〔 認 定 〕 いなほっこり	中国186号 ×中国190号 西日本農業研究セナ- 平 29 年	平 29	50	令 1 5	早 通 期 26	5 ・ 26	6 ・ 24	8 ・ 22	9 ・ 8	84	19.1	375	稀・極短	黄白	中間	やや難	難	中 ・ 良	無	稀	21.9	853	658	493	上 の 中	上 の 中	やや強	やや強	中	—	やや強	やや強	極強	標準200m以下の平坦地帯に適する。移植が遅い場合や、低温寡照等の気象条件によっては成熟期が遅延し、外観品質が劣る傾向にある。また、「あさひの夢」より長稈のため、倒伏の危険性を高めるので基肥の多用と早期追肥を避ける。	
		平	中晩	あ さ ひ の 夢	愛知70号(あいちのかおり)×「愛知56号(月の光)」×愛知65号」F1 愛知県農総試 平 8 年	平 12	5,740	令 1 5	早 通 期 26	5 ・ 26	6 ・ 24	8 ・ 22	9 ・ 8	74	21.0	348	稀・短	黄白	偏重	やや難	難	淡 ・ 良	無	稀	22.5	862	646	500	上 の 中	上 の 中	やや強	中	強	—	弱	強	極強	標準100m以下の平坦地帯に適する。 熟期は「中生の晩」なので収量、品質を確保するために中苗の移植は6月25日までを目安とする。強稈で倒伏しにくいのが、良質、良食味生産のために多肥栽培は避ける。 ※晚植(7月5日植)のデータは参考値	
担地	中晩	ゆ め ま つ り	愛知93号(あさひの夢)×愛知96号(大地の風) 愛知県農総試 平 19 年	平 22	1,230	令 1 5	早 通 期 26	5 ・ 26	6 ・ 24	8 ・ 29	9 ・ 15	75	21.0	352	稀・極短	黄白	偏重	難	難	淡 ・ 良	無	稀	22.6	856	668	511	上 の 中	上 の 中	やや強	中	強	—	—	強	極強	標準100m以下の平坦地帯に適する。 安定的な収量を得るため中苗の移植は6月25日までを目安とする。ツマグロヨコバイ、セジロウカに抵抗性を持つが、発生予察情報に留意して、適切な防除に努める。 ※晚植(7月5日植)のデータは参考値			
新形 質米	中晩	〔 認 定 〕 はいほう	朝の光×奥羽359号(恋あずさ) 群馬県農技セ 平 22 年	平 23	—	平 22 24	普通 期 26	5 ・ 25	6 ・ 25	8 ・ 26	9 ・ 9	10	87	20.5	383	稀・短	黄白	中間	中	難	中 ・ 良	無	微	20.9	815	775	560	—	—	強	—	—	—	—	中	弱	標準200m以下の平坦地帯に適する。 綿葉枯病に弱いので発生地帯は避けるか、防除に努める。巨大胚米であり、用途が限定されるので契約栽培とする。		

種 類	栽培 性	早晩 性	品 種 名	来 歴 育成場所 育 成 年	採用 年次	栽培 面積 (令和5) ha	供試 年次	区 分	播 種 期	田 植 期	出 穂 期	成 熟 期	稈 長 cm	穂長 cm	穂 数 本/m ²	芒 の 多 少 ・ 長短	ふ 先 色	草 型	穂 発 芽 性	脱 粒 性	玄米 の 光沢 ・ 色沢	心 白 の 多 少	腹 白 の 多 少	玄 米		10a当り収量		品 質	食 味	諸 抵 抗 性						適地及び栽培上の注意		
																								千 粒 重 g	容 積 重 g/ℓ	精 穀 重 kg	玄 米 重 kg			薬 い も ち	穂 白 米 枯	白 葉 枯	紋 倒 伏 バ	耐 冷 (寒) 性	耐 倒 伏 性		綿 葉 枯 病	
水稲	中山 間地	中早	(認 定) 五 百 万 石	菊水×新200号 新潟県農試 昭 32 年	平 7	—	平 14 18	早 期	4 ・ 20	5 ・ 20	8 ・ 1	9 ・ 14	79	19.1	330	無	淡 黄	偏 重	難	難	淡 給 ・ 良	多	無	22.9	823	585	439	上 の 下	—	中	やや 弱	やや 弱	—	弱	やや 弱	弱	標高350～600mの中・山間地帯に適する。 酒米なので契約栽培とする。障害型冷害に弱いので、冷夏では水管理 等による適切な対応が不可欠である。晩期追肥は蛋白質含量を高め、 醸造適性を低下させるので避ける。	
酒造 好適 米	平坦 地	中晩	(認 定) 若 水	あ系酒101 ×五百万石 愛知県農総試 昭 38 年	平 元	—	平 22 26	普 通 期	5 ・ 25	6 ・ 25	8 ・ 25	10 ・ 10	84	20.5	354	少 ・ 中	黄 白	偏 重	難	難	淡 給 ・ 良	多	少	25.2	840	715	529	上 の 下	—	中	やや 弱 中	やや 弱	やや 弱	—	極 弱	やや 弱	やや 弱	標高200m以下の平坦地帯に適する。 繭葉枯病に弱いので常発地は避けるか、防除に努める。酒米なので契 約栽培とする。晩期追肥は蛋白質含量を高め、醸造適性を低下させる ので避ける。
			(認 定) 舞 風	群馬酒23号 (特ビ 別) ×佐賀酒12号 (さがの華) 群馬県農技セ 平 20 年	平 21	—	平 22 26	普 通 期	5 ・ 25	6 ・ 25	8 ・ 24	10 ・ 11	82	22.5	338	少 ・ 中	黄 白	偏 重	やや 難	難	淡 給 ・ 良	多	少	24	835	779	587	上 の 下	—	中	強	—	—	—	やや 弱	極 強	強	標高200m以下の平坦地帯に適する。 酒米なので契約栽培とする。晩期追肥は蛋白質含量を高め、醸造適性 を低下させるので避ける。
水稲	高冷 地	早早	(認 定) タ ツ ミ モ チ	いもちしらず ×ふ系35号 青森県農試藤坂支場 昭 40 年	昭 59	—	平 15 18	早 期	4 ・ 19	5 ・ 20	8 ・ 2	9 ・ 18	83	17.5	526	無	褐	中 間	やや 易	難	乳 白 ・ 良	—	—	19.9	826	872	655	上 の 上	上 の 下	やや 強	やや 強	弱	やや 弱	強	極 強	中 —	標高700m以上の高冷地帯に適する。 稈質が柔らかく倒伏しやすいので施肥量は少なめとする。	
	山間 地	早晩	(認 定) ヒメノモチ	大系227 ×コガネモチ 東北農試 昭 47 年	昭 59	—	平 11 15	早 期	4 ・ 20	5 ・ 20	7 ・ 31	9 ・ 14	80	18.6	384	無	白	偏 重	易	難	乳 白 ・ 良	—	—	22.2	837	639	507	中 の 下	上 の 中	やや 強	やや 強	中	強	強	中 弱	標高250～700mの中・山間地帯に適する。 耐倒伏性は強くないので基肥は控え目とする。穂発芽が“易”であ り、収穫後の降雨に注意する。		
もち	中早 地		まんぶくもち	越南糯144号 ×ふくひびき 福井県農試 平 19 年	平 19	20	平 14 18	早 期	4 ・ 19	5 ・ 20	8 ・ 5	9 ・ 20	71	17.7	330	稀 ・ 少	褐	偏 重	中	難	乳 白 ・ 良	—	—	22.1	826	743	571	中 の 下	上 の 中	やや 強	やや 強	弱	強	—	中	やや 強	弱	標高250～600mの中・山間地帯に適する。 移植期は、6月上旬までとし、極端な遅植えは、成熟期が遅延するこ とから避ける。基肥施用量は、耐倒伏性は強いが「ヒメノモチ」と同 程度とする。ふ先色は、成熟期頃になると判別しにくくなる。
水稲 もち	平坦 地	中晩	群 馬 糯 5 号	愛知37号C(青い空)×マンゲ ツモチ 群馬県農総試 平 4 年	平 5	130	平 14 18	普 通 期	5 ・ 26	6 ・ 25	8 ・ 22	10 ・ 10	83	20.9	433	少 ・ 中	赤	偏 数	やや 難	難	乳 白 ・ 良	—	—	20.2	816	762	551	上 の 下	上 の 下	やや 強	中	やや 弱	やや 強	—	—	中	極 強	標高350m以下の地帯に適する。 耐倒伏性はあまり強くないので基肥は控えめとする。セジロウカに 対して弱いので必要に応じて防除する。また、白葉枯病に弱いので常 発地帯での栽培は避ける。
陸稲 もち	平坦地 (普通型)	早	(認 定) ト ヨ ハ タ モ チ	石系201号 (かけ苅) ×ワタベハタモチ 茨城県農試 昭 60 年	昭 60	—	平 9 11 14 15	—	5 ・ 15	—	8 ・ 6	9 ・ 16	78	18.5	272	稀 ・ 短	紫	中 間	易	難	乳 白 ・ 中	—	—	20.0	808	290	210	中 の 下	中 の 上	強	強	強	中	—	—	強	—	標高700m以下の平坦・中・山間地帯に適するが、高冷地は不適地であ る。 や少肥条件では、能力を十分に発揮できないので注意する。株枯病 (陸稲馬鹿稲病)に強くないので種子消毒を必ず実施する。穂発芽性 が“易”であり、収穫後の降雨に注意する。

(注) 水稲の栽培面積は、農林水産統計 令和5年度水稲の作付面積（予実用）を基に作付比率（水稲共済・一体化データに基づく推計値）から算出し、ラウンドした数値。

2 麦類奨励品種特性表

種 類	早 晩 性	品 種 名	来 歴 育成場所 育 成 年	採用 年 次	栽培 面積 (令和5) ha	播 種 年 次	供 試 期	出 穂 期	成 熟 期	稈 長 cm	穂 長 cm	穂 数 本/m ²	芒 の 長 短	株 の 開 閉	穂 発 芽 性	脱 粒 性 度	玄 麦			硝 子 率 質 の 硬軟	品 質	諸 抵 抗 性										適地及び栽培上の注意		
																	千 粒 重 g	容 積 重 g/ℓ	収 量 kg/10a			黒 錆 小 錆	赤 錆 うどん こ	赤 か び	縞 萎 縮	斑 萎 縮	凍 霜 害	耐 寒 雪 性	耐 肥 性	耐 倒 伏 性				
小 麦	早	さ と の そ ら	『東山25号(しゅんよう)×西海168号(きぬいろは)』F1 ×ニシカゼコムギ 群馬県農技セ 平 20 年	平 21	3,870	令 1 5	11 ・ 16	4 ・ 18	6 ・ 6	84	8.7	542	中	中	難	中	Ⅳ	38.9	809	405	軟	上	—	強	中	—	強	—	や や 強	—	—	強	作付けは平坦地帯に適する。播性がⅣであることから山間地域以上も対象とする。うどんこ病等主要病害には強いが、赤かび病抵抗性は中程度なので必要に応じて適切な防除を行う。	
	早	つ る び か り	関東100号(ﾊﾞﾝﾄ'ｸﾞﾙ)× 関東107号 群馬県農試 平 7 年	平 9	930	令 1 5	11 ・ 16	4 ・ 17	6 ・ 7	86	9.0	532	中	やや 閉	難	中	Ⅱ	35.6	817	468	中	上	—	強	やや 弱	中	—	やや 強	—	や や 弱	弱	強	強	作付けは平坦地帯に適する。強稈で優れた栽培性を有するが、小粒であることから厚播きや多肥栽培を避ける。極端な早播きは凍霜害の被害を受けやすいので避ける。また、うどんこ病の発生に留意する。
	中	き め の 波	関東107号 ×関東100号(ﾊﾞﾝﾄ'ｸﾞﾙ) 群馬県農試 平 10 年	平 12	260	令 1 5	11 ・ 16	4 ・ 20	6 ・ 7	81	9.2	458	中	やや 閉	難	中	Ⅱ	38.6	823	469	軟	上	—	中	弱	中	—	やや 強	—	や や 強	—	中	強	作付けは平坦地帯とする。耐倒伏性は強いが、うどんこ病に弱い。このため厚播きは避け、基肥施肥量は「つるびかり」並に抑え、追肥重視とする。
	中	〔 認 定 〕 ゆ め か お り	西海180号 ×KS831957 長野県農事試 平 21 年	平 30	270	令 1 5	11 ・ 13	4 ・ 18	6 ・ 9	97	8.7	550	中	やや 閉	やや 難	—	Ⅱ	42.7	832	437	硬	中 の 中	—	強	やや 強	中	強	強	—	弱	弱	—	強	主な用途はパン・中華麺等であるため、高タンパク質含量を得るため畑地での作付けを基本とし、適切な肥培管理を行うこととする。早播きは凍霜害の影響を受けやすく、稈長が長くなる傾向があるため、適期播種に務める(11月中～下旬)。 ※試験データは畑。
六 条 大 麦	早	シ ュ ン ラ イ	ミノリムギ ×東山皮68号 長野県農事試 昭57年	平 10	509	令 1 5	11 ・ 16	4 ・ 13	5 ・ 26	99	4.6	417	やや 長	中	易	—	Ⅰ	37.5	699	407	—	上	—	—	やや 弱	やや 弱	強	強	強	や や 強・ 中	—	強	極端な早播きは、凍霜害を受ける危険性が高まるため適期(11月上旬)に播種する。耐倒伏性は強いが、極端な厚播きや多肥は品質の低下を招くとともに、倒伏し易くなるので適切な肥培管理に努める。うどんこ病、赤かび病はやや弱いため、適期防除に努め精麦品質の低下を防ぐ。	
	早	〔 認 定 〕 さ や か ゼ	関東皮70号× 東皮68号(すずかぜ) 作物研究所 平 14 年	開 平 15	—	平 23 24 29 30	11 ・ 12	4 ・ 22	6 ・ 2	73	3.4	480	中	中	極 難	中	Ⅰ	31.1	684	409	—	中 の 上	—	—	中	やや 弱	—	極 強	—	弱	—	—	強	作付けは、平坦～中間地帯で種用小麦が品質的に劣しくない畑地とする。倒伏や品質の低下を招くような極端な厚播きや多肥栽培は避ける。また、赤かび病やうどんこ病の発生に注意し防除に努める。なお、麦茶用のため、粗蛋白質含有量を高めるように心がける。 ※試験データは畑。
二 条 大 麦	早	サチホゴールデン	大系R4224 ×関東二条29号 栃木農試栃木分場 平 17 年	平 21	670	令 1 5	11 ・ 16	4 ・ 3	5 ・ 22	95	6.7	660	やや 長	やや 閉	中	やや 難	Ⅰ	48.0	738	414	—	中	—	—	極 強	やや 強	—	極 強	—	弱	—	—	やや 強	平坦地帯の水田転換畑に適する。縞萎縮病Ⅰ～Ⅲ型抵抗性である。側面裂皮粒が発生しやすいので、極端な早播きは避け、適正な生育を確保する。また、穀皮が薄く剥皮しやすいので、収穫・乾燥・調製作業には注意する。
	早	〔 認 定 〕 アスカゴールデン	栃系283 ×九州二条15号 栃木農試栃木分場 平24年	平 27	1,050	令 1 5	11 ・ 16	4 ・ 8	5 ・ 24	97	6.2	743	やや 長	やや 閉	やや 易	やや 難	Ⅰ	46.8	722	401	—	中	—	—	極 強	やや 強	—	極 強	—	弱	—	—	やや 強	平坦地帯の水田転換畑に適する。縞萎縮病Ⅰ～Ⅴ型抵抗性である。播性程度がⅠで茎立ちし易く、凍霜害の影響を受けやすいため、極端な早播きは避ける。また、穀皮が薄く剥皮しやすいので、収穫・乾燥・調製作業には注意する。

(注) 麦の栽培面積は、農林水産統計(麦類の作付面積)と全農ぐんま及び集連のは種前契約より推計。

3 大豆奨励品種特性表

種 早 晩 類 性	品 種 名	来 歴 育成場所 育 成 年	採 用 年 次	栽培 面積 (令和5) ha	供 試 年 次	播 種 期 月・日	開 花 期 月・日	成 熟 期 月・日	生 長 態 型	草 丈 cm	分 枝 数 本	主 莖 節 数 節	葉 型	草 型	毛 莖 の 有 無 及 び 色	花 色	熟 英 色	裂 英 性	子 実					病 害 虫 性		環 境 性		適地及び栽培上の注意
																			百粒重 g	粒 形	裂 皮	種 皮 色	臍 色	10a 当り 収量 kg/10a	紫 斑 病	ウ ィ ル ス 病	サ シ ム シ セン チュウ	
普 <																												

(注) 上段：平坦地 前橋市江木町農技センター 標高120m 畑 栽植密度 70×12cm (11.9株/m²)
 下段：中山間地 利根郡みなかみ町後閑 標高400m 転換畑 栽植密度 70×17cm (8.4株/m²)
 (タチナガハ)
 下段：中山間地 利根郡みなかみ町須川 標高540m 畑 栽植密度 70×17cm (8.4株/m²)
 (オオツル、ハタユタカ)

4 標高別適応品種

種 類	高 冷 地 帯		山 間 地 帯			中 間 地 帯		平 坦 地 帯		東 部 平 坦 地 帯	
	900	800	700	600	500	400	300	200	100	50	0
水 稲	ユメコガネ										
	ふゆげしき										
							ひとめぼれ				
							コシヒカリ				
									いなほっこり		
									にじのきらめき		
									あさひの夢		
									ゆめまつり		
									はいほう(新形質米)		
									若水・舞風(酒造好適米)		
陸 稲	タツミモチ										
麦 類											
大 豆											

※ コシヒカリの平坦部では、5月末日までに移植できる地帯とする。

※ ひとめぼれの平坦地帯では、6月上旬までの移植とする。

※ あさひの夢・ゆめまつりは、標高100m以下で、移植は6月25日までを目安とする。

※ さやかぜは、地力の高い黒ボク土水田や畑に適する。

5 地域別適応品種

地帯別		高冷地帯	山間地帯	中間地帯	平坦地帯	東 部 平坦地帯
地域 区分 適応 品種		吾妻郡、利根郡 の一部で標高 700m以上の地域	渋川市、沼田市、 吾妻郡、利根郡、 北群馬郡、甘楽郡 の一部で標高 400m～700mの地 域	前橋市、高崎市、 渋川市、藤岡市、 富岡市、安中市、 桐生市、みどり市、 北群馬郡、甘楽郡 の一部で標高 200m～400mの地 域	前橋市、伊勢崎市、 高崎市、渋川市、 藤岡市、富岡市、 安中市、桐生市、 みどり市、佐波郡、 北群馬郡、甘楽郡、 吾妻郡の一部で標 高200m以下の地域	館林市、太田市、 邑楽郡の標高50m 以下の地域
	水	ふゆげしき ユメコガネ	コシヒカリ ひとめぼれ	コシヒカリ ひとめぼれ	コシヒカリ ひとめぼれ いなほっこり にじのきらめき あさひの夢 ゆめまつり	コシヒカリ ひとめぼれ いなほっこり にじのきらめき あさひの夢 ゆめまつり
	稲	新 形 質 米			は い ほ う	は い ほ う
		酒造好適米	五百万石		若水・舞風	若水・舞風
	糯	タツミモチ	まんぷくもち ヒメノモチ	まんぷくもち 群馬糯5号	群馬糯5号	群馬糯5号
陸 稲	糯		トヨハタモチ	トヨハタモチ	トヨハタモチ	トヨハタモチ

地帯別	高冷地帯	山間地帯	中間地帯	平坦地帯	東 部 平坦地帯	備 考
小 麦	さとのそら	さとのそら	さとのそら	つるびかり きぬの波 さとのそら	つるびかり きぬの波 さとのそら	
				ゆめかおり	ゆめかおり	硬質 小麦
六 条 大 麦			シュンライ	シュンライ	シュンライ	精麦用
			さやかぜ	さやかぜ	さやかぜ	麦茶用
二 条 大 麦				サチホゴールデン アスカゴールデン	サチホゴールデン アスカゴールデン	
大 豆	オオツル	オ オ ツ ル ハタユタカ	オ オ ツ ル タチナガハ ハタユタカ 里のほほえみ	タチナガハ ハタユタカ 里のほほえみ	タチナガハ ハタユタカ 里のほほえみ	

資料5 農産物規格規程(国内産農産物)の品位 一 抜粋一

1 稲

(1) 水稲うるちもみ、水稲もちもみ、陸稲うるちもみ及び陸稲もちもみ

項目 等級	最低限度		最高限度				
	整粒 (%)	形質	水分 (%)	被害粒、着色粒、異種穀粒及び異物			
				計 (%)	着色粒 (%)	異種穀粒 (%)	異物 (%)
合格	70	標準品	14.5	6	0.2	0.3	0.2

規格外—合格の品位に適合しないもみであって、異種穀粒及び異物を50%以上混入していないもの。

(2) 種子水稲うるちもみ、種子水稲もちもみ、種子陸稲うるちもみ及び種子陸稲もちもみ

項目 等級	最低限度			最高限度			色
	発芽率 (%)	整粒 (%)	形質	水分 (%)	被害粒 (%)	異物 (%)	
合格	90	90	標準品	14.5	0.5	0.2	品種固有の色

規格外—合格の品位に適合しないもみであって、異種穀粒及び異物を50%以上混入していないもの。

附則

- 水分の最高限度は、当分の間、本表の数値に1.0%を加算したものとする。
- 水稲もちもみ及び陸稲もちもみのうち合格のものには、その種類以外のもみが2%を超えて混入してはならない。
- 種子もみにおける異種穀粒及び異品種粒の混入限度
 - 異なる品種を交配した一代雑種の種子もみにあつては、異種穀粒が混入してはならず、かつ、異品種粒が2%を超えて混入してはならない。
 - 原種として生産された雄性不稔系統の種子もみにあつては、異種穀粒が混入してはならず、かつ、異品種粒が1%を超えて混入してはならない。
 - イ及びロに掲げる種子もみ以外の種子もみにあつては、異種穀粒及び異品種粒が混入してはならない。
- 種子もみとして検査の請求をしたもみで種子もみの等級に格付けされなかったものについては、水稲うるちもみ、水稲もちもみ、陸稲うるちもみ又は陸稲もちもみとしてそれぞれの規格を適用する。
- 包装には、農林水産省総合食料局長(以下「総合食料局長」という。)(が別に定めるところにより、あらかじめ農産物検査員(農産物検査法(昭和26年法律第144号)第17条第2項第1号に規定する者をいう。以下同じ。)(が包装の規格に適合するものとして確認を行った麻袋、樹脂袋、紙袋又はポリエチレンフィルム袋を使用していなければならない。

定義

- 百分率—全量に対する重量比をいう。ただし、発芽率の場合を除く。
- 整粒—被害粒、未熟粒、異種穀粒及び異物を除いた粒をいう。
- 形質—充実度、質の硬軟、粒ぞろい、粒形及び光沢をいう。
- 水分—常圧加熱乾燥法のうち、105度乾燥法によるものをいう。
- 被害粒—損傷を受けた粒(発芽粒、病害粒、くされ粒、虫害粒、傷もみ、碎粒等)をいう。ただし、普通もみにあつては、損傷が軽微で玄米の品質及びもみすり歩合に影響を及ぼさない程度のものを除く。
- 着色粒—粒面の全部又は一部が着色した粒及び赤米をいう。ただし、とう精によって除かれ、又は精米の品質及び精米歩合に著しい影響を及ぼさない程度のものを除く。
- 未熟粒—成熟していない粒をいう。
- 異種穀粒—その種類のもみ(普通もちもみにあつては、もみ)を除いた他の穀粒をいう。
- 異物—穀粒を除いた他のものをいう。
- 発芽率—摂氏25度で14日間以内に発芽した正常発芽粒の供試した整粒等に対する粒数歩合をいう。
- 整粒等—整粒、未熟粒及び被害粒(原形の2分の1以下の碎粒を除く。)をいう。
- たんぱく質—精米につき窒素定量法により換算値5.95を用いたもの又はこれと同等の精度でその測定結果が得られる近赤外分析計を用いて測定したものをいう。
- アミロース—精米につきよう素呈色比色法により分光光度計を用いて測定したものをいう。

(3) 水稲うるち玄米

項目 等級	最低限度		最高限度					
	整粒 (%)	形質	水分 (%)	被害粒、死米、着色粒、異種穀粒及び異物				
				計 (%)	死米 (%)	着色粒 (%)	異種穀粒 (%)	異物 (%)
1等	70	1等標準品	15.0	15	7	0.1	0.4	0.2
2等	60	2等標準品	15.0	20	10	0.3	0.8	0.4
3等	45	3等標準品	15.0	30	20	0.7	1.7	0.6

規格外—1等から3等までのそれぞれの品位に適合しない玄米であって、異種穀粒及び異物を50%以上混入していないもの。

(4) 陸稲うるち玄米及び陸稲もち玄米

項目 等級	最低限度		最高限度							
	整粒 (%)	形質	水分 (%)	被害粒、死米、着色粒、異種穀粒及び異物						
				計 (%)	死米 (%)	着色粒 (%)	異種穀粒			異物 (%)
							もみ (%)	麦 (%)	もみ及び麦を除いたもの (%)	
1等	65	1等標準品	15.0	15	7	0.1	0.3	0.1	0.3	0.2
2等	55	2等標準品	15.0	20	10	0.3	0.5	0.3	0.5	0.4
3等	45	3等標準品	15.0	30	20	0.7	1.0	0.7	1.0	0.6

規格外—1等から3等までのそれぞれの品位に適合しない玄米であって、異種穀粒及び異物を50%以上混入していないもの。

(5) 醸造用玄米

項目 等級	最低限度		最高限度						色
	整粒 (%)	形質	水分 (%)	被害粒、死米、着色粒、もみ及び異物					
				計 (%)	死米 (%)	着色粒 (%)	もみ (%)	異物 (%)	
特上	90	特上標準品	15.0	5	3	0.0	0.1	0.0	品種固有の色
特等	80	特等標準品	15.0	10	5	0.0	0.2	0.1	品種固有の色
1等	70	1等標準品	15.0	15	7	0.1	0.3	0.1	品種固有の色
2等	60	2等標準品	15.0	20	10	0.3	0.5	0.4	—
3等	45	3等標準品	15.0	30	20	0.7	1.0	0.6	—

規格外—特上から3等までのそれぞれの品位に適合しない醸造用玄米であって、もみ及び異物を50%以上混入していないもの。

附則

- 醸造用玄米を除く玄米の水分の最高限度は、各等級とも、当分の間、本表の数値に1.0%を加算したものとする。
- 次の道県で生産された醸造用玄米に限り、その水分の最高限度は各等級とも本表の数値にそれぞれ次の数値を加算したものとする。
 - ・北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形及び福島各道県、1.0%
 - ・新潟、富山、石川、福島、島根及び沖縄各県、0.5%
- もち玄米には、その種類以外の玄米が1等のものにあつては1%、2等のものにあつては2%、3等のものにあつては3%を超えて混入してはならない。
- 玄米には、異物として土砂（これに類するものとして農林水産省生産局長が定めるものを含む。）が混入してはならない。
 - ・農林水産省生産局長が定めるもの、石、ガラス片、金属片及びプラスチック片
- 醸造用玄米には、もみを除く異種穀粒及び異品種粒が混入してはならない。

定義

- 百分率—全量に対する重量比をいう。
- 整粒—被害粒、死米、未熟粒、異種穀粒及び異物を除いた粒をいう。
- 形質—皮部の厚薄、充実度、質の硬軟、粒ぞろい、粒形、光沢並びに肌ずれ、心白及び腹白の程度をいう。
- 水分—常圧加熱乾燥法のうち、105度乾燥法によるものをいう。
- 被害粒—損傷を受けた粒（発芽粒、病害粒、芽くされ粒、虫害粒、胴割粒、奇形粒、茶米、砕粒等）をいう。
- 死米—充実していない粉状質の粒（青死米及び白死米）をいう。
- 着色粒—粒面の全部又は一部が着色した粒及び赤米をいう。ただし、とう精によって除かれ、又は精米の品質及び精米歩合に著しい影響を及ぼさない程度のものを除く。
- 未熟粒—死米を除いた成熟していない粒をいう。
- 異種穀粒—その種類の玄米（もち玄米にあつては、玄米）を除いた他の穀粒をいう。
- 異物—穀粒を除いた他のものをいう。

(6) 七分づき精米

項目 等級	最低限度	最高限度						
	形質	水分	粉状質粒及び被害粒			砕粒	異種穀粒及び異物	
			計	被害粒			もみ	もみを除いたもの
				計	着色粒			
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
1等	1等標準品	15.0	10	1	0.0	2	0.0	0.1
2等	2等標準品	15.0	20	2	0.2	5	0.0	0.2
等外	等外標準品	15.0	25	4	0.2	15	0.0	0.3

規格外—1等から等外までのそれぞれの品位に適合しない精米であって、異種穀粒及び異物が50%以上混入していないもの。

(7) 完全精米

項目 等級	最低限度	最高限度						
	形質	水分 (%)	粉状質粒及び被害粒			砕粒 (%)	異種穀粒及び異物	
			計 (%)	被害粒			もみ (%)	もみを除いたもの (%)
				計 (%)	着色粒 (%)			
1等	1等標準品	15.0	10	1	0.0	5	0.0	0.0
2等	2等標準品	15.0	20	2	0.2	10	0.0	0.1
等外	等外標準品	15.0	25	4	0.2	15	0.0	0.2

規格外—1等から等外までのそれぞれの品位に適合しない精米であって、異種穀粒及び異物が50%以上混入していないもの。

附則

- 1 水分の最高限度は、各等級とも、当分の間、本表の数値に1.0%を加算したものとする。
- 2 もち精米には、その種類以外の精米が1等のものにあつては0%、2等のものにあつては2%、等外のものにあつては3%を超えて混入してはならない。
- 3 精米には、土砂(これに類するものとして生産局長が定めるものを含む。)が混入してはならない。
- 4 包装には、生産局長が別に定めるところにより、あらかじめ農産物検査員が包装の規格に適合するものとして確認を行った紙袋を使用していなければならない。

定義

- 1 百分率—玄米の定義の百分率に同じ。
- 2 形質—ぬか層のはく離及びぬかの付着の程度、粒ぞろい並びに心白及び腹白の程度をいう。
- 3 水分—もみの定義の水分に同じ。
- 4 粉状質粒—粒質が粉状又は半粉状の粒をいう。
- 5 被害粒—汚染し、又は損傷を受けた粒(碎粒を除く。)をいう。
- 6 着色粒—粒面の全部又は一部が着色した粒及び赤米をいう。ただし、精米の品質に著しい影響を及ぼさない程度のもをを除く。
- 7 碎粒—その大きさが完全粒の3分の2から4分の1(針金25番線ふるい目の開き1.7ミリメートルのふるいをもって分け、そのふるいの上に残る程度の大きさをいう。)までの粒をいう。
- 8 異種穀粒—その種類の精米(もち精米にあつては、精米)を除いた他の穀粒をいう。
- 9 異物—その大きさが完全粒の4分の1未満の精米粒及び穀粒を除いた他のものをいう。
- 10 たんぱく質—もみの定義のたんぱく質に同じ。
- 11 アミロース—もみの定義のアミロースに同じ。

2 麦類

(1) 普通小麦

項目 等級	最低限度			最高限度					
	容積重 (グラム)	整粒 (%)	形質	水分 (%)	被害粒、異種穀粒及び異物				
					計 (%)	異種 穀粒 (%)	異物		
							麦角粒 (%)	なまぐさ黒 穂病粒率 (%)	麦角粒及び なまぐさ黒 穂病粒率を 除いたもの (%)
1等	780	75	1等標準品	12.5	5.0	0.5	0.0	0.1	0.4
2等	730	60	2等標準品	12.5	15.0	1.0	0.0	0.1	0.6

規格外—異臭のあるもの又は1等及び2等のそれぞれの品位に適合しない普通小麦であつて、異種穀粒及び異物を50%以上混入していないもの。

(2) 強力小麦

項目 等級	最低限度				最高限度						
	容積重 (グラム)	整粒 (%)	硝子率 (%)	形質	水分 (%)	異品種粒 (%)	被害粒、異種穀粒及び異物				
							計 (%)	異種穀粒 (%)	異物		
									麦角粒 (%)	なまぐさ黒 穂病粒率 (%)	麦角粒及び なまぐさ黒 穂病粒率を 除いたもの (%)
1等	760	75	70	1等標準品	12.5	5.0	5.0	0.5	0.0	0.1	0.4
2等	730	65	—	2等標準品	12.5	10.0	15.0	1.0	0.0	0.1	0.6

規格外—異臭のあるもの又は1等及び2等のそれぞれの品位に適合しない強力小麦であつて、異種穀粒及び異物を50%以上混入していないもの。

(3) 種子小麦

種類	項目 等級	最低限度					最高限度				色
		容積重 (グラム)	整粒 (%)	硝子率 (%)	発芽率 (%)	形質	水分 (%)	被害粒 (%)	異物		
	麦角粒 (%)								麦角粒を除いたもの (%)		
普通小麦	合格	740	90	-	80	標準品	12.5	0.5	0.0	0.2	品種固有の色
強力小麦	合格	740	90	70.0	80	標準品	12.5	0.5	0.0	0.2	品種固有の色

附則

- 1 普通小麦の規格は、品種銘柄として定められた品種以外的小麦(種子小麦を除く。)について適用する。
- 2 強力小麦の規格は、品種銘柄として定められた品種(種子小麦を除く。)について適用する。
- 3 普通小麦及び強力小麦のうち1等及び2等のものには、被害粒のうち発芽粒が2.0%、赤かび粒が0.0%及び黒かび粒が5.0%を超えて混入してはならない。
- 4 普通小麦のうち1等及び2等のものには、強力小麦が10%を超えて混入してはならない。
- 5 小麦には、異物として土砂(これに類するものとして生産局長が定めるものを含む。)が混入してはならない。
- 6 種子小麦には、異臭があつてはならない。
- 7 種子小麦には、異品種粒、異種穀粒又はなまぐさ黒穂病粒が混入してはならない。
- 8 包装には、生産局長が別に定めるところにより、あらかじめ農産物検査員が包装の規格に適合するものとして確認を行った麻袋、樹脂袋又は紙袋を使用していなければならない。

定義

- 1 百分率—全量に対する重量比をいう。ただし、なまぐさ黒穂病粒率、硝子率及び発芽率の場合を除く。
- 2 容積重—ブラウエル穀粒計で測定した1リットルの重量をいう。
- 3 整粒—2ミリメートルの縦目ふるいをもって分け、そのふるいの上に残る健全粒をいう。
- 4 形質—皮部の厚薄、充実度、質の硬軟、粒ぞろい、粒形、光沢等をいう。
- 5 水分—もみの定義の水分に同じ。
- 6 被害粒—損傷を受けた粒(発芽粒、病害粒、くされ粒、たい色粒、虫害粒、砕粒、熱損粒及び種子小麦についての芽くされ粒、胴割粒等)をいう。ただし、普通小麦及び強力小麦にあつては、被害が軽微で小麦粉の品質及び製粉歩合に影響を及ぼさない程度のもをを除く。
- 7 発芽粒—発根又は発芽している粒及び発根又は発芽のこん跡のある粒をいう。
- 8 赤かび粒—赤かび病菌等に侵されて赤色を帯びた粒をいう。
- 9 黒かび粒—かび又は菌等に侵されて黒色を帯びた粒をいう。
- 10 異品種粒—その品種以外の小麦の粒をいう。
- 11 異種穀粒—小麦を除いた他の穀粒をいう。
- 12 異物—もみの定義の異物に同じ。
- 13 麦角粒—麦角菌糸のかたまり及び麦角菌に侵された穀粒をいう。
- 14 なまぐさ黒穂病粒率—なまぐさ黒穂病菌に侵された粒の供試した粒に対する粒数歩合をいう。
- 15 硝子率—整粒中の硝子質粒の供試した整粒に対する粒数歩合をいう。
- 16 発芽率—摂氏20度で8日間以内に発芽した正常発芽粒の供試した健全粒等に対する粒数歩合をいう。
- 17 健全粒等—健全粒、成熟していない粒及び被害粒(原形の2分の1以下の砕粒を除く。)をいう。
- 18 たんぱく質—窒素定量法により換算値5.70を用いたもの又はこれと同等の精度でその測定結果が得られる近赤外分析計を用いて測定したものをいう。
- 19 でん粉—落球粘度計により測定したものをいう。

(4) 普通小粒大麦

項目 等級	最低限度				最高限度				
	容積重 (グラム)	整粒 (%)	形質	水分 (%)	被害粒、異種穀粒及び異物				
					計 (%)	熱損率 (%)	異種 穀粒 (%)	異物	
								麦角粒 (%)	麦角粒を除 いたもの (%)
1等	600	75	1等標準品	13.0	5.0	0.5	0.5	0.0	0.4
2等	540	60	2等標準品	13.0	15.0	0.5	1.0	0.0	0.6

規格外—異臭のあるもの又は1等及び2等のそれぞれの品位に適合しない普通小粒大麦であつて、異種穀粒及び異物を50%以上混入していないもの。

(5) 普通小粒大麦、普通大粒大麦(飼料用に供されるもの)

項目 等級	最高限度					
	水分 (%)	細麦 (%)	被害粒 (%)	計 (%)	異種穀粒及び異物	
					異物	
					麦角粒 (%)	麦角粒を除 いたもの (%)
合格	14.0	45	25	11	0.0	—

規格外—異臭のあるもの又は合格の品位に適合しない普通小粒大麦(飼料用に供されるもの)であつて、異種穀粒及び異物を50%以上混入していないもの。

(6) 普通大粒大麦

項目 等級	最低限度				最高限度				
	容積重 (グラム)	整粒 (%)	形質	水分 (%)	被害粒、異種穀粒及び異物				
					計 (%)	熱損率 (%)	異種 穀粒 (%)	異物	
								麦角粒 (%)	麦角粒を除 いたもの (%)
1等	620	75	1等標準品	13.0	5.0	0.5	0.5	0.0	0.4
2等	560	60	2等標準品	13.0	15.0	0.5	1.0	0.0	0.6

規格外—異臭のあるもの又は1等及び2等のそれぞれの品位に適合しない普通大粒大麦であつて、異種穀粒及び異物を50%以上混入していないもの。

(7)ビール大麦

項目 等級		最低限度				最高限度					色	
		容積重 (グラム)	発芽勢 (%)	整粒 (%)	形質	水分 (%)	細麦 (%)	被害粒、異品種粒及び異種穀粒並びに異物				
								計 (%)	異品種粒及び異種穀粒 (%)	異物		
										麦角粒 (%)		麦角粒を除いたもの (%)
1等	645	95	90	1等標準品	13.0	5.0	2.0	0.2	0.0	0.2	品種固有の色	
2等	630	95	80	2等標準品	13.0	10.0	3.0	0.2	0.0	0.2	—	
等外上	600	95	70	等外標準品	13.0	—	6.0	0.2	0.0	0.2	—	

規格外—異臭のあるもの又は1等及び2等のそれぞれの品位に適合しない普通大粒大麦であって、異種穀粒及び異物を50%以上混入していないもの。

(8)種子大麦

種類	項目	最低限度				最高限度				色
		容積重 (グラム)	発芽率 (%)	整粒 (%)	形質	水分 (%)	被害粒 (%)	異物		
	麦角粒 (%)							麦角粒を除いたもの (%)		
普通小粒大麦	等級合格	560	80	90.0	標準品	13.0	0.5	0.0	0.2	品種固有の色
普通大粒大麦	等級合格	590	80	90.0	標準品	13.0	0.5	0.0	0.2	品種固有の色
ビール大麦	等級合格	590	80	90.0	標準品	13.0	0.5	0.0	0.2	品種固有の色

附則

- 普通小粒大麦の規格は、二条大麦以外の大麦(種子大麦を除く。)で飼料用に供されないものについて適用する。
- 普通大粒大麦の規格は、二条大麦(種子大麦を除く。)で飼料用又は醸造用に供されないものについて適用する。
- 普通小粒大麦(飼料用に供されるもの)の規格は、二条大麦以外の大麦(種子大麦を除く。)で飼料用に供されるものについて適用する。
- 普通大粒大麦(飼料用に供されるもの)の規格は、二条大麦(種子大麦を除く。)で飼料用に供されるものについて適用する。
- 普通小粒大麦(飼料用に供されるもの)及び普通大粒大麦(飼料用に供されるもの)の規格が適用されるものについては、銘柄の規定は、適用しない。
- この規格で「飼料用に供される」とは、単体飼料又は配合飼料の原料に供されることをいう。
- ビール大麦の規格は、二条大麦(種子大麦を除く。)で醸造用に供されるものについて適用する。
- ビール大麦の発芽勢は、後熟後における数値とする。
- 被害粒のうち赤かび粒は、普通小粒大麦及び普通大粒大麦のうち1等及び2等のもの並びにビール大麦にあっては0.0%、普通小粒大麦(飼料用に供されるもの)及び普通大粒大麦(飼料用に供されるもの)のうち合格のものにあっては10.0%を超えて混入してはならない。
- 大麦には、異物として土砂(これに類するものとして生産局長が定めるものを含む。)が混入してはならない。
- ビール大麦及び種子大麦には、異臭があつてはならない。
- 種子大麦には、異品種粒又は異種穀粒が混入してはならない。
- 包装には、生産局長が別に定めるところにより、あらかじめ農産物検査員が包装の規格に適合するものとして確認を行った麻袋、樹脂袋又は紙袋を使用していなければならない。

定義

- 百分率—全量に対する重量比をいう。ただし、発芽勢及び発芽率の場合を除く。
- 容積重—小麦の定義の容積重に同じ。
- 整粒—2ミリメートル(普通大粒大麦及びビール大麦の等外上にあっては2.2ミリメートル、ビール大麦の1等及び2等にあっては2.5ミリメートル)の縦目ぶるいをもって分け、そのふるいの上に残る健全粒をいう。
- 形質—小麦の定義の形質に同じ。
- 水分—もみの定義の水分に同じ。
- 被害粒—損傷を受けた粒(発芽粒、病害粒、くされ粒、たい色粒、虫害粒、胴割粒、砕粒、熱損粒、空洞粒、硬質粒並びにビール大麦及び種子大麦についての芽くされ粒、剥皮粒等)をいう。ただし、被害が軽微で、普通小粒大麦及び普通大粒大麦にあっては精麦の品質及び精麦歩合に影響を及ぼさない程度のもを、普通小粒大麦(飼料用に供されるもの)及び普通大粒大麦(飼料用に供されるもの)にあっては飼料の品質及び製麦歩合に影響を及ぼさない程度のもを、ビール大麦にあっては麦芽の品質及び製麦歩合に影響を及ぼさない程度のもを除く。
- 赤かび粒—小麦の定義の赤かび粒に同じ。
- 熱損粒—熱等によって損傷を受け、でん粉層まで茶褐色、茶色又は黒色に変色した粒をいう。
- 異品種粒—ビール大麦についての異品種粒とは、ビール大麦以外の大麦の粒をいう。
- 異種穀粒—大麦を除いた他の穀粒をいう。
- 異物—もみの定義の異物に同じ。
- 麦角粒—小麦の定義の麦角粒に同じ。
- 発芽勢—摂氏20度で72時間以内に発芽した整粒の供試した整粒に対する粒数歩合をいう。
- 細麦—普通小粒大麦(飼料用に供されるもの)及び普通大粒大麦(飼料用に供されるもの)にあっては2ミリメートル、ビール大麦にあっては2.2ミリメートルの縦目ぶるいをもって分け、そのふるいを通す大麦の粒をいう。
- 発芽率—摂氏20度で7日間以内に発芽した正常発芽粒の供試した健全粒等に対する粒数歩合をいう。
- 健全粒等—小麦の定義の健全粒等に同じ。

3 大豆

(1) 普通大豆

項目 等級	最低限度		最高限度				
	粒度 (%)	形質	水分 (%)	被害粒、未熟粒、異種穀粒及び異物			
				計 (%)	著しい 被害粒等 (%)	異種穀粒 (%)	異物 (%)
1等	70	1等標準品	15.0	15	1	0	0
2等	70	2等標準品	15.0	20	2	1	0
3等	70	3等標準品	15.0	30	4	2	0

規格外—1等から3等までのそれぞれの品位に適合しない大豆であって、異種穀粒及び異物が50%以上混入していないもの。

(2) 特定加工用大豆

項目 等級	最低限度		最高限度				
	粒度 (%)	形質	水分 (%)	被害粒、未熟粒、異種穀粒及び異物			
				計 (%)	著しい 被害粒等 (%)	異種穀粒 (%)	異物 (%)
合格	70	標準品	15.0	35	5	2	0

規格外—合格の品位に適合しない大豆であって、異種穀粒及び異物が50%以上混入していないもの。

(3) 種子大豆

項目 等級	最低限度		最高限度		
	発芽率 (%)	形質	水分 (%)	被害粒及 び未熟粒 (%)	異物 (%)
合格	80	合格標準品	15.0	10	0

附則

- 北海道において生産された大豆のうち、普通大豆の3等のもの及び特定加工用大豆の合格のものに限り、その水分の最高限度は、本表の数値に1.0%を加算したものとする。
- 普通大豆及び特定加工用大豆の小粒大豆の産地品種銘柄にあっては直径6.1ミリメートル(北海道で生産されたもの)にあっては直径6.7ミリメートルの丸目ふるいをもって分け、極小粒大豆の産地品種銘柄にあっては直径5.5ミリメートルの丸目ふるいをもって分け、ふるいの上に残る粒の全量に対する重量比が10%未満でなければならない。
- 普通大豆の色の区分は、黄色、黒色、茶色及び青色とし、それぞれの色的大豆にはその色以外の色のものの粒が1等のものにあつては0%、2等のものにあつては5%、3等のものにあつては10%を超えて混入してはならない。
- 特定加工用大豆の規格は、豆腐・油揚げ、しょうゆ、きなこ等製品の段階において、大豆の原形をとどめない用途に使用される大豆に適用する。
- 種子大豆には、異種穀粒及び異品種粒が混入してはならない。
- 包装には、生産局長が別に定めるところにより、あらかじめ農産物検査員が包装の規格に適合するものとして確認を行った麻袋、樹脂袋又は紙袋を使用していなければならない。

定義

- 百分率—もみの定義の百分率に同じ。
- 粒度—次の表の上欄に掲げる区分に応じ、それぞれ同表の下欄に掲げる大きさの目の丸目ふるいをもって分け、ふるいの上に残る粒の全量に対する重量比をいう。

区分	ふるいの目の大きさ
大粒大豆	直径7.9ミリメートル(つるの子及び光黒(北海道で生産されたもの)、ミヤギシロメ(岩手県及び宮城県で生産されたもの)並びにオオツル(群馬県、富山県、石川県、福井県、三重県、滋賀県、京都府及び兵庫県において生産されたもの)にあっては、直径8.5ミリメートル)、タマフクラ(北海道で生産されたもの)にあっては直径9.1ミリメートル)
中粒大豆	直径7.3ミリメートル
小粒大豆	直径5.5ミリメートル
極小粒大豆	直径4.9ミリメートル

- 形質—充実度、粒形、色沢、粒ぞろい等をいう。
- 水分—もみの定義の水分に同じ。
- 被害粒—損傷を受けた粒(病害粒、虫害粒、変質粒、破碎粒、皮切れ粒、はく皮粒等)をいう。ただし、普通大豆にあっては、損傷が軽微で製品の品質に影響を及ぼさない程度のもので、特定加工用大豆にあっては製品の品質に影響を及ぼさない程度のものでなく。
- 未熟粒—もみの定義の未熟粒に同じ。
- 著しい被害粒等—被害粒のうち著しく損傷を受けたもの及び未熟粒のうち著しく充実度が劣るものとして生産局長が定めるものをいう。
- 異品種粒—その品種以外大豆の粒をいう。
- 異種穀粒—大豆を除いた他の穀粒をいう。
- 異物—穀粒を除いた他のもの及び死豆(充実していない粉状質の粒)をいう。
- 発芽率—摂氏25度で8日間以内に発芽した正常発芽粒の供試した整粒等に対する粒数歩合をいう。
- 整粒等—整粒(被害粒、未熟粒、異種穀粒及び異物を除いた粒をいう。)、未熟粒及び被害粒(原形の2分の1以下の破碎粒、子葉が一枚の破碎粒及び種皮が完全に離脱したはく皮粒を除く。)をいう。

令和 6 年産主要農作物生産振興資料
基本方針編

発 行：群馬県農政部蚕糸園芸課

〒371-8570
群馬県前橋市大手町一丁目 1 番 1 号
電話 (027) 226-3128 / FAX (027) 243-7202